2019年度

年次報告書

公益財団法人ヤマト福祉財団

目 次

1.	2019 度報告書・・・・・・・・・・1
	2019 度中に実施した助成事業
	I. 障がい者に対する奨学金の支給
	Ⅱ. ジャンプアップ助成金
	Ⅲ. ステップアップ助成金
	IV. 障がい者福祉助成金
2	2019 年度 障がい者の働く場パワーアップフォーラム実施報告
	2019 年度「夢へのかけ橋 実践塾」実施報告
	楠元塾2期・3期、新堂塾4期活動報告
	塾生募集 ステップアップセミナー
	卒業者へのサポート
ŕ	経済的自立力達成事業所紹介サイト「夢へのかけ橋」報告
F	A型事業所好事例報告フォーラム 報告
ŀ	自然栽培パーティ第4回全国フォーラム
Ş	ネパール小児白内障治療プロジェクトの報告
í	复興・再生支援事業
	『障がい者のクロネコ DM 便配達事業』進捗状況
	『障がい者のクロネコ DM 便配達事業』参入施設一覧
2	2019 年度「障がい者のクロネコ DM 便配達実績」時系列集計表
2.	2019 年度収支決算報告書・・・・・・・・・・・・・69
	賃借対照表
	正味財産増減計算書
	正味財産増減計算書内訳表
	財務諸表に対する注記
	財産目録
	附属明細書
	2019年度収支決算書
	監査報告書
3.	2019 年度寄付金寄贈者名簿 · · · · · · · · · · · · 83
	賛助会員数一覧
4.	役員名簿
5.	2020 年度事業計画書 · · · · · · · · · 89
	同 収支予算書
	資金調達及び設備投資の見込みについて

1. 2019 年度事業報告書

_	2	_		

2019年度事業報告書

(自·2019年4月1日~至·2020年3月31日)

1. 庶務事項

- (1) 財団設立年月日 1993年9月10日
- (2) 基本財産

投資有価証券

ヤマトホールディングス株式会社(株式) 3.554.500株 6.031百万円

(3) 役員等

①理事長	1名
②理事	8名
③監事	2名
④評議員	8名
⑤福祉助成金選考委員	5名
⑥ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員	5名

(4) 賛助会員

個人会員 75,158人

(5) 事務局

①常務理事	1名
②事務局長	1名
③職員	4名

2. 事業報告

主な活動のひとつである「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」は、講座や事例報告、シンポジウムを交えて開催し、福岡、東京、大阪の3ヵ所に加えて沖縄でも開催しました。また、今期で7年目に入った「夢へのかけ橋」実践塾は、封入・封緘サービス塾と弁当・配食サービス塾の2塾27名が障がい者の経済的自立力向上のため実践を行いました。

栽培指導者を派遣する無農薬・無肥料の自然栽培の検証プロジェクトは、「一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会」発足4年となり、3月末現在、111ヵ所の福祉施設や販売店が加入しています。また、ヤマト運輸(株)の協力を得て実施している「障がい者のクロネコDM便配達事業」は、全国309事業所で1,494名が従事し、社会福祉法人ヤマト自立センターは、2020年3月までに事業開始以来、累計202名の一般就労実績となっています。

(公1)助成事業

①奨学金支給

2019年3月1日から4月12日までを応募書類請求期間、同年4月22日から5月17日を申請期間とし65名の応募がありました。選考委員会で10名を選考追加して、40名の奨学生に奨学金を提供しています。

2019年度奨学金選考委員会

2019年6月13日(木)14:00-17:00 コンフォート銀座中央通り会議室にて開催。 選考追加された奨学生10名は以下の通りです

氏名	学年	在学大学	在学学部学科
山田 悠稀	1	札幌大学	地域共創学群中国語中国文化専攻
伊藤 瑞輝	2	東北大学	工学部機械知能·航空工学科
杉山 寛大	1	筑波大学	人間学群障害科学類
鈴木 海人	1	日本大学	芸術学部文芸学科
成嶋セルジオ正章	1	日本大学	文理学部社会福祉学科
瀧 楓花	2	日本大学	文理学部社会福祉学科
奥田 祥太郎	1	東京大学	教養学部理科二類
菅田 利佳	1	東京大学	教養学部文科三類
中村 美彩	1	東洋大学	社会学部社会学科
首里 昌毅	3	立命館大学	経営学部経営学科

②助成金

今年度も、昨年に引き続き助成金事業を障がい者の給料増額を目的とする「障がい者給料増額助成金」と一般的な福祉助成金の2つに分け、「障がい者給料増額助成金」の中に、ジャンプアップ助成金(定額500万円)・ステップアップ助成金(上限200万円)の2種の助成金を設定しました。2018年10月1日から11月30日までを公募期間として197件の応募があり、2019年3月11日に選考委員会を実施して、選考委員会にて助成対象施設を決定。同年4月から6月にかけて支部毎にヤマト運輸(株)の協力を得ながら贈呈式を行いました。

助 成 部 門	応募	決定	助成金額
①ジャンプアップ助成金 (定額500万円)	27件	9件	45,000千円
②ステップアップ助成金 (上限200万円)	71件	16件	28,920千円
小 計	98件	25件	73,920千円
③福祉助成金 (会議・出版・文化・スポーツ)	99件	12件	9,850千円
合 計	197件	37件	83,770千円

※助成先一覧 9~16ページ

(公2)研修·育成事業

①セミナー事業「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」

対象者を施設職員から障がい者の働く場に関心のある方とし、日帰り形式の研修を 実施しました。全国4ヵ所で607名が参加し、これまでのセミナー受講者と合わせ累計 11.538名となりました。

開催地	会場	開催日	参加人数	
	前年までの累計		10,931	
福岡	エルガーラホール	7月12日	168	
東京	全社協・灘尾ホール	7月26日	167	
大阪	マイドームおおさか	8月23日	215	
沖縄	沖縄 沖縄コンベンションセンター 10月18日			
	607			
	11,538			

②雇用·促進事業

「障がい者によるクロネコDM便配達事業」は、全国309事業所で1,494名の障がい者が配達を行っています。また、社会福祉法人ヤマト自立センターのスワン工舎新座・スワン工舎羽田クロノゲートの就労移行支援事業では、今期21名累計202名が一般就労しました。2011年に立ち上げた就業・生活支援事業では今期は29名の登録者に対して就労支援・就労先での定着支援・金銭管理や一人暮らしなどの生活支援を行い、実習57名、就業者37名の実績をあげました。また、就労につながった方々との結びつきを図るため第12回スワン工舎卒業者の集いを開催しました。

③育成プロジェクト

小倉昌男賞受賞者によるプロジェクトとして2010年より始まった受賞者リーダープロジェクト「夢へのかけ橋実践塾」は、本年度、楠元洋子氏(第13回受賞者)を塾長とした弁当・配食サービス塾が10月に2年間の研修期間を満了し2期生7名の修了者を送り出しました。

新堂薫氏(第9回受賞者)を塾長とする封入・封緘サービス塾が新たに4期生10名、 弁当・配食サービス塾が3期生10名を新たに迎え、半年に一度の間隔で実践塾を開催してPDCAサイクルを回しています。また、塾生が申請して活用する事業改革モデル化資金については、塾長による書類審査を経て決裁し、事業改革モデルづくりを行っています。また、水稲自然栽培検証プロジェクトより発展した「一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会」は発足4年となり、1月31日・2月1日に滋賀県大津市で第4回自然栽培パーティ全国フォーラムを開催、3月末現在111施設が会員登録しています。

(公3)表彰事業

障がい者の経済的な自立やノーマライゼーションに貢献した個人を表彰するため、本年もヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈事業を行いました。7月1日から9月15日まで公募を行い、10月7日の選考委員会で、大阪府門真市の田川精二氏と大阪府大阪市の廣田しづえ氏に受賞が決定しました。また、贈呈式は12月5日に一般社団法人日本工業倶楽部にて、各界の方々やヤマトグループ役員、ヤマトグループ企業労働組合連合会役員をお迎えし開催いたしました。

(公4)広報·啓発等事業

①広報事業 ◆ヤマト福祉財団News

財団ニュースを第62号から第65号まで年4回発行し「コラボメール便」としてヤマトグループ健康保険組合と共同で社員自宅まで配布しました。また、一般購読希望者878名と福祉施設作業所4,315ヵ所に無料配布を行いました。助成先や奨学生のレポートに加えて、パワーアップフォーラム、ヤマト福祉財団小倉昌男賞など財団主催の行事、実践塾やクロネコDM便配達の報告を行っています。

◆事業モデル別実践事例サイトの運用

小倉昌男賞や助成金の事例、実践塾の成果を資料化して福祉施設の経営者が施設の利用者増や工賃向上に役立つビジネスモデルを参照できる「経済的自立力達成事業所紹介サイト 夢へのかけ橋」をインターネット上に公開しています。このサイトでは、障害基礎年金と合わせて、年収112万円の貧困線を超えることのできる工賃3万円を超えた事業所を経済的自立力達成事業所として紹介しています。本年3事業所を追加し34事業所の実践事例を参照することができます。

②啓発事業

全国4ヵ所で障がい者本人によるクロネコDM便配達特別報告会を開催しました。11月12日には東京都世田谷区の「しごとも」が50名ほどの参加者の前で3名のクロネコメイトさんが報告し、11月21日には神奈川県横浜市港北区の「いろえんぴつ」が140名ほどの参加者を集め、約20名のクロネコメイトさんが報告と配達の実演を行いました。また2月21日には愛知県豊橋市の「輝望」が約90名の参加者の前で1名のクロネコメイトさんが発表しました。2月24日には奈良県北葛城郡の「もりの実」が報告会を開催、約70名の参加者の前で7名のクロネコメイトさんが報告し、普段の配達の様子を来場者の前で実演しました。

③その他 ◆全Aネットによる「良き就労継続支援A型事業所の拡大支援事業」

全国のA型事業所の経営の健全化をはかり、働く障がいのある人のディーセントワークの実現を進めるため、NPO法人就労継続支援A型事業所全国協議会(全Aネット)が主催するA型事業所好事例報告フォーラム「よきA型を目指した経営」の開催に助成しました。会場では昨年助成した好事例集の配布を行い、優良事業所の増加を促しています。

◆日本障害フォーラムによる「障害者の権利条約」に関する事業

「障害者の権利条約」について国連障害者権利委員会に提出するNGOパラレルレポートの準備活動と国内啓発活動に対し公益財団法人助成財団センターを窓口として、前年に引き続き他の福祉系財団とともに共同助成を行いサポートしました。

◆ネパール小児白内障治療プロジェクトに対する協力事業

第17回ヤマト福祉財団昌男賞を受賞した竹内昌彦氏が立ち上げた基金と共同で立ち上げたネパールで貧困のため治療を諦めている小児白内障患者の医療事業について、本年度は、患者の早期発見に向け、具体的な二つのネットワークづくりの試みをはじめました。一つ目は、現地NGO医療チームとのアイキャンプで発見するネットワークです。今回は、西部のバグルンで行いました。小児白内障患者を見つけ出すことはできなかったものの7名の眼病患者を発見でき、後日カトマンズの病院に招待し、治療したことによって失明になってしまう事態から救うことができました。二つ目は、NPO法人日本ネパール女性教育協会が育成した農山村出身のネパール女性教員たちからの情報ネットワークです。今回は、彼女たちへ特別研修会を開催しました。前述の医療チームにより眼病についての初歩的な知識、病気にかからないための予防について講義を行いました。出身地に戻った彼女たちから要治療児童の存在情報が集まりはじめており、ネットワークとしての形がみえてきました。

◆パラリンピック開催への協力

ヤマトホールディングス (株) の協力のもと、5月12日天皇杯第47回日本車いすバスケットボール選手権大会 (東京都調布市)、1月13日開催皇后杯第30回記念日本女子車いすバスケットボール選手権大会にて (兵庫県神戸市)、生産を担った障がい者計19名を招いて自然栽培パーティが育てた米をそれぞれ600キロ優勝チームに贈呈しました。次年度もパラリンピックにむけて支援活動を行っていきます。

(公5)復興·再生支援事業

2018年7月に発生した西日本豪雨災害で被災した岡山県倉敷市真備町の施設3ヵ所に対して下記のとおり総額592万円を助成しました。

団体名	資金	金額
一般社団法人ジャングルランド みんな農園	食品乾燥機購入資金	200万円
特定非営利活動法人いちご一会 いちごの家「ナップ」	逆ピロー包装機購入資金	200万円
一般社団法人小田川ドリーム	海上コンテナ・ストレッチ包装機・ ハンドリフト購入資金	192万円

東日本大震災からの復興をめざす福島県において、2019年10月12日に上陸した台風19号により農業機械・ビニールハウスの水没被害にあった福島県浪江町NPO法人Jinに対して復興支援金100万円、床上浸水被害で印刷機器を失った工房もくもくにプリンター購入資金20万円を助成しました。

■賛助会員の状況

当財団の母体であるヤマトホールディングス(株)とそのグループ会社で組織する賛助会員数は75.158人となっています。

2019年度中に実施した助成事業

I. 障がい者に対する奨学金の支給

■ 障がい者大学生 40名

	大学名	学 年	氏 名
1	摂南大学	6年生	遠藤 実希
2	慶応義塾大学	4年生	池田ブライアン雅貴
3	京都大学	4年生	油田 優衣
4	九州大学	4年生	坂井 法仁
5	聖隷クリストファー大学	4年生	長谷 果林
6	大東文化大学	4年生	八尾 陽夏
7	北海道教育大学	4年生	碓井 琴音
8	筑波大学	4年生	高橋利恵子
9	芝浦工業大学	4年生	スーヅーシャン
10	国際基督教大学	4年生	大下 歩
11	筑波技術大学	4年生	鳴瀬 未来
12	専修大学	4年生	有吉 愛知
13	宮城大学	3年生	幸谷 圭都
14	東京大学	3年生	杉本 優太
15	兵庫県立大学	3年生	永瀬 紗織
16	県立広島大学	3年生	多留 陽葉
17	島根大学	3年生	松崎 桃佳
18	筑波大学	3年生	奈良場春輝
19	桜美林大学	3年生	高橋 慧
20	金城学院大学	3年生	杉浦 有紀

	大学名	学 年	氏 名
21	京都府立大学	3年生	板 隆史
22	園田学園女子大学	3年生	川里茅礼
23	島根大学	3年生	藤原 歩未
24	立命館大学	3年生	首里 昌毅
25	筑波技術大学	2年生	杉崎 雄大
26	首都大学東京	2年生	渡辺 麻姫
27	東京農業大学	2年生	池内 風香
28	東京農業大学	2年生	石黒 舞
29	武蔵野美術大学	2年生	濱田この実
30	広島大学	2年生	三浦 良介
31	国際医療福祉大学	2年生	黒岩 晃
32	東北大学	2年生	伊藤 瑞輝
33	日本大学	2年生	瀧 楓花
34	札幌大学	1年生	山田 悠稀
35	筑波大学	1年生	杉山 寛大
36	日本大学	1年生	鈴木 海人
37	日本大学	1年生	成嶋セルジオ正章
38	東京大学	1年生	奥田祥太郎
39	東京大学	1年生	菅田 利佳
40	東洋大学	1年生	中村 美彩

Ⅱ. ジャンプアップ助成金

助成先

助成対象事業の内容および助成額

1

宮城県宮城郡

みお七ヶ浜

◇就労継続支援B型





- 缶詰巻締機と小型レトルト機の購入
- 助成金 5,000,000円

みお七ヶ浜の食品加工事業で扱うブランド豚は、価格競争で苦戦して利益が少なくなっています。そこで新たに「缶詰製造事業」を展開することにしました。

今回の助成によりレトルト機や缶締め機などを購入しました。レトルト機に関しては豚や牛タンを使用した3種類の商品開発が完了し、販売を開始。缶締め機については締めの強さの調整などを行っている状況です。缶詰の中身では、豚のホルモン、笹かまぼこ、唐揚げなどオリジナル商品の開発、試作を行っています。

今後は、既存の牛タン缶詰3種類の自社製品を完成させ、既存の取引先とともに新規開拓の取引先を増やす営業を行い、売上と利用者の工賃向上を実現します。

2

宮城県仙台市

ぴぁ

◇就労継続支援B型



■ ベーカリー、菓子用機器購入および電気工事等費用

■ 助成金 5,000,000円

ぴぁでは現在、弁当の製造・販売事業を行っていますが、新たに立ち上げるベーカリー、菓子製造・販売事業との統合により、利用者、職員の多能工化を実現します。

今回の助成によりベーカリー、菓子製造の機器購入および電気工事等を行いました。仙台市若林区にある事業所建物の空きスペースにこれらの機器を設置して、新事業を展開しています。現在は、北海道産小麦で製造したパン (バターロール、レーズンパン、うぐいすパンなど)を既存の弁当販路で販売し好評をいただくようになりました。弁当の顧客以外にも購入層を獲得し、売上の伸びも順調です。今後も導入機器を十二分に活用できる商品開発を行い、販路を拡大して利用者の工賃向上に資する事業展開を目指します。

|3

栃木県大田原市

hikari no café 蜂巣小珈琲店

◇就労継続支援B型



■ 廃校利用のための改修工事費・設計監理費用

■ 助成金 5,000,000円

hikari no café 蜂巣小珈琲店では、築90年の廃校小学校を活用して菓子製造、パン製造販売の事業を行っています。売上も順調に伸び、製造品目の増加や利用者の増加により、作業スペースの狭隘化が進み、安全性を確保することも難しくなってきました。

これらを改善するために、現在あまり使われていない家庭科室や音楽室を改修し、菓子製造のためのスイーツ工房とパン製造のためのパン工房を分離しました。それぞれの作業場所を分離し、スペースを広げることで作業の安全性と生産性を向上させたものです。

助成を活用した改修により売上と収益をさらに伸ばし、工賃のアップを目標とします。

助成対象事業の内容および助成額

4

群馬県邑楽郡

多機能型事業所のぞみ

◇就労継続支援B型



- 農福連携事業のためのトラクター購入
- 助成金 5,000,000円

のぞみでは、基本姿勢の一つとして、"地域貢献を図りながら障がい者の社会復帰を目指すこと"を挙げており、そのために農業を実践。高齢化が進む地域農業の受け皿として2007年度より1.5haで米作りを始め、2018年度には8haまで拡大しています。しかし現在使用しているトラクター (41HP) では、能力的にこれ以上耕作面積を増やすことができません。

今回の助成によって現在のものより能力がはるかに大きい75HP程度のトラクターを導入することができました。これにより、米と小麦の二毛作を実現することができ、その小麦によって地粉うどんの6次産業化を実現する予定です。さらに耕作放棄地を引き受けて耕作面積を拡大することができます。耕作面積拡大と二毛作による増産・6次産業化で収入アップと工賃アップに確実につなげていきます。

5

愛知県瀬戸市

かいこ

◇就労継続支援B型



■ 作業棟の増築工事費用

■ 助成金 5,000,000円

かいこでは現在、ベーカリー班でパン・焼き菓子の製造、軽作業班で便利屋と内職作業を行っています。パンは年間約2,000万円の売上があり、パンの仕事が増えるにつれて焼き菓子と共用で使用している部屋が狭隘になってきました。

今回の助成によって、作業棟を2階建てに増築しました。当初は平屋を考えていたのですが、利用者の障がい特性や作業内容を考えて変更したものです。増築した建物では、現在の内職作業に加えて新規に一般企業の業務を請け負うためにネジ切り機械を導入して実施していきます。また、当初から予定していた既存建物の活用では、クッキー室を新設し運用します。これらにより利用者工賃の向上を目指し、力を合わせて努力していきます。

6

島根県松江市

わこうの里

◇就労継続支援B型



■ トラクターおよび作業機の購入

■ 助成金 5,000,000円

わこうの里では、農産物の生産、加工販売を行っています。生産物は水稲と露地野菜です。栽培する野菜はキャベツ、タマネギ、ニンジンなど。近年廃業する農家が多く、露地野菜の供給が追いつかないため、栽培面積と一般販売量の拡大を計画しています。

今回の助成によりハイクリアランストラクター、マルチ畝立て機、キャベツ定植機、タマネギ定植機、サツマイモ定植機を購入いたしました。最初に導入したサツマイモ定植機により利用者さん2名で15,000本 (昨年比33%アップ)の定植を完了できました。他の機械も順次導入しています。

これらの助成による機械導入により、主力野菜の作付面積が増加 し、品質の良い野菜が生産できるようになりました。利用者さんの工 賃アップも大いに期待することができます。

助成対象事業の内容および助成額



長崎県佐世保市

マザーワート就労支援

◇就労継続支援B型





- 製パン工程効率化のための自動化機械の購入
- 助成金 5.000.000円

マザーワートでは無添加・アレルギーフリーのパンの製造を行い、豊富なラインナップと柔らかな食感のパンでリピーターを獲得しています。2017年度は食パンベースで日量210斤(70斤×3サイクル)のパンを製造しました。年々受注も増えていますが、さらに現在は近隣の学校や幼稚園等から新規受注の相談を受けています。しかし設備、人員ともに余力がなく生産量を上げることができませんでした。

これを打開するために、現状2ヵ所ある作業所を1ヵ所に集約しました。さらに助成金を活用して製パン工程を一部自動化できるパン生地自動分割機を導入。これにより製造するパンの種類を増やすことができ、売上も順調に伸びています。さらなる給料増額を目指します。

8

大分県豊後大野市

ロイヤルウォッシュ

◇就労継続支援A型



■ ガウンフォルダーの購入

■ 助成金 5,000,000円

ロイヤルウォッシュのクリーニング業は、リネンサプライ事業部と私物クリーニング事業部があります。インバウンドの影響により観光業界は大変盛況で、それにともないホテルで使用するリネンの仕事が増えていますが、その中で扱う洗濯物に現在の機械ではたためないバスローブや作務衣などが数多くあります。

今回の助成金で、これらをたためるガウンフォルダーという機械を導入することができました。これにより、たたみの作業効率は飛躍的に向上する予定です。現時点ではまだ十分に活用できてはいませんが、新たに1名の支援員を雇用できたことにより、利用者への指導を付き切りで行うことが可能となります。このことにより適正な人員配置を行い、労働生産性を高めて全体の売上と賃金アップを図るつもりです。

9

大分県日田市

障がい福祉サービス事業 ぴぃたぁパン

◇就労継続支援B型



■ パン生地分割機の購入

■ 助成金 5,000,000円

ぴぃたぁパンではパンの製造・販売事業などを行っています。パン事業の売上は年間3000万円以上ですが、パン生地を適正分量に切り分け丸める作業には3人が必要です。

助成によりパン生地分割機を導入することができました。その結果、生地の分割と計量の作業を2人で行うことができるようになり、分量の正確性も向上し、作業時間もこれまでの約半分に短縮することができました。同作業から外れた1人はパンの成形作業に回ることにより、1日当たりの生産個数が増産できています。今後は新規の卸し先を確保し、さらなる生産性の向上と業務の効率化により月額工賃のアップに反映させて行きます。

Ⅲ. ステップアップ助成金

助成先

助成対象事業の内容および助成額

1

北海道留萌郡

ほっぷすてっぷ



- 私物用小型高温高圧 調理機の購入資金
- ■助成金 2,000,000円

2

北海道厚岸郡

のんき村



- ■畑作りのための 小型トラクター購入資金
- ■助成金 1,500,000円

3

北海道砂川市

障害者自立支援施設くるみ



- ソフトクリームフリーザー等 購入、動力設備増設工事 および厨房改修資金
- ■助成金 1,180,000円

4

山形県米沢市

フラワーコート米沢



- ■配達車両の購入資金
- ■助成金 1,200,000円

5

群馬県高崎市

障害福祉サービス事業所 エール



- ■ドラム式30kg乾燥機 購入資金
- ■助成金 2,000,000円

助成先

助成対象事業の内容および助成額

6

東京都武蔵野市

ワークイン中町



■小型区分けシステム (PA200CV/ST)の 設備導入資金

■助成金 2,000,000円

7

静岡県富士宮市

EPO FARM



■ 羊圃場整備資金■ 助成金 2,000,000円



8

愛知県名古屋市中川区

わーくす昭和橋



■肉まん増産のための 生地冷凍発酵機購入資金

■助成金 1,990,000円

C

大阪府岸和田市

東山自立センター



■ オンデマンド印刷機の 増設資金

■助成金 2,000,000円

10

高知県南国市

きてみいや



■ 小型トラクター購入資金■ 助成金 1,100,000円

助成先

助成対象事業の内容および助成額

11

福岡県福岡市西区

レストランゆずのき



- ■食器洗浄器、冷蔵ケース、 電磁調理器の購入資金
- ■助成金 2,000,000円

12

福岡県福岡市南区

障害福祉サービス事業 多機能型みらい



■ランドリー仕上機購入資金 ■助成金 2,000,000円

13

大分県宇佐市

福祉サービス事業所きずな



■ビニールハウスの整備資金 ■助成金 2,000,000円

14

宫崎県日南市

障害福祉サービス事業所 サン・スマイル



- ■クックチルシステム導入 および厨房機器購入資金
- ■助成金 2,000,000円



15

宫崎県都城市

就労継続支援事業所太陽



■藁の自動結束機購入資金 ■助成金 1,950,000円

- 14 -

Ⅳ. 障がい者福祉助成金

助 成 先

北海道札幌市北区

障がいのある方の全国テレワーク 推進ネットワーク

■「障害のある人のテレ ワーク実践を語る会 議」開催事業(全障 テレネット協働推進 事業)(会議)

■助成金 1,000,000円

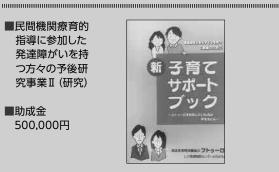


神奈川県横浜市緑区

特定非営利活動法人フトゥーロ

■民間機関療育的 指導に参加した 発達障がいを持 つ方々の予後研 究事業Ⅱ(研究)

■助成金 500,000円



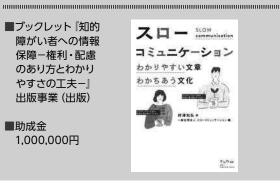
助 成

神奈川県横浜市中区

一般社団法人 スローコミュニケーション

■ブックレット『知的 障がい者への情報 保障-権利・配慮 のあり方とわかり やすさの工夫ー』 出版事業 (出版)

■助成金 1,000,000円



東京都新宿区

医療機関の障害者雇用ネットワーク

■「夢を叶える Doctor's Network」事業 (啓発)

■助成金 1,000,000円



助 成

内容および助成額助成対象事業の

東京都港区

一般社団法人 日本車いすバスケットボール連盟

■2019DMSCUP連盟杯争奪 第28回全日本車いすバスケットボール競技大会 (スポーツ)

■助成金 1,000,000円



東京都北区

NPO法人北区障害者団体連合会

■喫茶へGO!売り上げUP大作戦!! 障害者ふれあいコンサート (啓発)

■助成金 300,000円



助 成 先

東京都新宿区

社会福祉法人日本盲人会連合

- ■弱視者への理解を促進するための啓発事業 (啓発)
- ■助成金 850,000円





東京都千代田区

NPO法人日本バリアフリー協会

- ■フュージョンマーケット第1回グランプリ(文化)
- ■助成金 1,000,000円





助 成 先

内容および助成額助成対象事業の

東京都千代田区

認定NPO法人 ミュージック・シェアリング

- ■ミュージック・シェアリング合同コンサート(文化)
- ■助成金 400,000円



新潟県新潟市中央区

プラダー・ウィリー症候群協会 新潟 「有志の会」

- ■絵本「ぼくを少しだけ 分かってほしい] 出版 事業 (出版)
- ■助成金 800,000円



助 成 先

内容および助成額助成対象事業の

京都府京都市上京区

公益社団法人 認知症の人と家族の会

- ■認知症の人と家族の ためのハンドブック 作成と正しい知識の 普及啓発事業 (出版)
- ■助成金 1.000.000円



2019年度 障がい者の働く場 パワーアップフォーラム実施報告

1. 実施報告

....

より幅広い参加者を迎え、日帰りで参加することのできる「パワーアップフォーラム」を開催。本テーマである「経済的自立力を備えた新しい福祉」について、参加者と深く掘り下げていきます。働く場に欠くことのできない「障がい者の権利」やディーセントワークの理念をはじめ、会場ごとにサブテーマを設け、ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者を講師に、参加者と一緒に学ぶ一日としています。

福岡会場は品質や生産性の向上と福祉の関係が問われる高賃金の事業所づくり考える「より高い賃金を目指して」、東京会場は働きづらさを抱えた人が「共に働き共に生きる」働く場の実践、大阪会場は「障がいのある人が働く場に求めていること」をテーマに、参加者の積極的な発言もあり、一緒に考え学ぶ、有意義な時間となりました。

2. プログラム内容

福岡会場

7月12日(金) エルガーラホール

より高い賃金を目指して

Pro	ogram	
10:00		主催者あいさつ
10:10	講演1	時流講座 障害のある人をめぐる 関連動向とディーセントワーク NPO法人日本障害者協議会 代表 藤井 克徳
11:00	講演2	障がいのある人が最高品質を極める 一 問われているのは — (社福)はらから福祉会 理事長 武田 元
11:50		休憩(70分)
13:00	講演3	「働くこと・暮らすこと」を 支える力を高めるために (社福)武蔵野千川福祉会 常務理事 新堂 薫
13:50	講演4	お弁当・高齢者向け配食サービスに 夢を託して (社福)キャンパスの会 理事長 楠元 洋子
14:40		休憩(20分)
15:00	ビデオ上映	働き甲斐のある仕事と暮らし 毎年恒例の実践レポートビデオ。ヤマト 福祉財団で制作している最新ビデオを 上映します。
15:15	当事者報告	何のために働く場に通っているのか、 その思いを共有するために今年も当事 者に登壇をお願いしています。
15:30	シンポジウム	経済的自立力を備えた経営 障がいのある人のためにどのような環 境や仕事が求められているのでしょう か。働く場に期待されていることを会 場のみなさんと考えます。 コーディネータ:藤井 克徳 シンポジスト:武田 元、新堂 薫、 楠元 洋子
17:00	終了	

東京会場

7月26日(金) 全社協・灘尾ホール

「共に働き共に生きる」 障がい者の働く場

Program

	8	
10:00		主催者あいさつ
10:10	講演1	時流講座 障害のある人をめぐる 関連動向とディーセントワーク NPO法人日本障害者協議会 代表 藤井 克徳
11:00	講演2	「今日も一日がんぱった」 真の共生の実現を目指して (社福)共生シンフォニー 常務理事 中崎 ひとみ
11:50		休憩(70分)
13:00	講演3	「福祉のしばりから脱却」 共に生きるために選んだ途 (有)ドアーズ 代表取締役 柴田 智宏
13:50	講演4	「家族の温かみを感じるために」 元刑事のつくった働く場 (NPO)ENDEAVOR EVOLUTION 理事長 松浦 一樹
14:40		休憩(20分)
15:00	ビデオ上映	働き甲斐のある仕事と暮らし 毎年恒例の実践レポートビデオ。ヤマト 福祉財団で制作している最新ビデオを 上映します。
15:15	当事者報告	何のために働く場に通っているのか、 その思いを共有するために今年も当事 者に登壇をお願いしています。
15:30	シンポジウム	社会と価値を共有できる働く場づくり 「共生社会」の働く場とは、障がいのある 人とどのように関わりをもてば実現で きるのか、会場のかなさんとともに福祉 の仕事の可能性について考えます。 コーディネータ:藤井 克徳 シンポジスト:中崎 ひとみ、柴田 智宏、 松浦一樹
17:00	終了	

大阪会場

8月23日(金) マイドームおおさか

障がいのある人が 働く場に求めていること

Pro	ogram	
10:00		主催者あいさつ
10:10	講演1	時流講座 障害のある人をめぐる 関連動向とディーセントワーク NPO法人日本障害者協議会 代表 藤井 克徳
11:00	講演2	ぶろぼのが目指す 人・組織・地域づくり (社福)ぷろぼの 理事長 山内 民興
11:50		休憩(70分)
13:00	講演3	「知的障がい者の自立のために」 シンフォニーの取り組み (社福)シンフォニー 理事長 村上和子
13:50	講演4	障害のある人が 働く場に求めていること (社福)豊芯会 上野 容子
14:40		休憩(20分)
15:00	ビデオ上映	働き甲斐のある仕事と暮らし 毎年恒例の実践レポートビデオ。ヤマト 福祉財団で制作している最新ビデオを 上映します。
15:15	当事者報告	何のために働く場に通っているのか、 その思いを共有するために今年も当事 者に登壇をお願いしています。
15:30	シンポジウム	障がいのある人の夢をかなえる 働く揚づくり 障がいのある人にも芽生える「自己実 現」の欲求にどうすれば応えることが できるのか。会場のみなさんとともに 夢をかなえる働い場について考えます。 コーディネータ:藤井 克徳 シンポジスト:山内 民興 村上 和子、 上野容子
17:00	終了	

福岡会場 7月12日(金)**エルガーラホール

「より高い賃金を目指して」

福岡会場は、サブテーマを「より高い賃金を目指して」とし、夢へのかけ橋実践塾の塾長を講師に迎えました。はらから豆腐、牛タンの製造販売で売上をあげる(社福)はらから福祉会の武田元氏は、「利用者さんに生活できる給料を支給するのは、高い品質と支援力だ」と話します。「給料が上がるとともに利用者さんの働く態度が変化する。大切なのは、利用者さんの働く力を高めること」と話すのは、DMの封入・封緘事業を行う(社福)武蔵野千川福祉会の新堂薫氏です。弁当と高齢者食の

製造・配食サービスで成果を 上げる(社福)キャンバスの会 の楠元洋子氏は「高齢者食は、 利用者さんの刻み食やとろみ 食を作っている福祉施設が有 利。必要なのは利用者さんの 給料増額を何としてもやる、と いう覚悟です」と会場の参加者 に訴えました。







東京会場 7月26日(金)**全社協・灘尾ホール

「共に働き共に生きる」障がい者の働く場

昨年の福岡会場のサブテーマ「共に働き共に生きる」を東京会場で講師も同じ3氏にご登壇いただきました。「「働く施設」だということ信念を買いて今がある」と、クッキーの製造販売で億単位の実績を持つ(社福)共生シンフォニーの中崎ひとみ氏。「施設で10万円もらうより9万円でよいから企業で働きたい」という利用者さんの声で働き方を選べるように、企業の運営も行う(有)ドアーズの柴田智宏氏。ENDEAVOR

EVOLUTIONの松浦一樹氏は、「罪を犯した少年たちも障がいのある方たちと働くことで社会復帰の道を開くことができる」と考え福祉の世界に踏み込んだ元刑事。当事者からも「働く場所があるというのは人生の質を上げること」「給料を上げ、自分の力で暮らしていく」と力強い発表がありました。







大阪会場 8月23日(金)**マイドームおおさか

「障がいのある人が働く場に求めていること」

大阪会場のサブテーマは「障がいのある人が働く場に求めていること」です。 喉頭がんで声と職を失った (社福) ぷろぽのの山内民興氏は「働くことは、人らしく生きる大切な行いだと身をもって知った」と話します。 利用者さんがバスに乗る、お金を使うという一人ひとりの訓練から、行政、交通機関などの協力を得て、社会の中で経験を積めるようにした (社福) シンフォニーの村上和子氏の実践に参加者も興味深く聞き入っていました。 ソ

ーシャルワーカーとして、長年活躍されている (社福) 豊芯会顧問の上野容子氏が大切にするのは一人ひとりに寄り添う姿勢です。「制度ありきでなく、目の前の利用者さんの「~をしたい」を形にしていく。制度はそのために活用するのです」という言葉が印象に残りました。





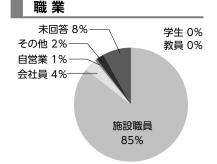


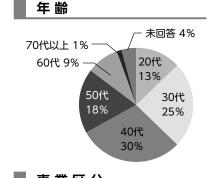
3. 実施日・場所・人数

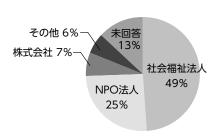
開催日	開催地	会 場	参加人数
7月12日	福岡	エルガーラホール	168名
7月26日	東京	全社協・灘尾ホール	167名
8月23日	大阪	マイドームおおさか	215名
10月18日	沖縄	沖縄コンベンションセンター	57 名
	合 計		

4. 2019年度 障がい者の働く場パワーアップフォーラム 参加者の傾向

※アンケート回答者 361 名



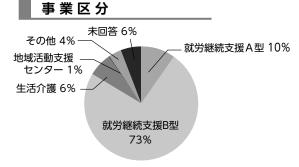




所属

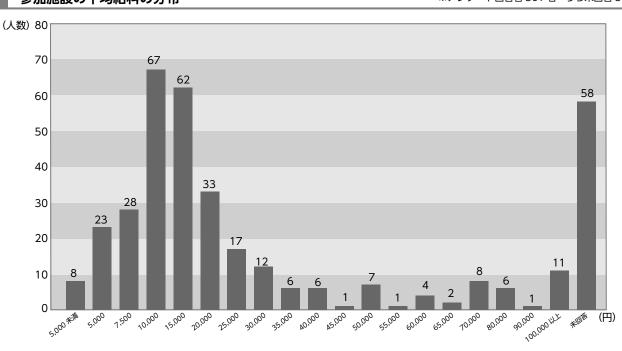
性別





参加施設の平均給料の分布

※アンケート回答者 361 名 うち未回答 58 名



障がい者の働く場パワーアップフォーラム 沖縄 深堀り2019の報告

2018年にスタートした「パワーアップフォー ラム沖縄」は、パワーアップフォーラム沖縄実行 委員が中心となり、自ら考え、深めていく「地域 型パワーアップフォーラム」です。

沖縄県の障がい者が働く事業所は、年々急増 し続けています。2017年の調べでは、就労移行 支援事業所が全国1位、就労継続A型は4位、B 型も2位となっています。この状況を踏まえ、実行 委員は「これから3年後、5年後、10年後を見据 えて障がいのある方を支えていくために、福祉に 携わる者になにが必要とされるのか。多くの人と 一緒に考え活動していきたい」と話します。当財 団では、この活動を3年間にわたり応援していく 計画を立て、今年はその2年目となります。



■3年間の活動計画

·1年目 パワーアップフォーラム沖縄 キックオフ

> 現在の沖縄での取り組み事例や実行委員会の討議をもとに、 四つの分科会でプランを立て活動をスタート。

•2年日 パワーアップフォーラム沖縄 深堀り2019

実行したプランの結果をフォーラムで報告し、多くの人と情報を共有。

結果を見定め、さらに深めます。

•3年目 パワーアップフォーラム沖縄 広がり2020

> 実践していることや知り合った仲間との交流を継続。 各自の行動を、より広め推進していきます。

■ 実行委員名簿 ※敬称略、順不同(2020年3月現在)

きょうされん沖縄支部長 ・朝妻 彰

(社福)若竹福祉会総合施設長 ·村田涼子

(社福) 若竹福祉会 社会就労センターわかたけ総括兼施設支援課長 ·桑江常和

全Aネット沖縄支部事務局、TEAM VILLAGE 代表社員 ・玉城 卓

(社福)とよみ福祉会 ひまわりファクトリー施設長 ・森田 恵美子

きょうされん沖縄支部事務局長、サポートセンターあすなろ主任 · 金城 和歌子

(一社)ハーネス代表 ・永山盛秀

(公社)沖縄県精神保健福祉会連合会事務局長 ・高橋年男

(社福)トゥムヌイ福祉会理事長 ・喜納 平

(公社)沖縄県精神保健福祉会連合会 宜野湾市地域活動支援センターはぴわん施設長 ・兼浜克弥

(NPO)エイブルサポートつばさ 障がい者生活介護センターつばさ管理者 ・喜屋武 真司

瞳がい者の働く場パワーアップフォーラム沖縄 深掘り2019

● 日 時:2019年10月18日

●場所:沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市)

10月18日、実行委員の主導で第2回目となる「パワーアップフォー ラム沖縄深掘り2019」を開催しました。

山内理事長は「障がいのある方が、仕事をして自立した生活を 楽しめる、自らの力で幸せになれる、そのためにはしっかりとした 収入を得られる仕事、働く場が必要です。それを沖縄でもっと創り 出していかなければならないと考えています。この働く場パワーア ップフォーラムが、障がいのある方が、自立をして、健常者と一緒に なって暮らしていける、世界を作っていける一助となればと考えて います」と開会の挨拶を述べました。

シンポジウムでは、3名のシンポジストが活動事例を報告しまし た。沖縄ならではの地元の強い絆に加え、全国の異業種をつないで 障がいのある方の働く場の拡大を目指す(株)ゆにばいしがき 代表 取締役 津嘉山 航氏。ITサポートによるテレワークなどの新しい働 き方の提案と実現を進める障がい者ITサポートおきなわの管理者 仲根建作氏。人手不足で悩む農家と福祉とが力を合わせる農福連携 を推進する(同)ソルファコミュニティ TEAM VILLAGE 代表社員 玉城 卓氏。3人がそれぞれに進めている取り組みを、会場に集まった たくさんの福祉関係者に向けて発信しました。

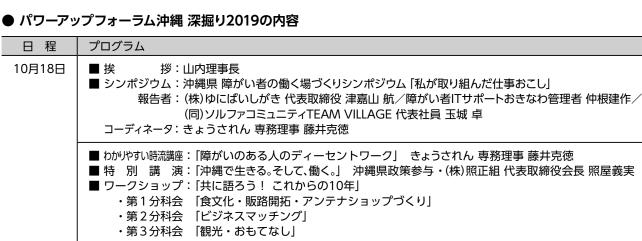
続いて、シンポジウムでコーディネータを行われたきょうされん 専 務理事の藤井克徳氏による時流講座へ。優生思想や国の障がい者 雇用水増し問題などのいまも根深く残る差別意識について解説。ま た、福祉か雇用か、雇用か福祉かで惑う障がい者雇用の問題点に対 しては、対角線モデルにより解決していく持論を展開しました。

さらに特別講演として、沖縄県政策参与・(株)照正組 代表取

締役会長の照屋義実氏が登壇。戦前・戦中・戦後の沖縄の障がい者を取り巻く厳しい実情を振り返りながら 「それでもみんなで力を合わせて、弱者を守ることができる地域社会を築いていきましょう」と呼びかけました。

そのあとは、来場者も参加した「共に語ろう。これからの10年!」を主題にした3つの分科会のワークショップへ。 分科会では、2年目に入りより明確になったそれぞれの課題解決の方法を参加者とともに話し合いました。 マルシェの開催、ポータルサイトの立ち上げ、観光客集客のためのガチャガチャの設置など、分科会ごとに立案 した企画実現へ向けて深堀りを進めていきました。











第1分科会活動報告

■ テ ー マ : 「食文化・販路開拓・アンテナショップづくり」

■ 分科会メンバー: 津嘉山 航、森田 恵美子、金城 和歌子、萱原景子、山入端 泰之、

※敬称·所属団体名略、順不同 上地藤江、田村伸介

第2回分科会•施設見学会

● 日 時:2019年6月6・7日

● 場 所:分科会参加4事業所(沖縄本島)

分科会に参加する各施設を見学し、良い点悪い点、改善点とその方法について討議。出店の可能性と検討事項を整理しました。 さらに今後の分科会の進め方や10月開催フォーラムに向けての準備について話し合いました。

第3回分科会

● 日 時:2019年7月2日

● 場 所:沖縄ヤマト運輸(株)会議室(糸満市)

沖縄ヤマト運輸(株)の会議室に集い、前回の施設見学会で感じた点、今後の動き方などを話し合いました。具体的にはコラボ商品の施策、各施設の商品の店頭販売、あ・んの蕎麦屋店舗「にじいろ食堂」活用について、さらに10月開催フォーラムの分科会の進め方、案内パンフレット作成についても討議しました。

第4回分科会·施設見学会

● 日 時:2019年9月10・11日

●場所:(株)ゆにばいしがき(石垣島・西表島)

2日間かけ(株) ゆにばいしがきが運営する各事業所を見学。 石垣島では現地の優位性を生かしたモリンガ、島とうがらしなど の栽培を行う事業所、児童支援を行う事業所、リニューアル中の カフェ、利用者さんをタッチセラピストに育成する事業所などを 見学。西表島では、ここでしか手に入らないお土産を利用者さん が制作・販売する姿を見学しました。

第5回分科会

● 日 時:2019年12月11日

● 場 所:沖縄ヤマト運輸(株)会議室(糸満市)

新メンバー施設も加えて、第5回分科会を開催しました。ナイス ハートバザール マルシェの結果報告、コラボ商品の今後の展開、 あ・ん店舗「にじいろ食堂」活用第2回打合せ、各施設の問題点の 再考、残り1年間の分科会の進め方、中長期的展望などを話し合 いました。なお、第1分科会では、他にも7月にコラボ商品の試食会、 8月に開催された与那原大綱曳きまつりでのマルシェにも参加して います。









開催イベントの報告

●試食会 日 時:2019年7月24日

場 所: 就労支援あ・ん(那覇市)

那覇市にある (NPO) あごらぴあの就労支援あ・んにて、コラボ商品の試食会を開催しました。 塩サーターアンダギー、 焼きそばパン、 屋我地マースショコラ、ナポリタンドッグなど、 それぞれの試作品を持ち寄りました。

●マルシェ 日 時:2019年8月3・4日

場 所:与那原大綱曳きまつり

(島尻郡与那原町)

第37回与那原大綱曳きまつりで開催された別途 会場のマルシェに参加。分科会メンバーのコラボ 商品を出展しました。





第2分科会活動報告

■ テ ー マ:「ビジネスマッチング」

■ 分科会メンバー: 比嘉 ゑみ子、村田凉子、桑江常和、吉川嘉朝、比嘉里美、喜納政哉、中井良美、

**
敬称·所属団体名略、順不同 金城健太、富田治敏、朝比奈 めぐみ、宮城 奈穂美、仲根建作、知念美香、仲本和美、

照屋尚子、中村 元、知花 さおり、佐藤 香菜子、月坂 潤、赤嶺徳郎、兼浜克弥、當山孝之

第2回分科会

● 日 時:2019年4月16日

●場所: cafeめしギャラリーさまさま(那覇市)

ビジネスマッチングワークショップの方向性を話し合いました。障がいのある方の働きたい思いを受け止め、次のステップへとつながる場や集える仕組みづくりを討議。イメージは「わくわくプラットフォーム」です。

第3回分科会

● 日 時:2019年6月11日

●場所: cafeめしギャラリーさまさま(那覇市)

企業が求める仕事と支援機関で提供できる仕事を整理し、さまざまな情報がワンストップで得られるような場所づくりを検討。企業と支援機関の立地や仕事内容が見える情報サイトを立ち上げ、また双方がリアルに出会える「おしごと祭り(仮称)」を開催することも決定しました。

第4回分科会·施設見学会

● 日 時:2019年8月27日

●場所: cafeめしギャラリーさまさま(那覇市)、4事業所(沖縄本島)

(有)仲松ミート、(株)メジャーサポートサービス、障がい者ITサポートおきなわ、(社福)若竹福祉会を訪問。 それぞれの事業所の仕組みと、そこで働く利用者さんの仕事と職員の支援について理解を深めました。

第5回分科会

● 日 時:2019年9月25日

●場所: cafeめしギャラリーさまさま(那覇市)

10月18日に開催する第2回パワーアップフォーラム沖縄 深掘り 2019で発表する第2分科会の活動報告を、「おしごと祭り」グループと「情報サイト立ち上げ」グループの二つに分けて発表することに決定。それぞれの役割分担を決めるとともに、パワーポイント資料やプレゼンテーション方法を確認し、新たなメンバーを募るための効果的な発表方法について話し合いました。

第6回分科会

● 日 時:2019年12月11日

● 場所: cafeめしギャラリーさまさま(那覇市)

新たなメンバーを加え「おしごと祭り」と「情報サイト立ち上げ」の実施事項について話し合いました。今後は、おしごと祭りを開催する「イベント分科会」とサイト立ち上げを行う「情報サイト分科会」の2つのグループに分かれて活動し、合同の第2分科会は適宜行うことに決定しました。





イベント分科会「おしごと祭り」の開催準備の報告

● 第1回イベント分科会

2020年1月22日、那覇市のcafeめしギャラリーさまさま(以下、同場所にて開催)で必要経費とイベントの出展ブースやコーナーなどについて会議。イベント開催日は2020年6月20日、場所は沖縄県総合福祉センターゆいホールに決定。

● 第3回イベント分科会

2020年3月9日、イベントのコーナー企画についてマッチングや体験の参加企業やマスコミ関係など具体的依頼先を検討。宣伝広告のチラシ・ポスターを「情報サイト分科会」に依頼。

● 第2回イベント分科会

2020年2月26日、浦添市の「働く応援フェスタ」を参考にイベントの開催内容を話し合い、企業とのマッチングコーナー、お仕事体験コーナー、ステージで演舞披露などの内容を決定。

● 第4回イベント分科会

2020年3月25日、新型コロナウイルスの影響を検討し、9月19日に延期を決定。イベントのコーナー企画について依頼先への趣意書やアンケートを検討するとともに、ステージの演舞の依頼先はアーティストや学校関係などとし、MCも今後の検討課題としました。

第3分科会活動報告

※敬称·所属団体名略、順不同

■ 分科会メンバー: 喜納 平、玉城 卓、瀬底美月、深谷直美、吉原秀和、幸喜利奈、幸喜 達、

大石根 順一、長野弘子、金子裕一、古堅 守、目黒輝美、下地克子、

佐渡山 安俊、冨里弘樹、佐藤 香菜子、宮里満明

第2回分科会·本島施設見学会

● 日 時:2019年5月24・25日

● 場 所:分科会参加4事業所(沖縄本島)

第1回分科会で決定したガチャガチャの設置に向け、ガチャガチャに入れる商品の検討で分科会メンバーの事業所を視察。初日は豊見城市の(同) Common'sと国頭郡恩納村の(株)おきさぽ、2日目は中頭郡読谷村の(一社)うちなーからは一いと中頭郡北中城村の(同) ソルファコミュニティを見学し、設置場所と商品についてそれぞれ打ち合わせをしました。

第3回分科会・離島施設見学会

● 日 時:2019年6月26・27日

● 場 所:分科会参加2事業所(石垣島•西表島)

ガチャガチャに入れる商品決定に、離島の分科会メンバーの事業所を視察。石垣島ではアロマトリートメントと手作り雑貨を販売するあるまねっと(同)、西表島ではお土産など島ゆかりの雑貨を製作・販売する(株)ゆにばいしがき共同作業所スオウの木と同社運営の西表島大原港内直営ショップ「ヤマネコ商店」も見学。販売開始に向けてオペレーションについても話し合いました。

ガチャガチャの設置

● 日 時:2019年10月中旬

● 場 所:(社福)トゥムヌイ福祉会(糸満市)

(社福)トゥムヌイ福祉会が運営する道の駅いとまん内の焼肉屋「ばんない」に4事業所のガチャガチャを設置し、販売を開始しました。(社福)トゥムヌイ福祉会は沖縄オリジナルイラスト缶バッジ、(一社)うちなーからは一いは干支ストラップ、(同) Common'sはさんぐぁー (沖縄の魔除け)ストラップおみくじ付き、あるまねっと(同)は寿司ストラップです。

第4回分科会

● 日 時:2019年12月18日

● 場 所:(社福)トゥムヌイ福祉会(糸満市)

新たに6事業所が加わり、分科会の今後の活動について話し合いました。1年間かけて実施してきたガチャガチャプロジェクトのオペレーションなどを新規メンバーに説明し、希望者と効果的な設置場所について検討。今後の新たな取り組みとして、自分たち主催のマルシェの開催を検討しました。









第1分科会の報告



食文化・販路開拓・アンテナショップづくり 「目指すのは、プロ意識での販売強化」

- ・認知度アップにイベントのマルシェに参加。互いの商品 を事業所に置き、ラインアップの充実も図る。
- ・事業所の新しい顔、売れ筋となる新商品を試作中。
- ・どうすればより売れるようになるか。今後はそれぞれの 立地、客層、ニーズ調査も進め、福祉視点ではなく、販売の プロとしての強化を図る。

第2分科会の報告



ビジネスマッチング 「ポータルサイトとイベントで情報発信」

- ・利用者さんの働く姿や能力を企業に理解してもらうた め、ポータルサイトで情報を発信。
- ・人気フェスティバルを集客のヒントに、より多くの企業 との出会いを設けるイベントを開催。
- ・利用者さんが力を発揮できる仕事、より単価の高い仕事 を創出できるビジネスマッチングを実現。

第3分科会の報告



観光・おもてなし

「外国人観光客の喜ぶ、カプセルトイでアピール」

- ・海外の観光客が喜ぶカプセルトイに着目。カプセルトイ に入れる商品を検討中
- ・メンバーの事業所を視察し、効果的な場所にガチャガ チャ4台を設置。
- ・那覇のサンライズマーケットへの出店や、自分たち主催 のマルシェを計画・実現する。

きょうされん 専務理事

藤井 克徳 氏

障がい者が当たり前のよ うに働く姿を見れば世間 の偏見もなくなっていき ます。福祉か雇用かではな く、福祉も雇用もです。当 事者の声を大切に、今後も 仕事を創出し続けてくだ さい。



沖縄県政策参与 (株)照正組 代表取締役会長

照屋 義実 氏

風化させてはならない沖 縄の歴史を語り継ぐこと は、私たちの務めです。こ れからもみなさんととも に「平和・共生・自立」を テーマに、現在の福祉の問 題と正面から向き合い続 けます。



(株)ゆにばいしがき 代表取締役

津嘉山 航 氏

障がいのある方が地元で 必要とされる存在となる には、地元文化の継承に関 わることも重要です。石垣 島で採れる粘土の精製を する事業を窯業者の協力 を得て開始しています。



障がい者ITサポートおきなわ 管理者

仲根 建作 氏

働き方改革でテレワーク の可能性が広がっていま す。本人のスキル向上から、 iPadの活用や遠隔操作口 ボットなどのツール改善 まで、より多くの方が働け る工夫を続けています。

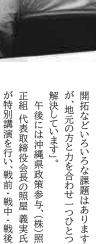


(同)ソルファコミュニティ TEAM VILLAGE 代表社員

玉城 卓氏

365日、土に触れ汗を流 すことで、障がいのある者 も晴れやかな気持ちで働 くことができます。農福連 携は、地元の方と一緒に一 歩前に出ることで、必ず成 功できると、私は信じてい ます。





そして現在に至る沖縄と障がい者の

養実氏 (株)照

歴史を紐解きました。

。弱者が守られる地域社会を実

が、地元の方と力を合わせ一つひとつ開拓などいろいろな課題はあります

がい者の働く農場経営を計画してい障されてこその平和です。いま私は障 命 者問題でもあります。 戦争がないということではありませ h あるすべての者の豊かな生活が保 小さな子どもからお年寄りまで、 「沖縄の平和問題の原点は、 。平和とは、 障がい 、単に

解決策を、 10 現できるか否かは、 在進めている取り組みを検討。実際 なさんの手に委ねられているのです」 動き出すことで見えてきた課題の 「年」をテーマに、3つの分科会で現 後は「共に語ろう!これからの `それぞれ「深堀り」してい

福祉に関 因わる

YAMATO Welfare Foundation NEWS 2020 vol.65

障がい者の働く場パワーアップフォーラム

沖縄 深堀り2019

つひとつ深掘 一で見えてきた課題を

今年はその2年目となります。 中心となり、自ら課題を考え取り組むものです。本財団は3年計画で応援し、 ラム沖縄 深堀り2019」を開催しました。本フォーラムは、現地実行委員が 10月18日、沖縄コンベンションセンターで「障がい者の働く場パワーアップフォー



めてください」と伝えました。 3つの分科会で次の目標を設定 に向けた深堀りを、力を合わせて進 得て生活を楽しむことができる。そん る仕事に従事し、より多くの収入を いのある方が、地域の方に必要とされ 沖縄に適した事業の具現化へ なみんなが幸せになれる社会の実現 主催者挨拶で山内理事長は「障が

の働く場の拡大や給料増額で実績を 法を報告しました。コーディネータは、 上げている3名が、独自の取り組み方 シンポジウムでは、障がいのある方



「初めて参加された方も、分科会で先に取り組みを 進めている方たちの話を聞き、積極的に意見を述べ てほしい。そこから自分にできる具体的なヒントが、 きっと見つかるはずです」と山内理事長

き 代表取締役 津嘉山

そんな環境が着実に整いつつありま りを支援。「当事者も支援者になれる、 支援にと、さまざまな形で仕事づく す。さらに全国の異業種とのつながり くことで、三線が得意な方は居酒屋 に、発達障がいの高校生は児童の学習 くりに取り組んできました」。 地元のお店や企業と協力体制を築

管理者 仲根 建作氏は、車椅子ユー 障がい者ITサポートおきなわの 「私たち移動困難者を含め、働く上 ーの当事者です。

ですべての障がい者にIT支援は欠か

考えです」。

仕事も見つかると解説。

を持ち、より仕事の輪を広げていく

専務理事の藤井克徳氏です 時流講座を講演されたきょうされん 最初に登壇した(株)ゆにばいしが

仕事をしたいと願っています。その思 がいが重い方でも社会参加がしたい いに応えていくためにも頑張り続け り、機器の貸し出しからセッティング めようと法人を立ち上げました」。 ークも推進しています。「どんなに障 や使い方なども総合的に支援。テレワ 仲根氏は、アウトリーチで相談に乗

ったく違います。それでも地域や障が 援していましたが、石垣島は状況がま ターン。「埼玉県で知的障がい者を支 わたる)氏は、平成13年に石垣島へU

活かせるように仕事づくり、仕掛けづ いのある方一人ひとりの個性、強みを

作業を細分化でき、それぞれに合う かし合えば、地域活性化にもつながり たくさんいる福祉施設。互いの力を活 ます」。農業は水やりや種蒔きなどで す。「人手不足で悩む農家と働き手が 農福連携をキーワードに掲げていま VILLAGE 代表社員 玉城 卓氏は (同)ソルファコミュニティ TEAN

 1_{st}

•

2_{st}

パワーアップフォーラム 沖縄 キックオフ テーマごとに活動し、沖縄で暮らす障が いのある人に役立つプランを考える。

パワーアップフォーラム 沖縄 深堀り2019

準備したプランを実行し、結果を見極め ながら、さらに深める。

パワーアップフォーラム 3_{st}沖縄 広がり2020

各自の実践や知り合った仲間との交流 の継続。

になかったITサポート事業をはじ せないものです。そこでいままで沖縄

培もはじめました。技術面や販売先 さんの出資を得てバニラビーンズの栽 ます。売上拡大に商品価値の高い自 栽培で野菜を作ったり、お菓子屋 「私たちの農地は約7000坪あり

2019年度 「夢へのかけ橋 実践塾」実施報告

.

1. 夢へのかけ橋 実践塾とは

「夢へのかけ橋 実践塾」は、夢へのかけ橋プロジェクトのテーマ "経済的自立力を備えた新しい福祉"に向かって行動を起こす施設を塾生とし、利用者さんの給料増額という目的を達成するための研修会です。2019年度は、27名の塾生が「1年後3万円、2年後5万円」への給料増額を目指し、事業改革に取り組みました。

「楠元塾(第2期)」の7塾生は、2017年9月~2019年9月の全活動を終了しました。 「楠元塾(第3期)」の10塾生、「新堂塾(第4期)」の10塾生は、2019年9月~2021年9月の2年間の活動に取り組んでいます。

塾生には、クラウドサービスによる「収支管理システム」を提供しています。塾生はこのシステムを活用し、毎日・月ごとの売上を把握。新たな目標の設定や改善策の検討・実行などに役立てています。また、塾生が起こす事業をモデル化して水平展開するための資金(「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金)を用意。この資金は、塾生が立てた事業プランから、効果が高いと認められるものに対し、新規事業を起こすため、事業改革を進めるために必要な道具や働く環境を整え、実行結果を塾で検証するものです。

なお実践塾修了後も、利用者さんの給料増額を進めるために卒業者主体で勉強会 などを開催しています。

2. 研修内容

各塾は独自に研修会、見学会、勉強会、塾長による塾生施設の視察などを開催し、 塾生一人ひとりの抱える問題を具体的に解決できるように取り組みました。また複数の 塾が一つの会場で合同研修会を開くことにより、互いに情報交換を行う機会も提供し、 給料増額の目標達成につながる効果を狙いました。

- ・販路拡大や商品開発など営業に関する新規事業や改善について 事業プランを作成。
- ・2年間を通じて合同研修をはじめ、塾ごとに研修会や勉強会を開催し、 自分の目標の進捗や他参加者の進捗などを確認。
- ・先行している施設より現場の課題などを説明。
- ・グループディスカッション・合同パネルディスカッションなども取り入れる。
- ・2年間、PDCAサイクル手法を実行して成果を出す。

3. 夢へのかけ橋 実践塾 全体のスケジュール

楠元塾(第2期)

楠元塾(第3期)

新堂塾(第4期)

● 収支研修会 (2019年8月30・31日) ※ホテルフクラシア晴海(東京都)

楠元塾 (第2期·3期)合同研修会 (2019年9月27·28日)

※ホテルフクラシア晴海(東京都)

- 楠元塾 (第2期) 第6回研修会/修了式
- 楠元塾 (第3期) 第1回研修会/開講式
- 第2回研修会 (2019年11月22・23日) 食品加工センター キャンバス/ お弁当のまるよし/ CBSリネンサービスとしみ/ 生活介護事業所なみき
- 見学・勉強会 (2020年1月23・24日) 就労支援センターみらいず/ 就労支援センターハーモニー
- 見学・勉強会 (2020年2月20・21日) くまもと障害者労働センター おれんじカフェ/つわぶき園

新堂塾 (第4期)開講式 (2019年9月13・14日) 宇部興産ビル (山口県)

●第1回研修会/開講式

- 見学・勉強会 (2020年1月28・29日) とりはた玄海園就労センター/ 第2つくしの里/ とびうめワークセンター
- 第2回研修会 (2020年2月10・11日) ワークイン関前/チャレンジャー ※ホテルフクラシア晴海(東京都)

■ 塾生募集

〈新堂塾〉ステップアップセミナー (2019年6月8日・広島県 6月15日・山口県)

■ 卒業者へのサポート

〈新堂塾〉第5回フォローアップ研修 (2019年11月10・11日) ワークセンターひがし/のんぴーりAXIS

4. 「夢へのかけ橋」 事業改革モデル化資金

「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金として以下の塾生の事業改革を応援し、その実行結果を塾で検証しました。

(一社) おひさま 「いいはたらくばトポス」

●助成内容: 棚付きの食品庫整備、防虫カーテン3ヵ所の設置、自動手洗い器 導入、動線改善のための厨房と店頭間の壁を抜いたカウンター 整備、以上の事業に180万円を助成

●目 的: 弁当事業初心者として楠元塾 (第2期)に入塾。塾長施設をモデルに 弁当の盛り付け方、厨房の動線、原価計算、販路拡大などを一から 学び、1年半後には月額平均給料17,000円が約3万円にアップ しました。5万円達成に向け近隣の工場や企業に営業をかけ新規 顧客獲得にも成功。あきのこないメニューづくり、品質・生産効率 の向上、HACCPの要件を満たす信頼できる衛生管理体制を助 成により実現し、さらなる顧客獲得と売上拡大を目指しています。



楠元塾



楠元塾は「弁当・配食サービス事業」を対象として給料増額を目指しています。塾長である(社福)キャンバスの会 楠元理事長は「自分たちのつくりたいものではなく、お客様が求める売れるメニューづくりと、利用者さんのことを考えた働く環境づくりを進めていきましょう。私も全力で応援します」と塾生に呼びかけました。

●塾 長: (社福) キャンバスの会 理事長 楠元 洋子氏

•••••

○略歴

2007年に(社福) キャンバスの会を立ち上げ、「障がいの重さに関係なく、一人でも多くの利用者さんに働く場とお給料を」のテーマで弁当・配食サービス事業を開始。現在1日2000食以上を販売。その他にもリネン事業、レストランの運営など、幅広く障がいのある方の働く場を創出している。また、2017年には重症心身障がい児(者)と家族のために医療的ケアもできる福祉施設『はながしま診療所』を開設した。2014年9月~2016年9月『夢へのかけ橋実践塾 楠元塾(第1期)』塾長。2017年9月~2019年9月『楠元塾(第2期)』塾長。2019年9月~『楠元塾(第3期)』塾長。第13回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞(2012年度)。

「利用者さんのために、弁当屋ごっこでは終われない」

塾長の 名 言

「なんとなく作る・売る弁当屋ごっこになっていませんか。お客様がまた買いたいと思える魅力的なメニューづくり、棚卸しや原価計算をしっかりと行った利益の上がる経営、食品を提供するプロとしての衛生管理など、どんなことがあっても利用者さんのためにやり通す覚悟で臨んでください」。

楠元塾塾生: 7施設 (2019年9月現在)

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容(要旨)】	【今後の方向性】
(NPO)山脈(やまなみ)	キッチンハウスみやま	就労継続B型	宅配弁当・昼食・イベント出店	現在 270 ~ 300 食を 500 食へ
(社福)八ヶ岳名水会	多機能事業所のはら楽団	就労継続A・B	弁当・給食・食堂	弁当を中心とした事業
(社福) 小国町社会福祉協議会 サポートセンター悠愛	就労支援センター 陽なたぼっこ	就労継続A・B型	弁当	20 名に 80,000 円支給
(一社)おひさま	いいはたらくばトポス	就労継続B型	弁当を中心とした事業	弁当を中心とした事業
(社福)入間東部福祉会	三芳太陽の家	就労継続B型·生活介護	弁当	弁当を中心とした事業
(NPO) ふれあい	就労継続支援B型 キャッチボール	就労継続B型	弁当	高齢者向け
(NPO) レスパイトケアはちもり	多機能事業所森のこびと	就労継続B型	パン・野菜生産・黒にんにく製造 ・食堂業務委託	弁当を中心とした事業

楠元塾 (第2期) 活動報告

収支研修会

● 日 時:2019年8月30・31日

● 場 所:ホテルフクラシア晴海(東京都中央区)

8月30・31日、第2期楠元塾生は、原価率や会計の基本とその 重要性を改めて学ぶ収支研修会を行いました。弁当配食サービ スにおける適正な原価率の計算の仕方とは。棚卸しのやり方によ りどう影響してくるのか。その上でメニューやレシピをどう改善し ていくべきか。「お金のことがわかっていないと、いくら美味しい

弁当を作っても、販売数が増えても、利用者 さんの給料は増額できません。さらに飲食 業に不可欠な7Sを徹底しておかないと、倒 産してしまうこともあるのです。利用者さん のために、卒業後も健全な経営ができるよう に、目標を見失わずに進み続けてください」 と楠元塾長は伝えました。



■ 収支研修会の内容

日 程	プログラム	
8月30日	■ 講義「健全経営のために」(楠元塾長) ■ 塾生報告・講評	
8月31日	■ 講義「会計・経営管理・原価管理の基本」■ 塾生報告・講評	

合同研修会・修了式・開講式

● 日 時:2019年9月27・28日

●場所:ホテルフクラシア晴海(東京都中央区)

9月27・28日、弁当配食サービスで利用者さんの給料増額を目指してきた第2期楠元塾生7名が、2年間の研修を終えました。山内理事長は「これまでたくさんの苦労があったと思いますが、それを乗り越えてきたことを誇りに、みんなが幸せになれる社会を築いてください」と挨拶。塾生たちは「メニューや盛り付け、作業の段取り、7Sの徹底など、

塾長のやり方を見よう見真似ではじめたことが、やっと自分のものになってきました」「容器洗いしかできなかった利用者さんが、いまは包丁を持ち弁当の仕込み作業で力を発揮しています」「給料が上がった!と喜ぶ利用者さんを見て、この笑顔のためなら、もっと頑張れると思いました」と2年間を振り返りました。

楠元塾長は「最初は素人にしか見えなかったみなさんも、いまでは立派なプロの弁当屋さんです。大切なのは、ずっと挑戦し続けること。いつでも私は相談に応じますよ」と激励の言葉を贈りました。



■ 合同研修会・修了式・開講式の内容

日 程	プログラム
9月27日	■ 山内理事長挨拶
	■ 楠元塾 2 期生成果報告(楠元塾長より講評)■ 実践塾卒業者代表より発表(2名)■ 楠元塾3期生取り組み状況紹介■ 講義 「お弁当・高齢者向け配食サービスに夢を託して」 (楠元塾長)
	■ 表彰式
9月28日	■ 楠元塾 2 期PDCA報告 ■ 楠元塾 3 期生改善活動の進め方



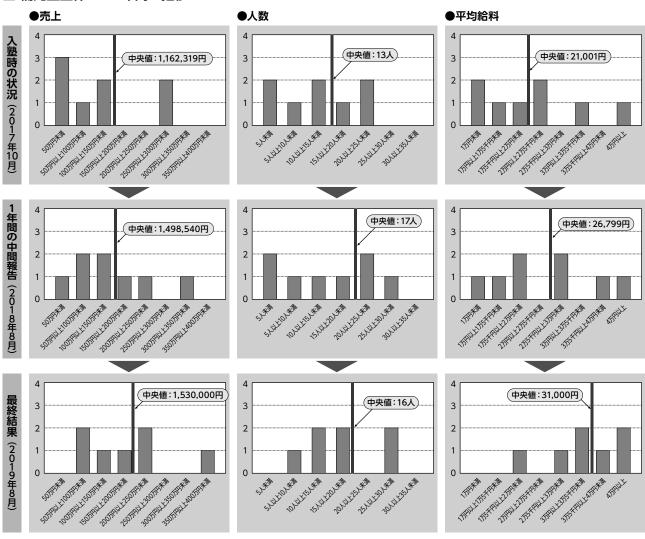
入塾当初は、1日60食ぐらいしか弁当を生産・販売できなかった茨城県牛久市の(一社)おひさまの事業所「いいはたくばトポス」。見学・勉強会で楠元塾長に指摘されたメニューの改善点や盛り付け・動線などの生産効率を高めるポイントなどを徹底して改善していくことで、弁当販売数は1日300食を超えるまでに。さらに職員と新規顧客獲得の営業戦略も練り、修了時には、入塾時に比べ販売数445%、売上337%、給料198%に伸ばすことができました。「2年前、塾長賞をもらった先輩を見て、利用者さんのために私も!と頑張りました」と喜びを語る小林綾子さん。楠元塾長も「なんでも素直に受け入れ、自ら工夫し続ける姿は立派です。これからの成果にますます期待しています」とエールを贈りました。







■ 楠元塾全体での2年間の推移



楠元塾 各塾生の2年間の変化 (2019年8月)

■ のはら楽団

項目	入塾時の状況 (2017年10月)	1年間の中間報告 (2018年8月)	最終結果 (2019年8月)
売 上(円)	1,162,319	1,498,540	1,533,100
1 日 あ た り の 個 数 (個)	93	121	144
利用者人数(人)	7	7	10
平均給料(円)	B 9,600/ A 72,792	B 13,475/ A 74,480	B 10,214/ A 83,835

■ いいはたらくばトポス

項目	入塾時の状況 (2017年10月)	1年間の中間報告 (2018年8月)	最終結果 (2019年8月)
売 上(円)	733,860	1,800,905	2,474,003
1 日 あ た り の 個 数 (個)	70	201	334
利用者人数(人)	15	24	26
平均給料(円)	21,581	27,104	41,698

■ 就労継続支援B型 キャッチボール

項目	入塾時の状況 (2017年10月)	1年間の中間報告 (2018年8月)	最終結果 (2019年8月)
売 上(円)	1,183,080	1,127,700	1,154,470
1 日 あ た り の 個 数 (個)	122	130	118
利用者人数(人)	24	26	26
平均給料(円)	17,575	17,711	19,981

■ キッチンハウス みやま

項目	入塾時の状況 (2017年10月)	1年間の中間報告 (2018年8月)	最終結果 (2019年8月)
売 上(円)	2,524,140	2,394,440	2,176,050
1 日 あ た り の 個 数 (個)	257	220	228
利用者人数(人)	23	20	16
平均給料(円)	21,001	26,799	28,620

■ 陽なたぼっこ

項目	入塾時の状況 (2017年10月)	1年間の中間報告 (2018年8月)	最終結果 (2019年8月)
売 上(円)	2,572,550	3,046,220	3,612,280
1 日 あ た り の 個 数 (個)	263	280	367
利用者人数(人)	13	17	16
平均給料(円)	71,517	73,216	91,766

■ 三芳太陽の家ハーモニー

項目	入塾時の状況 (2017年10月)	1年間の中間報告 (2018年8月)	最終結果 (2019年8月)
売 上(円)	227,600	537,550	665,000
1 日 あ た り の 個 数 (個)	38	57	85
利用者人数(人)	10	10	11
平均給料(円)	32,640	36,082	36,759

■ 森のこびと

項目	入塾時の状況 (2017年10月)	1年間の中間報告 (2018年8月)	最終結果 (2019年8月)
売 上(円)	140,000	223,500	511,850
1 日 あ た り の 個 数 (個)	13	23	51
利用者人数(人)	1	2	5
平均給料(円)	_	_	_

※事業所全体で按分のため平均給料は未記載としています

楠元塾 塾生の変化 (社福) 小国町社会福祉協議会サポートセンター悠愛 『就労支援センター陽なたぼっこ』

弁当事業・食品加工事業

塾で学んだ内容を一つひとつ取り入れ実践し続ける「陽なたぼっこ」。中でも効率的に動ける職場づくり、そして新たな調理方法の導入が売上増加と利用者さんの新しい仕事の創出にもつながっています。

「塾長施設の大量生産の方法を参考に、真空包装機を導入しました。注文がたくさん入る際は、事前に大量の材料を 仕込んで真空パックしておくことで、美味しさを保ったまま効率的に調理できるようになりました。うちは、農業班が 栽培する大豆や地元農家の野菜などを使用することで、利用者さんはもちろん、高齢者にも元気を与えられる事業を

目指しています。前年度のモデル化資金で購入できた食品乾燥機を活かし乾燥椎茸、乾燥切り干し大根を作成。これが美味しいと評判となり、新たな取引先から月に1000個の定期注文も獲得できました」。弁当事業から広がった商品の開発が、陽なたぼっこの新しい顔として、売上を伸ばし始めています。





楠 元 塾 (第 3 期)

2019年9月より第3期楠元塾がスタート。楠元塾長は「みなさんは、第1・2期生が築いてきた弁当・配食サービス事業のノウハウをそのまま取り入れ、活用することで、着実に目標達成への近道を進むことができます。私もより必要な内容を絞り込んでみなさんに伝えていくつもりです。それでも2年間、利用者さんのためにやるべきことはたくさんありますよ」と塾生に伝えました。

●塾 長: (社福) キャンバスの会 理事長 楠元 洋子氏

「福祉施設の強みを活かし、地域に必要とされる存在へ」

塾長の 名 言 「福祉施設の強みは、普段から利用者さんに刻み食・トロミ食などを提供しているノウハウを持つことです。それを活かせば高齢者食の仕事も受注できます。福祉施設だから買って上げようではなく、美味しい、信頼できる、頼りになる。そんな地域に根付いたプロの弁当屋を目指しましょう」。

楠元塾塾生:10 施設 (2020年3月現在)

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容(要旨)】	【今後の方向性】
(NPO) Joint Joy	Joint Joy	就労継続B型・就労移行	農業·弁当	弁当を中心とした事業、 100 食を目標
(NPO)コミュニティ益田	かまて	就労継続B型	ウエス製造・内職・ 電線の皮むき・弁当・惣菜	弁当事業の拡大
(社福)敬和会	就労支援センター ハーモニー	就労継続B型・就労移行	きのこ栽培・キッチン事業 (カフェ・弁当)	弁当を中心とした事業
(NPO) にこにこ	にこにこ食堂	就労継続B型	飲食店	弁当・配食サービスの開始
(社福)あしたの会	どんぐり村福祉工場	就労継続A・B型	A 型…弁当、 B 型…パン・クッキー	現在 260 食を 350 食へ
(社福)つわ蕗会	つわぶき園	就労継続B型	弁当・内職(銅線はがし、箱折り)	弁当作業環境の改善、 現在 150 食を 300 食へ
(社福)矢吹厚生事業所	わーくる矢吹	就労継続B型・生活訓練	弁当・衣類縫製 ほか	作業環境の改善による弁当数向上
(社福)くまもと障害者 労働センター	くまもと障害者労働センター おれんじカフェ	就労継続B型・生活介護	菓子製造・弁当・カフェテリア	現在 80 食を 250 食へ
(合社)エルアクト	はたらく工房	就労継続B型	おやき製造販売・農作業	弁当・配食サービスの開始
(NPO) ともいき	就労支援センター みらいず	就労継続B型	お惣菜製造・店頭販売	弁当・配食サービスの開始

楠元塾 (第3期) 活動報告

合同研修会・修了式・開講式

● 日 時:2019年9月27・28日

● 場 所:ホテルフクラシア晴海(東京都中央区)

9月27·28日、第3期楠元塾が開講しました。初日、 2期生や応援に駆けつけた1期生の報告を聞き入る 10名の新塾生の姿は真剣そのものです。先輩の報告 には、PDCAや棚卸し、原価計算、弁当を毎日撮影

し記録するなど、新塾生には初めて聞く 内容もあります。山内理事長は「3期生の みなさん、ここには頼れる塾長と同じ志 を持つ仲間がいます。どんなに思いが強 くてもやり方を知らなければ実現できま せん。一人ではわからないことも仲間と一 緒なら気づくことも多いはずですよ」とエ ールを贈りました。

2日目、楠元塾長は「昨日の先輩たちの活動報告を聞いて、なぜそんなことをするのかと疑問に思ったこともあるでしょう。でも、すべてが必要なことばかりです」と説明。「たとえば、弁当の写真を毎日記録



■ 合同研修会・修了式・開講式の内容

日程	プログラム
9月27日	■ 山内理事長挨拶
	■ 楠元塾 2 期生成果報告(楠元塾長より講評)■ 実践塾卒業者代表より発表(2名)■ 楠元塾3期生取り組み状況紹介■ 講義 「お弁当・高齢者向け配食サービスに夢を託して」 (楠元塾長)
	■ 表彰式
9月28日	■ 楠元塾 2 期PDCA報告 ■ 楠元塾 3 期生改善活動の進め方

しておけば、以前オードブルを購入されたお客様が"前と同じものを"と注文された時、要望通りに対応できますし、盛り付けなどの反省点を振り返ることもできます。このように弁当は毎日でも改善できる事業です。お客様がなにを望んでいるのか。一度購入されたお客様をリピーターにするにはどうしたら良いのか。それぞれの地域で客層も食材も違いますから、塾生一人ひとりに適した方法をこれから一緒に考え、実現していきましょう」と一人ひとりの顔を見つめながら、今後の活動方針を伝えました。

第2回研修会

● 日 時:2019年11月22・23日

●場所:(社福)キャンバスの会(宮崎県都城市)

盛り付け、棚卸し、衛生管理などの必要性は理解できても、スタートして2ヵ月の塾生にとって初めての試みばかりで、どうやって実践すれば良いのかわかりません。そこで第2回研修会は、宮崎県の楠元塾長施設を訪ね、利用者さんへの支援も含め、すべてをお手本にして実践的なノウハウを学ぶことにしました。

初日は惣菜などを作る「食品加工センター キャンバス」へ。ここは2020年度中に義務化されるHACCPの認証をいち早く取得した工場です。楠元塾長は「いくら設備を導入しても実践できなければ意味がありません。手洗いや身だしなみをはじめ衛生管理を利用者さんと一緒に徹底していきましょう」と解説しました。





続いて「生活介護事業所なみき」で、弁当の盛り付けにチャレンジ。 目の前には所狭しとお惣菜やデザートが並んでいます。「さあ自由 に弁当を盛り付けてください。ただし、だれにどんな弁当をいくらで 販売するのか、原価計算も忘れないこと」。塾生は、自分の作りた い弁当のコンセプトを考え、盛り付けを工夫していきました。

翌日は、「お弁当のまるよし」を見学。利用者さんがより働きやすい動線や衛生的な食品倉庫の管理方法など、どんな工夫を取り入

れているかを実際に見て学ぶことができました。続いて塾生が施設で販売している弁当を楠元塾長が講評。「地域の食材や郷土料理に着目している点は素晴らしい。あとは原価計算まできちんと行えるようになってください」と一人ひとりにアドバイスをしていきました。



■ 第2回研修会の内容

日 程	プログラム
11月22日	■ 現場見学(食品加工センター キャンバス、 CBSリネンサービスとしみ) ■ 勉強会・弁当盛付け実地練習(生活介護事業所なみき)
11月23日	■ 現場見学(お弁当のまるよし) ■ 勉強会(キャンバスの会)

第1回塾生施設の見学・勉強会

● 日 時:2020年1月23・24日

● 場 所: (NPO)ともいき(鹿児島県鹿児島市)/

(社福)敬和会(同上)

第2回研修会で塾長施設を見学し、弁当配食サービスで成功する模範となる事業所のあり方を目の当たりにした塾生たち。大切なのは、それをそれぞれにマッチした形で、どう取り入れ実践していくかです。そこで、塾長に塾生施設の職場を見ていただき、施設ごとの改善点を具体的にアドバイスいただく第1回見学・勉強会を、1月23・24日に二つの塾生施設で行いました。

初日は、鹿児島県鹿児島市の (NPO) ともいき「就労支援センターみらいず」です。ここでは、お惣菜を大皿に盛り、バイキング形式で販売しています。楠元塾長は「惣菜は、種類が多彩でどれも美味しく、見映えも素晴らしいですよ」と評価。しかし衛生管理に対しては、HACCPの観点でもまだ不合格であると指摘しました。

「お客さまがお惣菜を入れるカップなどを手に取るとき、内側に指が入らないように、上向きでなく下向きに置くべきです」とアドバイス。さらに「検便は毎月実施、施設の当事者だけでなく出入りの業者にも提供を求めてほしい。事故が起こってからでは取り返しがつきません。職員はもっと衛生管理の重要性をしっかりと認識してください」と念を押しました。

翌日は、鹿児島市内にある(社福)敬和会の「就労支援センターハーモニー」へ。ここでも「5Sが徹底できていませんね。いつ誰がどこを清掃したのか、きちんと記録を付けてつねに清潔に保つことを心がけてください」と衛生管理の重要性を厳しく指導しました。







それでも「唐揚げも煮物も持って帰りたいほど美味しいですよ」と高く評価。「あとは調理、弁当詰め、配達まで、全体の動線を見直していくと良いですね」と効率的な弁当の作り方も指導しました。「注文がきてすべてを一から作るのではなく、卵焼きなど先に仕込みができるものは事前に準備しておきましょう。またオムレツのケチャップがけは、小さくN字を書くようにすると利用者さんにもわかりやすくできスピードもアップします」

と具体的なアドバイスを行いました。

他の塾生たちは、見学した二つの施設に塾長が指摘した点をしっかりとメモし、自分の施設の改善にそれぞれに反映していこうとしています。

■ 第1回塾生施設の見学・勉強会の内容

日 程	プログラム
1月23日	■ 見学・調理指導(就労支援センターみらいず) ■ 試食会・勉強会
1月24日	■ 見学・調理指導(就労支援センターハーモニー) ■ 試食会・勉強会

第2回塾生施設の見学・勉強会

● 日 時: 2020年2月20・21日

● 場 所:(社福)くまもと障害者労働センター(熊本県熊本市)/(社福)つわ蕗会(大分県大分市)

第2回見学・勉強会は、熊本県と大分県へ。2月20日に訪れたのは、熊本県熊本市の(社福)くまもと障害者労働センター「おれんじカフェ」です。ここは新しいカフェと弁当事業ができる作業場の開設を進めています。

楠元塾長は「いまのお弁当も美味しいですが、新しい事業所でアプローチできる顧客年齢層に合った新メニューを考案していきましょう。まだまだ調理も配達も、改善すべき点がたくさんありますね。つねに次の段取りを考え進めなければ生産性は上がりません。衛生管理に対しても利用者さんにどう伝え徹底するか。布巾の置き場所など細かい点もしっかりと考え、新しいルールを作ってください」と指導しました。また、勉強会に参加した利用者さんには「新しい仕事場では得意でないことも、いままでできなかったことも、職員と一緒に挑戦してください」と応援の言葉をかけました。

翌日は、大分県大分市の (社福)つわ蕗会「つわぶき園」へ。「お弁当は美味しくできていますね。お客さんに喜んでもらっている弁当を自分たちが作っている、そこから利用者さんの仕事への誇りも生まれてきます」と評価しました。しかし「調理場や食品倉庫などはとても衛生的とは言えません。そこから改善してください」とチェック。荷物を抱えて利用者さんが階段の上り下りしなければならない点も問題があると厳しく指摘します。

「福祉施設は、利用者さんが安全に働ける環境を整えて支援していくことが大前提になります。その上で、5 Sを踏まえた効率的な働きやすい職場へと改善を進めてください」と伝えました。

他の塾生にも「売上を伸ばせるか否かは、職員の支援の力次 第です。利用者さん一人ひとりの能力をしっかりとつかんであげ てください。適材適所で働けばどんどん成長しますよ」と呼びか けました。



日 程	プログラム
2月20日	■ 見学・調理指導(おれんじカフェ) ■ 試食会・勉強会(職員・利用者さんも参加)
2月21日	■ 見学・調理指導(つわぶき園) ■ 試食会・勉強会









新堂塾 (第4期)



新堂塾は、生産効率を高めるライン化の実現で給料増額を目指しています。塾長である(社福)武蔵野千川福祉会の新堂常務理事は「ライン化とは、いままで一人で行っていた仕事を、いくつかの工程に分け、複数人で分担作業することで生産性を上げ、売り上げを伸ばすこと」と伝え、塾生は働く環境の改善、ビジネスマナー、お客様へのアプローチなど総合的な改善に取り組んでいます。

●塾 長: (社福) 武蔵野千川福祉会 常務理事 新堂 薫氏

○略歴

1985年、千川作業所に指導員として就職。1987年のチャレンジャー設立とともに異動し、1999年に同施設長に就任。社会福祉士。2010年9月~2013年3月『障がい者の働くちから革新塾(第1期新堂塾)』塾長。2013年9月~2015年9月『夢へのかけ橋実践塾 新堂塾(第2期)』塾長。2016年9月~2018年9月『新堂塾(第3期)』塾長。2019年9月~『新堂塾(第4期)』塾長。第9回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞(2008年度)。

塾長の 名 言

「なにを作っているのか、利用者さんは見えていますか?」

「ライン化や作業分化を進める中で注意したいのは、自分はなにをしているのか、なにを作っているのかがわからなくなることです。この仕事を行うことで、どう社会に役立っているのか。そこが見えてくると、利用者さんの取り組み姿勢も、成長スピードも随分と変わってきますよ」。

新堂塾:10 施設 (2020年3月現在)

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容(要旨)】	【取り組みたい事業(要旨)】
(NPO)ふくおか福祉 とびうめ会	就労継続支援事業所 とびうめワークセンター	就労継続 B 型	ペットショップの清掃、ペット用 バンダナ・無添加おやつ製造、販売	ペット用バンダナ・ 無添加おやつ事業の拡大
(社福)北九州 障害者福祉事業協会	とりはた玄海園 就労センター	就労継続 B 型· 就労移行·定着支援	印刷作業、おやつ製作、下請け作業、 清掃作業	印刷作業の充実
(社福)つくしの里福祉会	第2つくしの里	就労継続 B 型・ 生活介護	パン・クッキー・ プリントクッキー製造販売	プリントクッキー事業の拡大
(一社)あんずの森	就労継続支援多機能事業所 あんずの森	就労継続A型・B 型	下請け作業(アメニティセット、 タオル袋詰め) 清掃、農業	現在の仕事の収益改善、 自社商品開発
(社福)南風荘	就労継続支援事業B型 セルプ藤山	就労継続 B 型	ウエス製造、企業のトイレ清掃	ウエス事業のさらなる拡大
(社福)やぎ	八木園	就労継続 B 型	クリアファイルのチラシ封入、 自主製品(縫製小物)	低単価の作業を整理し高単価の 仕事受注
(社福)五倫会	太陽の郷	就労継続 B 型· 生活介護	施設外就労(除草作業他)、DM 作業、 缶分別作業、農作業、惣菜	DM 作業の拡大
(社福)修光学園	ワークセンター Halle !	就労継続 B 型	製菓事業、紙器加工事業	紙器加工事業の拡大
(社福)日本キリスト教奉仕団	東京都板橋福祉工場	就労継続A·B型· 就労移行	DM 封入・封緘、ベーカリー、レストラン、 自主製品(プリント事業)	DM 事業の拡大
(社福)武蔵野千川福祉会	ワークイン関前	就労継続B型	DM 封入·封緘事業	DM 事業について作業環境 づくり、生産性向上

新堂塾(第4期)活動報告

第1回研修会 · 開講式

● 日 時:2019年9月13・14日

● 場 所:宇部興産ビル(山口県宇部市)

9月13・14日、山口県宇部市の宇部興産ビル会議室で「第4期新堂塾」の開講式を行いました。新堂塾長は、これまで3期にわたり、作業分化とライン化だけではなく、仕事の見える化による働く環境の改善、職能を伸ばすための利用者支援なども指導し、給料増額を応援してきました。第4期生募集にあたっては、西日本の福祉施設にも広く呼びかけていこうと、2019年6月に広島県と山口県で塾生募集のステップアップセミナーを開催。多数の施設が塾生を希望する中から10名に絞り込みました。

初日は、塾生たちの自己紹介を兼ねた報告会です。新堂塾長の施設は、DMを中心とした事業ですが、そのノウハウは事業域を超え、さまざまな業態の塾生施設の給料増額で成果を上げています。今回集まった塾生たちの事業もペットフード、印刷、製菓、データ入力、農業、ウエス作業などさまざまで、支給している月額平均給料も6,700円~46,000円と幅があります。期待と緊張の面持ちで並ぶ塾生たちを前に、早川常務理事は「これから2年間の研修がスタートします。成果が数字に表れるまでには時間がかかるかもしれませんが、コツコツと積み重ねていくことで努力はきっと報われます。新堂塾長の教えを大切に、一つひとつ着実に実践していってください」と応援の声をかけました。

翌日は、各塾生報告に対する講評へ。新堂塾のアドバイザー・ 東京学芸大学の菅野教授は「大切なのは、利用者さんの役割を 決めていく、働く力を育て伸ばしていくことです。今日の発表では、 まだ利用者さんの働く姿や職場の問題点が見えてきません。次回

は、事業所が目指す売上数値だけでなく、利用者さんになにを目指してほしいのかも明確にし、報告してください」と早速、課題を提示。また「いまの事業で本当に目標を達成できるのか、事業所ごとの特性に適した事業についても検討していきましょう」と伝えました。

新堂塾長は「事業拡大や給料増額で一番大切なのは、職員のスキルアップです。私も最初はみなさんと同じゼロからのスタートでしたが、成長し続けてきたことで、いまがあります。これからの2年間、一緒に学び一つずつ成果を出していきましょう」と呼びかけました。







■ 開講式の内容

日程	プログラム
9月13日	■ 早川常務理事挨拶
	■ 塾生自己紹介・施設紹介 (事業課題と目標)
9月14日	■ 塾生の発表・講評 (新堂塾長・菅野教授)■ 新堂塾長講義■ 菅野教授講義

第1回塾生施設の見学・勉強会

● 日 時: 2020年1月28・29日

● 場 所:(社福)北九州障害者福祉事業協会(福岡県北九州市)/

(社福)つくしの里福祉会(福岡県田川市) /

(NPO)ふくおか福祉とびうめ会(福岡県太宰府市)

1月28・29日、福岡県から参加している3名の塾生施設で、第1回 見学・勉強会を開催しました。

初日は、北九州市で軽印刷とお菓子の製造販売などを行う(社福) 北九州障害者福祉事業協会「とりはた玄海園就労センター」へ。 「印刷事業では、職員が横に付いていなくても、利用者さんは軽印刷の機械を自分一人で操作できるようになってきました。菓子製造も学童クラブから定期的にクッキーの注文をいただくなど、注文は増えてきています。平均月額給料は、福岡県の13,539円を超える約22,000円ですが、まだまだです。仕事量を増やすため、新しい機械の導入も検討しています」と塾生が現状を説明しました。新堂塾長は「仕事の開拓については、お客様のニーズを良く把握して営業することが大切です。職場の広いスペースを十分に活用出来ていますか。作業の主役は利用者さんです。一人ひとりの可能性を伸ばしながら給料増額を進めること。そのために作業の効率化や利用者さんがわかりやすく働くことができる職場づくりを取り入れていきましょう」とアドバイスしました。

翌日訪れたのは、田川市でパンとクッキーの製造販売を行う(社福)つくしの里福祉会「第2つくしの里」です。「平均月額給料は1万円を少し超えたところで、もっと給料を増額したいと、いまはプリントクッキーに力を入れて頑張っています。近隣にチラシを配るなど営業をかけて少しずつ顧客を増やしてはいるのですが、生産性がいま一つ上がらず、せっかく受注できてもうまく対応ができていません」と、こちらも仕事量をどう増やしていくかが課題となっています。生産現場を見た新堂塾長は、動線に無理があると指摘。「食品を扱うなら衛生管理は絶対厳守ですから、まずは5 Sを徹底して

いくこと。これで作業スペースも広くなり動線も改善できます。工程も再分析して効率化を図っていきましょう」と 伝えました。

続いて新事業所を計画する太宰府市の (NPO) ふくおか 福祉とびうめ会「とびうめワークセンター」へ。ここは事業 の柱であるペットショップの経営に加え、自動車部品の製造下請けも行っていましたが、給料増額を目指し転換を はかりました。ペットショップで築いたネットワークを活かし、新たにペットフードの生産を開始するとともに、ペット









■ 第1回塾生施設の見学・勉強会の内容

日程	プログラム
1月28日	■ 概要説明・見学・勉強会 (とりはた玄海園就労センター)
1月29日	■ 概要説明・見学・勉強会 (第2つくしの里)■ 概要説明・見学・勉強会 (とびうめワークセンター)

用のバンダナの製造販売も手掛けています。「メーカーからペット用おやつの袋詰め作業の仕事を請け負うことで高い評価を頂き、さらなる仕事の依頼も舞い込みました。しかし、生産体制が整わず、これ以上は広げていけないのが悩みです」と塾生。新堂塾長は「ライン化を行ってはいますが、まだ改善が必要ですね。生産活動の効率は、作業者・材料・機械設備をどう動かすかで大きく変わってきます。ポイントは、仕事の流れを停滞させずにどうスムーズに流れていくように管理できるかです。作業分化の方法も見直していきましょう。その上で、利用者さんにわかりやすく伝える工夫を行ってください。これは全塾生共通の課題です」とアドバイスしました。

第2回研修会

● 日 時:2020年2月10・11日

● 場 所:(社福)武蔵野千川福祉会(東京都武蔵野市)/ホテルフクラシア晴海(東京都中央区)

第2回研修会は、新堂塾長の施設(**社福**) **武蔵野千川福祉会**を訪ね、どのような工夫を行っているかを実践的に学びました。法人には七つの事業所があり、利用者さんはスキルが上がると次の事業所へとステップアップし、それに合わせて給料も増額します。

最初に訪ねたのは「ワークイン関前」です。まず塾生が注目したのは、作業テーブルの数字。これは、〇〇を作業するテーブルへ、と言われてわからない方も、何番のテーブルへ、と数字で伝えることでわかりやすくしています。アドバイザーの菅野教授は「作業分化とその支援のあり方にも注目してください。一人ひとりの動作レベルを職員が見守り、改善指導していくことで、個人の力も全体レベルも高まっていきます」と解説しました。新堂塾長も「利用者さんには、全体の流れとなにを作っているのか、その中で自分がどんな役割を果たしているのかを知ってもらうことが大切です」と説明しました。

続いて月額平均給料10万円を超える利用者さんも働く「チャレンジャー」へ。ここでは、ライン化とセル作業を組み合わせて、より効率的に仕事を進めています。「スキルアップした利用者さんは、一人ですべてをこなすセル作業も担当できます」と新堂塾長。しかも、自分の担当分を終えると、全体の進行具合を見て、自ら判断し作業の遅れている他のテーブルの手伝いに動きます。そんな利用者さんの働く姿に、塾生たちは自分の施設とのさまざまな違いを実感しました。

「働くほど、能力が上がるほど高い給料をもらえるということを、七つの事業所のステップアップ方式でわかりやすくしたのです。この仕組みを理解できると、利用者さんの仕事への意欲も増し、成長もより早くなりましたよ」と新堂塾長は話します。

翌日は、ホテルフクラシア晴海で塾生たちが進捗を報告し、新堂 塾長と菅野教授が一人ひとりにアドバイスを行っていきました。

塾生たちの共通の悩みは「なにを行いたいのかを他の職員に上手く伝えることができない」という点です。菅野教授は「たとえば棚を一つ作るとどう仕事がやりやすく変わるかなど、目に見える形で示しながら、職員の理解を深めてください」と実践方法も交えて講評しました。

また、営業強化に取り組んでいるが、なかなか成果につながらないと話す塾生には「誰がどこまで営業しているのか。目標設定と情報共有が大事です」と菅野教授。新堂塾長も「先ほどの報告の中に、生産数の記録を取りはじめたと話していた塾生がいましたね。これは

とても良いことです。数字で明確に示すことで、いまはどこまでできるのか、どこを改善すればどこまで目標を上げることができるのかを、職員みんなが認識できます。今回の研修で学んだポイントもしっかりと整理し、全員で共有してください。そして良いことはすぐに実行すること、それを忘れないでください」と伝えました。









■ 第2回研修会の内容

日程	プログラム
2月10日	■ 施設見学(ワークイン関前) ■ 施設見学(チャレンジャー) ■ 施設見学ふりかえり
2月11日	■ 塾生の取り組み発表(ホテルフクラシア晴海) ■ 新堂塾長・菅野教授講評

夢へのかけ橋実践塾 塾生募集

「人は自立して生活することで幸せを感じられる、そのためにも利用者さんの給料増額の大切さを理解し、取り組みを進めてほしい」。今回は中国地方を重点的に「利用者さんの働く力を伸ばす職場づくり」をテーマに、新堂塾長と菅野教授を講師に招きステップアップセミナーを開催しました。

ステップアップセミナー

● 日 時: 2019年6月8日(広島)・15日(山口)● 場 所: ワークピア広島(広島県広島市)/ 宇部興産ビル(山口県宇部市)

6月8日は広島県で、6月15日には山口県で、第4期新堂塾募集も兼ねたステップアップセミナーを開催しました。新堂塾長は「働く力を伸ばし工賃を高める実践」の講演で、塾長施設での高工賃を実現するまでの歩みと現状を、アドバイザーの東京学芸大学菅野教授は「障がいのある方が働くということ」をテーマに、働く能力の向上や、仕事の環境の見直しについて講演を行いました。こうした新堂塾で学んだノウハウを、どのように実践し結果を出しているか。広島会場と山口会場で、新堂塾1~3期生の卒業者計6名が事例を報告しました。

「利用者さんの能力を伸ばし、力を発揮できる働く場へと変えるために作業の数を絞り込み、営業にも力を入れています。入塾当初は6,700円程度しかなかった月額平均給料が、現在は42,000円を超えました」。「楽しく仕事ができれば良いと納期のゆるい安い仕事ばかりを受注していましたが、本当に利用者さんのためになるのかと職員みんなで自問自答。できないこともどうすればできるようになるのかを考え工夫し、支援のあり方も変えていきました」。「いまは利用者さんの中からリーダーを選び、利用者さん主導で仕事を進められるやり方へと改善。職員は営業活動に力を注ぎ、







受注量も増えて給料は倍額以上に」。「自分たちの限界を決めずに、課題を見つけ、改善していくことが大事。地道な取り組みを積み重ねていくことで目標平均工賃6.4万円を達成したい」。「私物クリーニングに対応できる設備を導入。他店にできない事業に着目することで売上を伸ばしています」。「思うように売上を伸ばせないときがあっても、利用者さんのためになにができるか、なにをすべきかを見失わず根気よく続けています」。

そんな先輩たちのメッセージに、多くの来場者は一歩踏み出す勇気を受け取りました。

■ ステップアップセミナーの内容

日 程	プログラム
6月 8日 (広島) 6月15日 (山口)	■ 菅野教授講演「知的障がい者の職業能力向上」 ■ 新堂塾長講演「働く力を伸ばし工賃を高める実践」 ■ 事例報告【広島】 (社福) ゆたか福祉会 ワークセンターフレンズ星崎・稲垣伸治氏(社福) 新潟市中央福祉会 ワークセンターひがし・吉川大幹氏(社福) 武蔵野千川福祉会 武蔵境ワーキングセンター・佐藤資子氏【山口】(NPO) 出愛いの里福祉会 障がい者支援センター出愛いの里・高橋勝茂氏(社福) ゆずりは会 エール・清水健一氏(社福) 三木市社会福祉協議会 はばたきの丘・高垣 愛氏 ■ 菅野教授講演「仕事の環境や工程の見直し」
	■ シンポジウム

夢へのかけ橋実践塾 卒業者へのサポート

利用者さんの給料増額という同じ目標に向かい2年間苦労をともにしてきた夢へのかけ橋実践塾の卒業者たち。そのつながりは現在も続き、卒業者自らが研修会などを企画し、互いに刺激し合いながら、さらなる給料増額や利用者さんの能力向上を目指しています。その開催をヤマト福祉財団がサポートしています。

新堂塾卒業者・第5回フォローアップ研修in新潟

● 日 時:2019年11月10・11日

● 場 所: (社福)新潟市中央福祉会(新潟県新潟市)/ (NPO)のんぴーり青山の会(同上)

卒業後も年に一度有志が集い、利用者さんの仕事の拡大と 給料増額のヒントを共有し合う新堂塾卒業者。その第5回目を 11月10・11日に新潟県で開催しました。

初日は、9名の参加者が現在の活動を報告。「生活介護事業所に通う利用者さんも仕事に参加できるようにスクール形式で職能を高めています」。「新規顧客開拓に成功。治具の改良も行い利用者さんの力をより発揮できる環境を整えました」。「単価の良くない仕事はカットし、より効率の良い施設外就労などに力を入れて約1万円増額に成功しました」。

こうした取り組みに対し、新堂塾長は「利用者さんは、より多くの成功体験を積み重ねることで仕事への意欲も増してきます」と講評。アドバイザーの菅野 敦教授も「大切なのはどう評価してあげるか。自分の存在や役割を意識し、達成感を体感できるアプローチを目指してください」と伝えました。

翌日は、事業の柱であるウエス加工に続く新事業の創出を課題にしている(社福)新潟市中央福祉会「ワークセンターひがし」へ。利用者さんの仕事と商品の質を向上するために、働く環境や支援方法などをどう改善していくかを見直していきました。その後、新潟県の家電リサイクル事業に福祉施設が参入する旗頭となっている(NPO)のんぴーり青山の会「のんぴーりAXIS」も見学しました。

■ 第5回フォローアップ研修の内容

日 程	プログラム
11月10日	■ 卒業者実践報告 ■ 新堂塾長の講評・講演 ■ 菅野教授の講評・講演
11月11日	■ ワークセンターひがし見学 ■ のんぴーりAXIS見学









経済的自立力達成事業所紹介サイト 「夢へのかけ橋」報告



■ 月額平均給料3万円以上を支給している 事業所を先行事例として紹介

平成26年11月27日に開設した『経済的自立力達 成事業所紹介サイト 夢へのかけ橋』では、「月額平 均給料3万円以上を支給している事業所 | を模範的 な先行事例として紹介。2019年度は、3事業所の紹 介を加えました。

(一社) おひさま いいはたらくばトポス

基本情報 2018	年度				更新日:202	20年03月0
	对象事業売上総額	対象事業売上総額(年間) 20,530,615 円 対象事業売上総額(月額)		1,710,885	PI	
€	对泰事集给科支给统	8額(年間) 4,50	4,690 円	对象事業給料支給総額(月	引動) 375,391円	1
弁当販売・配食	対象事業月額平均額	ŝ₩ 34,1	26 円	対象事業人数	11 人	
(一計) おひ	さま いいはた	らくばトポス			至城県牛久!	市小級町
	/ 「夢へのかけ橋」 事					
助成金種類・金製	乳/「夢へのかけ橋」事 9エアコン・自動手洗い					
助成金種類・金製		税設置工事 食品庫・		*0和数模201	知的補押	身体
助成会種類·金額 助成內容/厨房內	9エアコン・自動手法い 就労継続8型 就矢 茨城県南地区にある	機設置工事 食品庫・ 排行支援 5小板団地は、平成元4	別房内改装工事	利用者様別 で、 点級者率が45%ととても ディバスでないといけない場	真部化が進んでいる地	
助成会種類・金額 助成内容/厨房內 事業形態	就労権利B型 就労 就労権利B型 就労 交権展開地区にある 田地内にはコンビ	機設置工事 食品庫・ 排行支援 5小板団地は、平成元4	図開内改装工事 F頃直成された団地 物は車やコミュニ	で、真部者率が45%ととても	真部化が進んでいる地	

アクセスマップ・

売上・月額平均給料実績の推移(人数は事業に関わる人数です) (単位:円)

		2020年(R2) 1月単月	2018(H30) 年度	2017(H29) 年度
売上 (年間)	対象事業	2,722,896	20,530,615	4,627,275
	その他	124,104	499,258	405,713
	合 計	2,847,000	21,029,873	5,032,988
人数(期末)	対象事業	14	11	5
	その他	11	11	10
	合 計	25	22	15
給料支給総額	対象事業	567,375	4,504,690	1,049,345
	その他	261,145	2,206,056	371,701
	合 計	828,520	6,710,746	1,421,046
月鎮平均給料	対象事業 その他	40,527	34,126	17,489
事業所全体月額	平均給料	33,141	25,419	7,895



1日の成果が見える弁当配食サービスで高い給料を

=高い給料を提供するために弁当事業を開始

本風、始昇社を提供するために力事事を集積 「トポス」はギリシャ値で「個所」を展集する言葉、利用者さんが安心して働ける場という気持ちを込め た態設を、(いいはたちくばトポス) 特別支援するを必属する保護性の監性もあり、利用者さんに年金+工賞で生活できるような結料を提供 ・効はてあたりまなの毎日しができる「美しく働く」をサオートしていきたいと、2017年10月にスター トレました。 総別条例の外格子さんは、既将前に外部の特徴会に参加しながら全端の信息事業所を見ずし、どんな事業 を行っては特別とを強めていくのかを対していきます。成功が行う接て的難にきない人のために試力施設も な対象が事業所をつなり、所、404年を使用しよう。404年、1日とには歴史が見入料をと上げやす い外当者造成形を主動の手架に決め、周辺の設置をはじめ事業所の概決事者をスタートします。

12年32万円報告申載・生年年で議成 開所能から基本を開始し、同間除のスタッフとともにスタート時から70歳の制造販売を行う予定でしたが、小林協設在は計画率数があら着です。そこで毎届市の網市部に当時的か主義する所当・危急サービスの研究を(2円金)に入急しなした。お計当事能で、1日2000食を拠急処する特別を発生を表すて、実践を支払して、2000年で、2000年で、1日2000食を拠急処する特別直接を表対で、実践をお出て、実践をは、2000年で、2000年





合同会社農場たつかーむ

基本情報 2017	年度			更新日:2019年05月14
•	対象事業売上総額(年間)	31,287,535 円	対象事業売上総額 (月額)	2,607,295 円
0	対象事業給料支給総額(年間)	19,623,115 円	対象事業給料支給総額 (月額)	1,635,260 円
商在	対象事業月額平均給料	116,804円	対象事業人数	14 Å
合同会社農場: ラッンアップ 東成金				北海道北海道石珠郡社 曹町学立香
ラップアップ 単成金 厚がい者給料増額 助成金種類・金額		S0075F9		
ラップアップ 単成金 厚がい者給料増額 助成金種類・金額	動成金 //2017年衰ジャンブアップ粉成金	50035F3	利印卷性划	
フャンプアップ 原成金 類がい者給料地級 助成内容/養酵場	助成金 //2017年度シャンブアップ助成金 /パウス階金2板(1000別分) 整備 載労継続A版、就労組続B版	NC位置する自然置かな場	発。社管町は人口2500人と小さな町T	取可 字立義 混合

アクセスマップ ~

売上・月銀平均給料実績の推移 (人数は事業に関わる人数です)

				(#42:P3)
		2019年(H31) 1月単月	2017(H29) 年度	2016(H28) 年度
売上 (年間)	対象事業その他	2,519,151	31,287,535	28,571,369
	会計	2,519,151	31,287,535	28,571,369
人数 (期末)	対象事業	13	14	14
	その他 合計	13	14	14
給料支給総額	対象事業その他	1,505,172	19,623,115	18,157,138
	合計	1,505,172	19,623,115	18,157,138
月額平均給料	対象事業 その他	115,782	116,804	112,081
事業所全体月額	平均給料	115,782	116,804	112,081



安全で安心できる鶏卵を誇りをもって生産する

「いっしょに生地して、いっしょに働く」を実践することにこだりりは割可で32年、展福港的の先駆けの 一つとも思える基盤を開放してきた(たっかーの)は国際年度でを担い7万以上、も立て6.5万円の総料を利用能に支払っています。 (たっかーか)の後につは1964年、設立者で代表社員を使める医野棒場さんのご大婦が展議学校の卒業生3 名と密食を共に、山中の就提供地社ので50目の自然的复数を行いながら、有機健康に取り組んだことに助す ります。

ります。 仕物可は北海道の中央所信仰に位置します。同にいまちが見なが過ぎ切られる行事山を行い、用物部所の 一般を形成しています。そうした自然構築を生かした他が保護のは5万、油がとしては北地的調報な気候であ るため、原節・野本・水の立者も増んです。高野氏は同がい者とともに間重に取り他かる場所を収し、東京 を増れてこの物を選びました。

第8、編人代表演奏機能の機能 日間したのは、作物放発と要素の頻繁を開始に行う「複合機製」による指標機関です。 当時、有色性形子の小説「徹合汚染」が大きくは日を重め、環境関係への限心が現在へとつづく高まりを見せ始めた時間です。 要素の責を肥料にし、それで作物を育てる、作物の一部を飼料に一。という循環を目論見ました。小型で 別質者への危険が少なく、質問側にを軽りスクから始められ、回転の単いこプトリ (ビナを入れてから120 べ130日で限を受け、官割しました。 しかしながら、育てた原地的はすぐにはまときったな入には続びつきませんでした。 当時は有機認ななど が出場が存在せた。 実別化が図りつうかったこと、同じ作物を育てる関係の同じ需求。 価値で解析になる なかったことなどが限定です。 (現在は作物栽培を製に乗り、分社化しています) でつって、定数等事業は、品質の評価を着り得、室房か中民生協との表引の援得、結果として、養剤を主体 とするようになりました。





合同会社ロイヤルウォッシュ

本情報 2018年	年政			更新日:2019年11月09
0	対象事業売上総額(年間)	64,966,543 円	対象事業売上総額 (月額)	5,413,879 円
U	対象事業給料支給総額(年間)	25,241,191 円	対象事業給料支給総額 (月額)	2,103,433 FJ
クリーニング	対象事業月額平均給料	91,454円	対象事業人数	23 人
タッシブアップ 物域会 弾が、小者給料増約	ヤルウォッシュ 助成金 /2019年高シャンブアップ助成金	500万円		大分県豊後大野市大飼 町下津城
ジャンプアップ 取成金 降が、格給料物額 助成金種類・金額 動成内容/ガウン	際城金	500万円	利用套锉例	
ラッシブラップ 数度金 開かい物給料物額 助成金種類・金額	助成金 /2019年度ジャンプアップ助成金 フォルダー階入資金 致労糧総A型 豊壌大野市大岡町下迎尾はクリー	ニング事業の無配ルート:ん集まってくれるところ	利用着種別 を考える上ではあまり使料心場所では たった。また、事業に必要なれて動を	町下津尾 知約、精种、身体 以以が、事業を始めた当初に

アクセスマップ 👻

売上・月額平均給料実績の推移 (人数は事業に関わる人数です)

				(単位:円
		2019年(H31) 8月単月	2018(H30) 年度	2017(H29) 年度
売上 (年間)	対象事業その他	6,815,963	64,966,543	56,822,010
	合計	6,815,963	64,966,543	56,822,010
人数 (期末)	対象事業	23	23	23
	승 화	24	23	23
給料支給総額	対象事業その他	2,345,668	25,241,191	20,907,000
	合計	2,345,668	25,241,191	20,907,000
月額平均給料	対象事業 その他	101,986	91,454	75,750
事單所全体月額	平均給料	101,986	91,454	75,750



仕事を通じた福祉事業の可能性を追求。インバウンド需要を取り込み拡 大

事業限制の経緯

■おんせん葉を陰で支えるクリーニング工場

■おんせん展を数で支えるクリーニング工場 地でこの中以上、リネンサブライや可能力洗いたいったクリーニング事業を主に無限してきた終式会社リ ファイン大力が、自身が対ウワリーニング工事を影響する形で、人間事業所として2013年、整たに立ち上げ たのから同分はロイヤルフォッシュです。 現在、23名の分が、他を展用し、は且さるとバート観異12名(うち支延員12名金む)を合わせ総勢39名 で、選集を担当するソファイン大力の洗剤消費を10の水支払しています。例が、他の中間を終し、2016年度 で対す5,200円、2017年度、1891,200円、2018年度には対象1,000円を実践に開助してきょした。 受けた3歳物のほとんとはホケルドウ酸がカリネンです。満世間・連要数とかに日本ーと知ら7.8条所選を受 が減に、広へが5つに急遽がら位する変数が上面とが5つで、第117年最近と12つでは、2018年にフリマル が助けた。由他のから開発を換えて無イ・周川温泉をごよがつ、約17年最近イン・ファイの影響をし ・一プロスルーをクオルボルジー4台、でおお味、モイン・スーンパンターロールを、そのロス・スーン・プリング プロスルーをクオルボルジー4台、でおお味、モイン・スーンパンターロールは、そのロス・スーン・プリング プロスルーをクオルボルジー4台、でおお味、モイン・スーンパ・金洗が数が乗ち合、金シンプリング 対象とを要する大規模ならので、1日に発達されるのは点質として約20,000点。最直にして約10日により ます。

ロイヤルウォッシュの立ち上げては、転合社リファイン大分での高い経験が悪になっています。 場場、すてに関が、相信用を行っていたいたリファイン大分でしたが、パローフークの場合で居たに耳の 不自由な力がヤッとするさいた、ショブーライがは、最終した回じまりでは、ためりませんでしたが、 体標的幅に関係に同様なコミュニケーションを育ることが難しく、転換をして確保に関心のサビキ年ほどで 場合となりました。代表の歌魔は大郎はないのことがダックリンカウナンに大きくいいます。





A型事業所好事例報告フォーラム よきA型を目指した経営

● 日 時:2019年8月2日

● 場 所:TKPガーデンシティPREMIUM名駅西口2Fベガ

全Aネット(NPO法人就労継続支援A型事業所全国協議会)が主催する「A型事業所好事例報告フォーラム」が、8月2日、名古屋市のTKPガーデンシティで120名の参加者を集めて開催されました。

2017年2月に実施したA型事業所の全国調査結果からの好事例事業所と、募集による自薦他薦事業所に現地ヒアリングを実施。そこから20事業所を選定し「A型事業所好事例報告書」(2019年)を作成しました。今回のフォーラムは『よきA型を目指した経営』と題し、報告書に掲載された事業所の紹介を中心に進められました。

最初に、埼玉県立大学の朝日雅也教授が「A型の情勢とA型に求められること」をテーマに、A型事業所の歴史、制度、環境について、またA型を取り巻く環境やその果たす役割などの内容で基調講演を行いました。

続いて、好事例報告書に掲載された、農業、IT、レストランなどを行う6事業所から実践報告。シンポジウムでは、「どういうところがよきA型なのか、なぜ収益がよい結果を出しているのか」、「A型事業所の使命・可能性」など今後のあるべき姿について参加者とともに議論を深めていきました。

ヤマト福祉財団は全Aネットの活動を継続的に支援しています。







■ A型事業所好事例報告フォーラムの内容

10:00	開会式挨拶	開会挨拶と趣旨説明 全Aネット 理事長 久保寺 一男	14:30 15:00	質疑応答 休憩	
10:05	基調講演	A型の情勢とA型に求められること 講演者 埼玉県立大学教授 朝日 雅也氏		シンポジウム	よきA型を目指して 〜障害者のための事業所であること
11:00	好事例報告1 (各20分)	1.(株)九神ファームめむろ 農業 取締役 且田 久美さん 2.(一社)ワークワーク 資源リサイクル 理事 三木 紀子さん 3.(社福)ぶろぼの IT 理事長 山内 民興さん			シンポジスト ・(株) 九神ファームめむろ 取締役 且田 久美さん ・(社福) ぷろぽの 理事長 山内 民興さん ・公共価値創造研究所 代表 岩渕 祐二さん ・全名ネット 理事長 久保寺 一男
12:00	質疑応答				_ 3 24 7 1111 3 23
12:30	休憩 				ファシリテーター 東京家政大学 名誉教授 上野 容子さん
13:30	好事例報告2 (各20分)	 4.(有) Cネットサービス 食品容器洗浄 工場長 吉田 泰彦さん 5.(NPO) 中小企業家コンソーシアム京都 あむりた レストラン 施設長 白濱 智美さん 	16:30	講義	A型事業所認定制度についての 説明と解説 (一社)ダイバーシティ就労支援機構 代表理事 岩田 克彦さん
		6.佐世保ブロイラーセンター(株) 食肉加工	16:50	大会宣言 	Aネットあいち
		代表取締役 村上 諭さん	17:00		終了

自然栽培パーティ 第4回全国フォーラム in 滋賀

● 日 時: 2020年1月31・2月1日

● 場 所:琵琶湖ホテル/ピアザ淡海(滋賀県大津市)

「障がいのある方が主役となり、無農薬・無肥料・無除草剤で、付加価値の高い農作物を育て販売し、より高い給料と仕事の喜びを得てほしい」との願いを込めてスタートした自然栽培パーティの活動は、いまや全国に広がっています。その魅力をより多くの方に知っていただくため、1月31日~2月1日に、滋賀県で自然栽培パーティ 第4回全国フォーラムが開催されました。

今大会の目玉の一つは、奇跡のリンゴの木村秋則氏と、愛弟子である自然栽培パーティの佐伯康人顧問の基調対談です。お二人は「自然栽培には、不思議なことばかり起こりますね」と楽しそうに語り合いながら「自然栽培は、美味しく安全な農作物を育てる方法としてだけでなく、自然環境保護の観点でも世界中が注目しています」とその魅力を伝えました。

もう一つ会場を盛り上げたのが「自然栽培に取り組み、目覚ましい成長を見せる利用者さんを、農福師、と呼ぼう。そして多くの利用者さんをみんなで表彰し讃えよう」とフォーラムの中で行われた自然栽培パーティ・アワードです。今回は、「ありがとう賞」「よかったね賞」の2部門から計29名を表彰し、利用者さんが働く施設長たちからは、次の表彰状が贈られました。

「おっきくなれよ、と元気に野菜に声をかけるあなたがいるから、農場は楽しくにぎやかな雰囲気に包まれます」「生い茂る雑草もジョークを飛ばしながら刈り取る姿は、立派な自然栽培農家です」「最初は、できなかった鍬・鎌・スコップも

使いこなせるようになりましたね」「あなたのあり余るパワーを活かせる農業と出会えて良かった。自信にあふれる笑顔がまぶしいです」。

さらに滋賀県で農業と福祉をそれぞれリードする中道農園の中道唯幸園長、(社福)一麦会の中原力哉所長も参加したパネルディスカッション、翌日にピアザ淡海で行われた四つの分科会など、すべてが大盛況となったこの第4回全国フォーラムの開催を、本財団は支援しています。







■ 自然栽培パーティ 第4回全国フォーラムの内容

日程	プログラム
1月31日	 □ フォーラム・マルシェ・フォトコンテスト (琵琶湖ホテル) ■ 開会挨拶: 磯部竜太理事長 (自然栽培パーティ) 山内理事長 ■ 基調対談: 「木村秋則さんにトコトン聞こう」 木村秋則氏・佐伯康人顧問 ■ 自然栽培パーティ・アワード ■ パネルディスカッション: 「農業の福祉力で地域を育てよう!」 ■ 自然栽培パーティ活動報告と実践報告
2月1日	■ フォーラム分科会(ピアザ淡海) ・ 流通ビジネス分科会 ・ 自然栽培現場の実態 ・ SDGsカードゲーム ・ みんなで話そう ■ 振り返り



パネルディスカッションでは、農福連携のこれからのあり方を、農業と福祉のエキスパート、それぞれの視点を交えながら話し合い ました

化チッ素というものになり、これは二酸化炭素よ 現代の農業は、化学肥料や農薬に頼り切っていま のガスを生み出すことを知ってください。しかし、 中の農家が使う肥料は膨大であり、その肥料がこ りも300倍強力な温室効果ガスなんです。世界 進国も注目しています。 きたからでしょう」と解説しました。 いまや自然栽培の持つ力に、欧州の環境保護先 「田畑にばらまいた肥料は、ガス化すると亜酸







農業を通し成長を遂げた方に「ありがとう賞」を、働く楽しさにあふれる毎日を送る方に「よかったね賞」を施設長から、一人ひとりへの メッセージとともに。賞状の他に木村氏の奇跡のリンゴも贈呈されました

と木村氏は伝えました

働く利用者さんも豊かに育てる

自然栽培は、作物だけでなく

さんまでも豊かに変えてくれます。そんな成長を ワードでは「ありがとう賞」「よかったね賞」の2部 門から計29名を表彰しました。 続ける利用者さんたちを、自然栽培パーティ・ア 自然栽培で作物を育てる喜びは、働く利用者

すから、農業の再生=ルネッサンスを起こすこと

「どんなときも、だれよりも作物のことを一番

ができるのは、自然栽培しかないと思っています」

た。これは、自分たちの生きる本来の環境が整って

と中道氏。

の可能性を広げていく大事なヒントがあります」

かってきました。自然栽培には、農業と福祉施設

「いろいろな農法を試し、肥料は必要ないとわ

- 48 -

もにさらに掘り下げていきました。 地域の理解とつながりはより深まっています。地 ら「いまでは休耕地を斡旋してくれる人も現れ、 翌日は、ピアザ淡海で四つの分科会を開催。福祉 域の方と力を合わせて取り組んでいける関係を ぜひ築いてください」と来場者に呼びかけました。 方を見つけるだけでも大変だったと振り返りなが 施設が農業で成功する方法を、多くの参加者とと 磯部理事長は、最初は田畑を貸していただける

す」「いつも職員が気づかないことにもしっかりと のお茶が、疲れたみんなを心から癒してくれま つい笑顔になります」「あなたがいれてくれる一杯 みにしています」「むむっ、生きている!どこにいて りました」「猛暑も雨の日も、真冬の寒さでも1日 に考えて行動するあなたに、農業のあり方を教わ 目を配ってくれてありがとう」。 も良く通るあなたの声が聞こえてくると、周りも も休まず働く、その後姿はプロそのものです」「あ なたの元気な挨拶を、地域のお年寄りも毎日楽し

まれました。 出席した13名に手渡され、会場は暖かい拍手に包 そんな各施設長の思いを込めた表彰状が、当日

新的な農業に挑む中道農園の中道唯幸園長、農 上げた(社福)一麦会の中原力哉所長も参加しま 業を事業の柱に6次化も進め給料増額に成果を 最後のパネルディスカッションには、滋賀県で革

培技術だけでなく、人とのつながりや商売の仕組 みづくりも必要」と話します。 中原氏は「福祉施設が農業で成功するには、栽

YAMATO Welfare Foundation NEWS 2020 vol.66

自然栽培パーティ第4回全国フォーラムin滋賀

「農福師」の称号を成長し楽しむ

多くの利用者さんをみんなで表彰し讃えよう」。利用者福師、と呼ぼう。そして自然栽培パーティ・アワードで、一ティ第4回全国フォーラム」は、ひと味違った盛り上が1月31日~2月1日、滋賀県で開催された「自然栽培パ1月31日~2月1日、滋賀県で開催された「自然栽培パ

さんを主役にする新しい試みも行われています。





「自然栽培パーティの活動が、もっと 広がっていくよう今後も応援します」 と山内理事長

キまでもが自然栽培を行う田畑に帰ってきまし

しまったメダカやタガメ、さらに絶滅危惧種のト



「環境のこと、食べ物のこと、福祉のこと。自然栽培は常識を変えてくれます」と磯部理事長



自然栽培を実践する現場の写真を会場に映し出し、木村氏と佐伯顧問のトークセッション形式の基調対談に会場も大いに盛り上がりました

ると自然栽培はとても面白く、新しい発見の連綜事長は「私も最初は半信半疑でしたが、やってみ

ました。当財団の山内理事長からは「先日行われです。みなさんも挑戦してみてください」と挨拶し

た車椅子バスケットの天皇杯、皇后杯の賞品に、み

なさんが自然栽培で育てたお米を贈呈しました。

談へ。 総いて奇跡のリンゴの木村秋則氏と、愛弟子で でいる自然栽培パーティの佐伯康人顧問の基調対 オレターが紹介されました。

 環境保護でも自然栽培に注目美味しい・安心なだけではなく

「障がいのある方が、無農薬・無肥料・無除草

どが集い、初日の琵琶湖ホテルは、定員を大きく

上回る380名の来場者で埋め尽くされました。

主催者である自然栽培パーティの磯部竜太理

たな担い手に」。この主旨に賛同する福祉施設な剤で付加価値の高い農作物を育て、地域農業の新

選手たちは、自然の力でパワーアップできると喜

な社会をみんなの力で」と、メッセージの入った三んでいましたよ」と報告。来賓代表では「持続可能

大造(みかづきたいぞう)滋賀県知事のビデ

ネパール小児白内障治療プロジェクトの報告

■ プロジェクト3年目の活動

ネパールの子どもたちに希望の光を届ける「ネパール小児白内障治療プロジェクト」が3年目を迎えました。この3年間を振り返ると、手術をすればすぐに治るにもかかわらず、すでに手遅れのために失明してしまった子どもが多かったことがわかりました。特に農山村では、貧困や近くに病院もないという理由から治療を諦めていることや、いまだに呪術で治療をする習慣が残っている地域もあります。

以上のことから、眼に異常のある子どもたちを早く見つけることが最重要で、そのためにネットワークの整備が必要だと考えました。方法としては、ネパール各地でアイキャンプを定期的に行っていくこと、もうつつは、日本のNPOが育成した100人のおなご先生(農村で教鞭を取る女性教師)の協力を得て、患者の発見につなげることを計画・実施しました。

■ アイキャンプの実施

現地医療チームPSSN*とともに、ネパール第2の都市であるポカラからジープで4時間ほど離れた西部に位置するバグルンで実施しました。2日間で531人の子どもたちの診察を行い、50人に異常が見つかりました。

内訳は

近	視	43人 (その場でメガネ提供)
斜	視	4人(経過観察)
治療力	が必要	3人

※斜視・治療が必要な7人は、カトマンズで治療を無料で行いました。

■ おなご先生への特別研修

日本のNPO法人日本ネパール女性教育協会が年1回ポカラで行っている、おなご先生たちへのフォローアップ研修を1日延長していただき、PSSNメンバーによる特別講義を開催しました。研修に参加した28名のおなご先生に眼病についての初歩的な知識や眼病にかからないための予防方法を伝え、眼に異常がある子どもの情報提供をお願いしました。

すでに研修を受けたおなご先生から、眼に異常がある子どもの情報が多数寄せられ、早期発見の効果が みられます。

<概 要>

- ●現地訪問メンバーヒカリカナタ基金 2名ヤマト福祉財団 1名
- ●現地カウンターパート/ 本プロジェクト受け入れ機関で、 診察・診断・手術を担当 プロフェッショナル・サポート・ サービス・ネパール (PSSN) **
- ●NPO法人日本ネパール 女性教育協会(JNFEA)
- ●コンサルタント 菅沼一夫氏

●主な日程

10月17日	ネパール着	
18⊟	カトマンズ → ポカラ経由 → バグルンへ	
19⊟	アイキャンプ1日目 Amrit Adarsha Higher Sec. Sch.	
20⊟	アイキャンプ2日目 // バグルン → ポカラへ	
21⊟	おなご先生研修 ポカラ桜寮 (JNFEA)	
22⊟	ポカラ → カトマンズへ	
23⊟	PSSN訪問・会議	
24⊟	盲人学校訪問 (Laboratory sec. boarding sch.)	
25⊟	カトマンズ医科大学 学部長訪問	
26⊟	ネパール発	

アイキャンプ バグルン [Amrit Adarsha Higher Sec. Sch.]



場所は、私立のセカンダリースクール



正月休みだったが531人の子どもが参加



はじめに、視力検査を行う



PSSNによる診察



白内障の子ども

おなご先生に初歩的な眼病についての研修 JNFEAポカラ桜寮



みんな真剣。ノートに書き留める



6時間におよぶ、笑いもあり和やかな講義



最後に、全員で記念写真







情報を得るために眼に異常のある子どもたちの

アイキャンプ活動を通じて、「もう少し早く を見が早ければ光を取り戻すことができたで 発見が早ければ光を取り戻すことができたで 発見が早ければ光を取り戻すことができたで あろう子どもたちがたくさんいたのです。しか し、ネパールでは何かあったらすぐに病院に行 く習慣がそもそもありません。眼に異常がある 子どもたちをいち早く発見する情報網の整備 が必要と考えました。そこで、ふるさとの村の が必要と考えました。そこで、ふるさとの村の が必要と考えました。そこで、ふるさとの村の をで教鞭をとるおなご先生たちに、子どもた ちの貴重な情報源となってもらうため、JNF EA(日本ネパール女性教育協会)様快諾のも と、彼女たちへの特別研修会を行いました。 PSSNメンバーを講師として、眼病について の初歩的な知識、病気にかからないための眼の

おなご先生とは

講義でしたが、おなご先生たちは熱心にメモを

とり受講。帰村した数人のおなご先生からは

ついて話していただきました。6時間におよぶケアにおける教師の役割、早期治療の大切さに

早速情報が寄せられてきました。ネットワーク

の形がみえてきています。

ネパール農山村では、男尊女卑の意識が根強く、女性に対する教育が不十分でした。これを改善するために日本ネパール女性教育協会(以下、JNFEA)が、「ネパールの女性たちに教育を」という想いから、日本型女子師範学校を設立し、2年間の育成プログラムを通じ2006年から10年にわたり、自村出身の優秀な女性教師を生み出してきました。彼女たちのことを現地では「おなご先生」と呼んでいます。現在、そのおなご先生を対象に1年に1度、観光地であるポカラに集合してもらいフォローアップ研修を行っています。今回の特別研修は、そのフォローアップ研修の中で行われました。





先生の

ネパール小児白内障治療プロジェクト





7名はカトマンズで治療を 43名の子どもにはメガネを

キャンプを実施。今回はPSSNの要請により 間でプロジェクトの実施合意書を調印しました Support Service Nepal (以下PSSN)の とネパールの現地医療チームProfessional 年12月にヒカリカナタ基金、ヤマト福祉財団 なポカラに到着、チャーターした4WDで僅か ネパール西部のダウラギリ県バグルンで行いま した。カトマンズから空路で観光地として有名 昨年の10月19日、20日には、2回目のアイ 子どもの失明防止対策を目的に、2017

ズでの再検査、治療が必要な子どもを7人見つ

今回、メガネが必要な子ども43人、カトマン

どボランティアで参加していただきました。

生まで531人。地元のロータリークラブには

まった子どもたちは、地域の幼稚園児から10年

80㎞の道のりを4時間かけてバグルンに移動 Amrit Adarsha セカンダリースクールに集

事前の広報活動、当日の受付、裸眼視力検査な

の子どもたちの笑顔がとても印象的でした。ま にはその場で提供。視界がハッキリとしたとき けることができました。メガネが必要な子ども

た、7人の子どもたちは後日カトマンズに来て

もらい、無償で治療、手術を行います。

よじめての眼科検診に喜ぶ子どもたち





410	斜視の女の子は手術を行います				
	7	アイキャン	ンプ実績		
		診察	異常発見	手術必要	
	2018年	425人	24人	4人	

手術を要する子ども以外にはメガネを無 償提供し、視力を矯正しました。

50人

2019年 531人

ての研修を受講していただき、ネット ため、小学校の先生たちに眼病につい しまう子どもたちをいち早く発見する プロジェクトは、目が見えなくなっし 2019年のネパール小児白内障治療 クを作る試みが始まりました。

7.7	
7	Federal Democratic Nepal
	<u>バグルン</u> ポカラ
	カトマンズ

YAMATO Welfare Foundation NEWS 2020 vol.65

復興•再生支援事業

西日本豪雨復興再生助成金

ヤマト福祉財団は、2018年西日本豪雨で被災された障がい者施設の復興再生を支援するために 岡山県倉敷市真備町の3施設へ総額592万円を助成しました。

NPO法人いちご一会 いちごの家 「ナップ」

● 助成対象:包装機購入事業

....

逆ピロー包装機購入

● 助成金額:総額3,164,400円のうち

2,000,000円を助成

キャラクターの焼き菓子製造販売で、岡山の土産用に個包装で販売するための小型包装機を助成しました。





一般社団法人ジャングルランド みんな農園

● 助成対象:食品乾燥機導入事業

食品乾燥機1台購入

● 助成金額:総額2,300,000円のうち

2,000,000円を助成

野菜や花苗の栽培や販売を 行っています。野菜を乾燥し 売上を伸ばすため、食品乾燥 機の設備を助成しました。





一般社団法人小田川ドリーム

● 助成対象:砂・砕石の袋詰め事業

海上コンテナ・包装機・ ハンドリフト購入

●助成金額:総額1,925,640円

全額助成

建築資材の出荷時に必要な、 海上コンテナ等の設備導入 を助成しました。





台風19号による浸水被害を受けた福島県の2施設に助成しました

2019年10月12日に上陸した台風19号による大雨は東北地方にも大きな被害をもたらしました。原発事故の傷が癒えない浪江町、相馬市の施設も浸水被害を受け、現地を調査のうえ11月26日助成金を贈呈しました。

NPO法人Jin (福島県双葉郡浪江町)

● 助成対象:農業機械、

ビニールハウス復旧

● 助成金額:事業再開資金 100万円

水没した農業機械、ビニールハウスの 復旧費用の一部に充てられます。



工房もくもく(福島県相馬市)

● 助成対象:大型インクジェットプリンター

●助成金額:購入費 20万円

中断していた「相馬の野馬追カレンダー」制作を再開し、年末に間に合いました。



障がい者のクロネコDM便配達事業 ・進捗状況・

〈取り組み経過〉

2019年11月~ 2020年2月	クロネコDM便配達本人特別報告会 (地域開催の報告会) を開催。 全国4ヵ所の施設 (東京都世田谷区・神奈川県横浜市港北区・愛知県豊橋市・奈良県 北葛城郡広陵町) で開催。
2018年11月	クロネコDM便配達本人特別報告会 (地域開催の報告会) を開催。 全国2ヵ所の施設 (山口県周南市・長崎県長崎市) で開催。
2017年11月	クロネコDM便配達本人特別報告会 (地域開催の報告会) を開催。 全国1ヵ所の施設 (北海道帯広市) で開催。
2016年11月	クロネコDM便配達本人特別報告会 (地域開催の報告会) を開催。 全国2ヵ所の施設 (山形県鶴岡市・奈良県北葛城郡広陵町) で開催。
2016年8月	事業マニュアル、小冊子「参入の手引き」をリニューアル。 ヤマト運輸(株)品質向上推進部と連携をとり、社内に9,080部納品。
2015年10月~11月	クロネコDM便配達本人特別報告会 (地域開催の報告会) を開催。 全国2ヵ所の施設 (熊本県上益城郡益城町・神奈川県横浜市港北区) で開催。
2015年4月	新サービス「クロネコDM便」開始。 「障がい者のクロネコメール便配達事業」は「障がい者のクロネコDM便配達事業」へ と変更。
2015年3月	「クロネコメール便」サービス廃止。
2014年10月~ 2015年2月	クロネコメール便配達本人特別報告会 (地域開催の報告会) を開催。 全国3ヵ所の施設 (東京都東村山市・長崎県佐世保市・栃木県小山市) で開催。
2013年10月~11月	クロネコメール便配達本人特別報告会(地域開催の報告会)を開催。 全国3ヵ所の施設(神奈川県横浜市戸塚区・熊本県上益城郡益城町・埼玉県鴻巣市) で開催。
2012年10月~11月	クロネコメール便配達本人特別報告会(地域開催の報告会)を開催。 全国4ヵ所の施設(岩手県紫波郡矢巾町・山梨県甲府市・東京都東村山市・兵庫県姫 路市)で開催。
2011年10月~11月	クロネコメール便配達本人特別報告会(地域開催の報告会)を開催。 全国4ヵ所の施設(大阪市住吉区・新潟県長岡市・宮崎県都城市・山形県鶴岡市)で 開催。
2010年12月12日	クロネコメール便配達 本人による特別報告会「私を、待っていてくれる人がいます。」 を東北福祉大学で開催。約200名の参加者を前に、岩手県・山形県・宮城県・福島県の 9施設23人が発表を行った。また実学臨床教育学生が、クロネコメール便配達施設で メール便配達を一日体験した様子を発表。

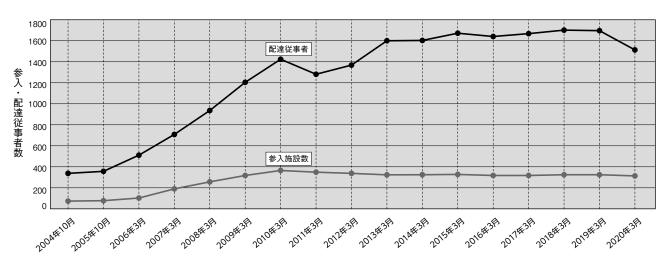
2010年10月~11月	クロネコメール便配達本人特別報告会(地域開催のミニ報告会)を開催。 全国4ヵ所の施設(神奈川県横浜市磯子区・鹿児島県鹿屋市・福島県南相馬市・東京 都江東区)で開催。
2010年7月	障がい者施設向けクロネコメール便配達実績報告システム立ち上げ。 全国の事業参入施設から毎月の実績を報告してもらい、財団本部で集計するシステム を立ち上げる。
2010年6月19日	クロネコメール便配達 本人による特別報告会を大分で開催。大分県でメール便配達 事業を行う9施設が参加。23人のクロネコメイトさんが、自分の工夫や、配達先での出 来事を報告。
2009年12月12日	当事者33名と仙台東北福祉大学実学臨床教育推進室の学生12名、一般参加者156名 による第5回メール便配達特別報告会「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。
2009年8月22日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、関東地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。関東地区157名からなる参加者に、5都県10施設のクロネコメイトさん24名が、ありのままの声をお届けした。
2009年5月~6月	事業参入マニュアルブックレット、「参入の手引き・動画版 DV D」の制作と社内外への配布 (200枚)。本事業のさらなる啓発広報と標準化促進を図るため、障害者支援関連団体とヤマト運輸(株)全国支店長および主管支店長、ならびにメール便営業課長に向けて配布。
2009年3月16日	全国47都道府県全参入。
2008年12月3日	配達状況アンケート調査を実施。昨年にひきつづき参入施設278ヵ所・配達従事者 1,012名を対象とした調査。結果、配達に携わった約16%の障がいのある人達が一般 の会社に就職。
2008年11月1日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、仙台地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。東北福祉大学学園際で120名の参加者を前に、10施設21名のクロネコメイトさんが配達実践報告。さらに、実学臨床教育推進室の学生7名が「配達一日体験」で体感した働く大変さと達成感を実践報告した。
2008年9月19日	NPO法人ソーシャル・イノベーション・ジャパン主催によるソーシャル・ビジネス賞「優秀賞」受賞。社会性・事業性・革新性の観点から、社会的事業として本事業が高い評価をうける。
2008年8月30日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、大分地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。130名の参加者が見守るなか、大分県内外から10ヵ所の施設・作業所のクロネコメイトさん27名が配達実践報告。
2008年4月	施設・作業所のクロネコメイトさんが「ヤマトファン賞」を受賞。福祉施設ドリームブイ (東京都北区)所属メイト酒井さんが、お客さまからお褒めの言葉をいただく。
2008年2月28日	(社団)日本フィランソロピー協会による第5回企業フィランソロピー大賞・特別賞「社会共生賞」を受賞。「共に生きる」意味を実感できる就業機会を提供し、また、障がい者と健常者を差別しない社会貢献のあるべき姿が本事業で取り組まれている活動として高い評価をうける。

2008年1月	ヤマト運輸(株)木川 眞社長が福祉施設を訪問。 「現場で頑張っている皆さんの声を直接聞きたい」と、スワンカフェ&ベーカリー事業を展開している障がい者就労支援センター『らいむ』(町田市)を訪れ、メイトの皆さん(5名)との座談会参加と現場での配達状況を視察。
2008年1月	クロネコメール便配達事業〈個人別成長目標設定シート〉をテスト導入。潜在能力および顕在能力を開発し、自己実現するための育成支援ツールとして活用していただく。
2007年12月~ 2008年1月	12月26日時点での参入施設231ヵ所を対象に、各施設の配達状況アンケート調査を実施。
2007年12月	障害者週間事業イベントとして、(財)ナイスハート基金と東北福祉大学共催、宮城県仙台市後援によるクロネコメール便配達特別報告会(13名のメイトさんが発表)「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。報告会のお知らせが、11月28日朝刊・毎日新聞みやぎワイドに、河北新報12月12日朝刊に内容が掲載される。32ヵ所の施設・作業所(秋田・福島・宮城)から約100名が参加した。
2007年11月	「メール便配達リーフレット」リニューアル版発刊。沖縄、大阪、東京、青森の施設・作業所のメイトさん8名を紹介。
2007年8月	ヤマト運輸(株)が発刊するメイトさんの啓発広報誌「メイト通信」に障がいのあるメイトさんの配達状況を毎号紹介。
2007年8月	(社団)日本フィランソロピー協会より、ヤマト運輸の社会貢献活動とメール便配達事業の経緯と活動について取材を受ける。機関誌「10・11月合併号月刊フィランソロピー」 に紹介される。
2007年7月	配達従事者1,004名。事業開始から34ヵ月で1,000名を達成。
2007年6月	事業マニュアル、小冊子「参入の手引き」作成。メール便営業部と連携をとり社内関係者に3,300部配布。
2007年4月	月刊誌「マリ・クレール」5月号特別付録(企業のCSR活動に焦点をあてた特集)に メール便配達事業が紹介される。
2007年3月	「配達事例集」 リニューアル版発刊。全国11ヵ所の施設・作業所の配達状況を紹介。
2007年2月	イギリスのソーシャル・ファーム「リンケージ・コミュニティー・トラスト」で働く知的障がい者5名とディレクター8名の総勢13名が日本の障がい者の実情を知るために来日。 クロネコメール便の配達現場を視察。
2006年12月	「障害者白書」別冊版、内閣府発行啓発広報誌「それぞれの願い」に本事業を紹介する。障害者週間(12月3日~12月9日)期間中に、各地で開催されたシンポジュウム会場において配布された。(「障害者白書」テーマ、"共生する社会"について障がいのある方々ご本人や、その支援されている人々の声を取り纏めた冊子)
2006年 10月10日~12日	東京都福祉保健局・産業労働局との共催「東京の障がい者雇用・就労の新たな展開を考える」と題したシンポジュウムおよび東京都第三セクター企業2社とのコラボ企画展示を開催。(ポスターパネル13点の展示と配達風景をビデオ上映)

2005年12月	障害者週間事業として、「クロネコメール便配達ポスター展」をスワンカフェ赤坂店で開催。 ・フォトグラファー平間至氏撮影によるポスターパネル13点を展示し、障がいのある人達の前向きな働く姿を紹介。 ・施設・作業所のメイトさん8名のポートレートと、事業参入全国マップを掲載した「メール便リーフレット」を配布。 (2008年12月現在 14,000部配布)
2005年10月	参入施設・作業所の"地域で働く人々の姿"を網羅した「配達カルテ」を作成。社内外に向けた事業推進のための効果的な啓発・広報資料として活用。
2005年7月	啓発広報資料として、各障がい種別全国7ヵ所の施設・作業所の配達状況を紹介した 「配達事例集」を作成。 (2008年12月現在 16,000部配布)
2005年3月	社内外からの事業問合わせ増加に伴い、事業案内を一元化するため、財団HPに事業 案内を掲載。
2005年2月	軽四輪車で配達を希望する施設を対象に、ヤマトリースのご協力をいただき財団特別 料率を設定し、軽商用リース車の斡旋をスタート。
2004年10月	民間支援四団体加盟の全施設・作業所(3,520ヵ所)に「クロネコメール便配達事業」マニュアルを配布。 WIJメール便委員会発足(日本セルプ・ゼンコロ・社会福祉協議会・きょうされんの四団体)

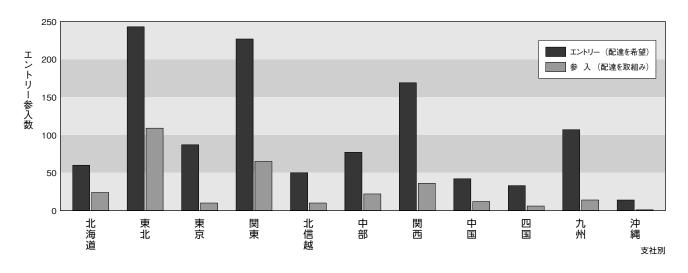
■ 進捗状況補足資料 2020年3月31日現在(図表1·2·3)

図表 1. 参入施設数/配達従事者数推移 309施設/1,494名

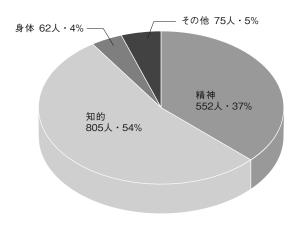


※2010年7月以降、集計方法を財団支部の報告から参入施設からの報告に変更したため実績に差が生じています。

図表 2. 全国支社別 エントリー/参入状況 1,109施設/309施設



図表 3. 障がい別配達従事者人数とその割合



『障がい者のクロネコDM便配達事業』参入施設一覧 309施設

施設・事業所名	住所				
わーく・ひまわり	北海道札幌市豊平区				
はんど&はんど	北海道札幌市手稲区				
自由工房	北海道札幌市手稲区				
ヴォーグ	北海道札幌市清田区				
いちもく神居	北海道旭川市				
ワークステーション輝	北海道虻田郡倶知安町				
前田の家	北海道岩内郡共和町				
オフィスきらり	北海道釧路市				
はばたき	北海道釧路市				
やまびこ	北海道恵庭市				
マイウエイ	北海道小樽市				
わーくさぽーと のどか	北海道上川郡比布町				
ハートフルネットワークほほえみ	北海道千歳市				
ゆうび	北海道千歳市				
きずな	北海道帯広市				
クローバー	北海道帯広市				
クローバーベリー	北海道河東郡音更町				
就労継続支援事業所大作 本別町	北海道中川郡本別町				
若草友の会共同作業所	北海道滝川市				
コミュニティハウスしずない	北海道日高郡新ひだか町				
夕陽が丘	北海道函館市				
おはよう	北海道函館市				
クレドホテル函館	北海道函館市				
美幌地域就労支援センター	北海道網走郡美幌町				
ワークセンターつばき	青森県五所川原市				
創	青森県五所川原市				
ワークハウスとわだ	青森県十和田市				
ベア・ハウス	青森県上北郡おいらせ町				
ほっとワークはぴくる	青森県上北郡野辺地町				
ゆみと就労支援事業所	青森県上北郡六戸町				
夢香房すてっぷ	青森県青森市				
ふうあの家	青森県青森市				

施設・事業所名	住所				
青森うとうの園	青森県青森市				
田面木の家	青森県八戸市				
エンジェルハウス	青森県八戸市				
トータルサポート・ソレイユ	青森県八戸市				
あるふぁ	青森県八戸市				
サポートセンターあさひ	青森県三戸郡南部町				
NPO 法人 team.Step by step NEXT	青森県弘前市				
NPO 法人太陽の園	秋田県横手市				
ひまわり社	秋田県横手市				
出発の家	秋田県鹿角市				
いなほ作業所	秋田県秋田市				
ドリームカンパニーあゆみ	秋田県秋田市				
サンあんぐる	秋田県仙北郡美郷町				
愛仙	秋田県仙北市				
工房JOYさあくる	秋田県大館市				
ふれあい作業所	秋田県大仙市				
ほっぺ	秋田県大仙市				
サンワーク大曲	秋田県大仙市				
しみず	秋田県大仙市				
男鹿浜辺の里	秋田県男鹿市				
コスモス	秋田県能代市				
根分け会	秋田県由利本荘市				
飯田川つくし苑	秋田県潟上市				
千厩ワークプラザ	岩手県一関市				
つくし共同作業所	岩手県釜石市				
りんりん舎	岩手県岩手郡滝沢村				
さくら製作所	岩手県紫波郡紫波町				
あさあけの園	岩手県紫波郡矢巾町				
杜の家	岩手県盛岡市				
盛岡杉生園	岩手県盛岡市				
となんカナン	岩手県盛岡市				
のびやか丸	岩手県盛岡市				

施設・事業所名	住所				
生生学舎アダージョ	岩手県盛岡市				
太田の園	岩手県盛岡市				
ぐるんぱ	岩手県盛岡市				
ベアー岩手	岩手県盛岡市				
ゆうき社	岩手県大船渡市				
ポパイの家	岩手県八幡平市				
いわて共生会あけぼの	岩手県北上市				
ワークハウス アトリエ Sun	岩手県宮古市				
ワークス洋野	岩手県九戸郡洋野町				
ぽるた	岩手県滝沢市				
HOPE GARDEN 気仙沼	宮城県気仙沼市				
とれいん	宮城県気仙沼市				
七ヶ浜町あさひ園	宮城県宮城郡七ヶ浜町				
みんなの夢広場	宮城県石巻市				
桜・さくら	宮城県石巻市				
パーラー山と田んぼ	宮城県石巻市				
くじらのしっぽ	宮城県石巻市				
ワークつるがや	宮城県仙台市宮城野区				
わ・は・わ若林	宮城県仙台市若林区				
わ・は・わ沖野	宮城県仙台市若林区				
Links 五橋	宮城県仙台市若林区				
こころや	宮城県仙台市青葉区				
わ・は・わ広瀬	宮城県仙台市青葉区				
つなぎっこ	宮城県仙台市青葉区				
ぱーとなー	宮城県仙台市青葉区				
みんなの広場・工房きまち	宮城県仙台市青葉区				
ほっとスペース歩歩	宮城県仙台市泉区				
アトリエ・ソキウス	宮城県仙台市泉区				
みどり工房永和台	宮城県仙台市泉区				
ポッケの森	宮城県仙台市太白区				
工房けやき	宮城県仙台市太白区				
工房パルコ	宮城県大崎市				
わ・は・わ美里	宮城県遠田郡美里町				
ビッグちゃお	山形県山形市				
ステップアップ霞城	山形県山形市				

施設・事業所名	住所				
メディアかがやき	山形県山形市				
ハーモニー	山形県山形市				
グループ未知	山形県山形市				
ワークランドべにばな	山形県山形市				
まある	山形県山形市				
デイサポートセンターじゃんぷ	山形県山形市				
あらた	山形県酒田市				
シャイニー新庄升形	山形県新庄市				
手づくりクッキーおからや	山形県鶴岡市				
大けやきの家	山形県東根市				
ひまわり園	山形県東田川郡庄内町				
フラワーコート米沢	山形県米沢市				
すてっぷ	山形県米沢市				
むすび	山形県寒河江市				
わっしょい!	山形県村山市				
チャオ	福島県いわき市				
輪楽創	福島県伊達郡桑折町				
ゆうゆうハウス	福島県河沼郡会津坂下町				
レーベン	福島県会津若松市				
ほっとハウスやすらぎ	福島県会津若松市				
ペンギン東台	福島県郡山市				
ペンギン村共同作業所	福島県郡山市				
キャロット八山田	福島県郡山市				
ひまわりの家	福島県相馬市				
みはる工房	福島県田村郡三春町				
ほっと悠 Ms	福島県南相馬市原町区				
きぼうのあさがお	福島県南相馬市鹿島区				
自立研究所ビーンズ	福島県南相馬市鹿島区				
なごみの家	福島県白河市				
ゆ~もあ~と	福島県福島市				
SWELL · IN · FUKUSHIMA	福島県福島市				
あさひスマイル	福島県福島市				
Work - SCS 笹谷	福島県福島市				
Work - SCS 南福島	福島県福島市				
来夢	東京都北区				

施設・事業所名	住所				
ことのは修義館	東京都江戸川区				
Navioけやき	東京都世田谷区				
しごとも	東京都世田谷区				
すまいる・フォレスト	東京都練馬区				
すきっぷ	東京都三鷹市				
結の会	東京都八王子市				
千川作業所	東京都武蔵野市				
ME I M I · C L U B	東京都東久留米市				
飛翔クラブ	東京都東村山市				
共同作業所ふれあい	茨城県ひたちなか市				
はあとぼっぽ	茨城県坂東市				
らしん盤	茨城県取手市				
ゆきわりそう	茨城県水戸市				
やまびこ	茨城県水戸市				
けやきの家	茨城県石岡市				
第2けやき作業所	栃木県芳賀郡芳賀町				
いっすんぽうし	栃木県小山市				
県東ライフサポートセンター・真岡	栃木県真岡市				
伊勢崎市桑の実福祉作業所	群馬県伊勢崎市				
若草作業所	群馬県館林市				
あゆみ舎	埼玉県さいたま市大宮区				
つばさ共同作業所	埼玉県さいたま市中央区				
生活支援センターこしがや	埼玉県越谷市				
ゆりのき支援センター	埼玉県春日部市				
ライトハウス	埼玉県ふじみ野市				
熊谷たんぽぽ	埼玉県熊谷市				
ひなたぼっこ	埼玉県熊谷市				
コスモス共同作業所	埼玉県鴻巣市				
ゆめきた工房	埼玉県坂戸市				
ジョブサポートはぶたえ	埼玉県深谷市				
フレンドリー	埼玉県深谷市				
ワークセンターせんば	埼玉県川越市				
サルース	埼玉県川越市				
鶴ケ島ゆめの園	埼玉県鶴ケ島市				
ほれぽれ	千葉県市原市				

施設・事業所名	住所
まぁぶるひろ	千葉県千葉市花見川区
ワークホーム海の実	千葉県千葉市中央区
フロンティア	千葉県千葉市中央区
ワークス未来千葉	千葉県千葉市美浜区
たけの子工房	千葉県千葉市緑区
就労サポートリーブ	千葉県袖ケ浦市
hana	千葉県木更津市
イエローハート	千葉県我孫子市
i工房	千葉県我孫子市
かんぱす	千葉県船橋市
アーモ	千葉県船橋市
カレーサ	千葉県船橋市
生活工房こだま	千葉県柏市
ぽけっと	千葉県白井市
すずらん	千葉県八千代市
ハンディジャンプ	神奈川県横浜市磯子区
シャロームの家	神奈川県横浜市磯子区
エンジョイメント	神奈川県横浜市磯子区
いぶきの風	神奈川県横浜市戸塚区
りんごの木	神奈川県横浜市戸塚区
フラワーロード	神奈川県横浜市港南区
いろえんぴつ	神奈川県横浜市港北区
ひとつの芽	神奈川県横浜市泉区
エアリアル	神奈川県海老名市
青い麦の家	神奈川県鎌倉市
茅ケ崎第二ワーキングハウス	神奈川県茅ケ崎市
トライフィールドわーくあーつ	神奈川県厚木市
セルプきたかせ	神奈川県川崎市幸区
つばさ	神奈川県川崎市高津区
オリーブの木	神奈川県川崎市中原区
第2けやき作業所	神奈川県相模原市南区
ありのまま舎	神奈川県相模原市緑区
ハートピア湘南	神奈川県藤沢市
第3藤沢ひまわり	神奈川県藤沢市
るる湘南	神奈川県藤沢市

施設・事業所名	住所
スイートベリー KATUYAMA	山梨県南都留郡
南アルプス市松の実作業所	山梨県南アルプス市
かしのみ	山梨県甲府市
すみよし生活支援センター	山梨県甲府市
阿賀野市さくらの会作業所	新潟県阿賀野市
手楽来家	新潟県新潟市江南区
和工房	新潟県新潟市西区
豆の木	新潟県新潟市西区
希望の家	新潟県長岡市
希望の里つばさ	長野県岡谷市
ワンステップ	長野県松本市
エコーンファミリー	長野県長野市
くろべ工房	富山県黒部市
ゆめさぽーとらいちょう	富山県富山市
ネットワークひこばえ	静岡県静岡市葵区
ウィン作業所	静岡県静岡市葵区
ラポール・チャクラ	静岡県静岡市駿河区
アネモネ	愛知県名古屋市緑区
さくらんぼ	愛知県名古屋市中川区
ファンタジスタ名古屋	愛知県名古屋市西区
就労・コミュニティセンター Abbey	愛知県名古屋市昭和区
サポートセンター being 吹上	愛知県名古屋市昭和区
のぞみ	愛知県名古屋市守山区
TUTTI	愛知県名古屋市東区
くうねる・イマーゴ	愛知県名古屋市千種区
アーム	愛知県豊田市
トレーニングスペース リンク	愛知県半田市
ワーキングスペースおおぶ	愛知県大府市
やすらぎの家	愛知県新城市
笑い太鼓岡崎	愛知県岡崎市
輝望	愛知県豊岡市
ほまれの家尾張旭店	愛知県尾張旭市
株式会社ハートリフォーレ 心暖	愛知県尾張旭市
垂坂山ブルーミング	三重県四日市市

施設・事業所名	住所				
グリンリーフ	岐阜県岐阜市				
ワークセンターひびき	大阪府東大阪市				
オリーブ	大阪府大阪市平野区				
手琴堂	大阪府大阪市都島区				
ニコサービス	大阪府大阪市城東区				
のぞみ共同作業所	大阪府吹田市				
第三工房ヒューマン	大阪府吹田市				
ドルフィンハート・ドルフィンアイ	大阪府堺市堺区				
高槻ワーク工房	大阪府高槻市				
ステラ守口	大阪府守口市				
オレンジの会	京都府京都市東山区				
SAPふっとぷりんつ	京都府京田辺市				
かがやきの杜	京都府京丹後市				
たむたむ荘	奈良県奈良市				
さわやぎ	奈良県奈良市				
来夢 green	奈良県奈良市				
もりの実事業所	奈良県北葛城郡広陵町				
たんぽぽ作業所	和歌山県紀の川市				
岩出サンワーク	和歌山県岩出市				
すまいる・フレンズ	兵庫県神戸市須磨区				
たすけあい	兵庫県神戸市須磨区				
御影倶楽部	兵庫県神戸市東灘区				
EnTry	兵庫県神戸市垂水区				
ひまわり作業所	兵庫県淡路市				
アミアミ	兵庫県洲本市				
ぐろ~りあ	兵庫県尼崎市				
共同作業所ふる – る	兵庫県尼崎市				
雑居工房	兵庫県尼崎市				
出愛いの里	兵庫県姫路市				
しらさぎ作業所	兵庫県姫路市				
自立の家きらら	兵庫県宝塚市				
かるべの郷ドリームワークス	兵庫県養父市				
TODAY	兵庫県三木市				
西宮作業所クローバー	兵庫県西宮市				
てんとうか	兵庫県西宮市				

施設・事業所名	住所				
アミル甲子園口	兵庫県西宮市				
元気アップみのり作業所	兵庫県相生市				
ゆめの木・わかば	広島県福山市				
三次共同作業所	広島県三次市				
しまなみ瀬戸田夢工房	広島県尾道市				
オレンジ作業所	広島県尾道市				
あいあい作業所	広島県廿日市市				
さわやか工房	山口県周南市				
ワークステーション大歳	山口県山口市				
ステップあそかの園	山口県山口市				
しあわせ	山口県光市				
ボン・シャンス	鳥取県倉吉市				
コミュニティーハウス楽	鳥取県倉吉市				
川本ワークス	島根県邑智郡川本町				
かけはし	香川県坂出市				
どんどこどん	徳島県坂野郡松茂町				
ワークセンタースマイル	徳島県阿波市				
第2あおぞら	高知県高知市				
いろえんぴつ	愛媛県松山市				
ワークハウス睦美	愛媛県伊予市				
さるびあ作業所	福岡県筑紫野市				
ケアポートがんぎだん	福岡県福岡市西区				
夢ぽけっと	福岡県福岡市南区				
はあもにい	福岡県柳川市				
コリアンダーの家	長崎県長崎市				
どんぐり村	熊本県上天草市				
らぷらんどカフェ	熊本県熊本市中央区				
ピープルステーション	大分県大分市				
どんぐりの家	大分県大分市				
ワーク大分すみれ会	大分県大分市				
べっぷ優ゆう作業所	大分県別府市				
メロディー	大分県別府市				
はまゆう園多機能型恒富事業所	宮崎県延岡市				
SUNはあーと	宮崎県宮崎市				
キャンプグリーンヒル	沖縄県うるま市				

■ 2019年度 支社別「障がい者のクロネコDM便配達実績」時系列集計表

	却先左口	事業参入	月次報告入		入力率		クロネコ DM 便配達従事者人数		クロネコ DM 便配達冊数			1 施設 1 日当り配達冊数			
	報告年月	施設数	力済施設数	実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
	2019年4月	26	26	100.0%	100.0%	0.0%	115	158	-43	27,927	35,998	77.6%	58.2	66.5	-8.3
}	5月	26	26	100.0%	100.0%	0.0%	121	167	-46	24,995	33,075	75.6%	55.3	59.2	-3.9
	6月	27	27	100.0%	100.0%	0.0%	124	152	-28	28,157	36,311	77.5%	60.2	64.0	-3.8
北	7月	27	27	100.0%	100.0%	0.0%	117	149	-32	26,521	29,519	89.8%	54.6	52.3	2.3
16	8月	27	27	100.0%	100.0%	0.0%	119	177	-58	21,500	25,355	84.8%	47.8	47.9	-0.1
	9月	27	27	100.0%	100.0%	0.0%	119	181	-62	24,751	28,080	88.1%	54.4	59.1	-4.7
海	10月	26	26	100.0%		0.0%	113	169	-56	23,700		69.7%	51.1	57.7	-6.6
					100.0%						34,003				
道	11月	26	26	100.0%	100.0%	0.0%	115	150	-35	25,126	32,811	76.6%	56.7	60.8	-4.1
塩	12月	26	26	100.0%	100.0%	0.0%	110	130	-20	21,898	26,752	81.9%	50.8	56.8	-6.0
	2020年1月	26	26	100.0%	100.0%	0.0%	132	128	4	20,762	27,708	74.9%	50.0	58.7	-8.7
	2月	24	24	100.0%	100.0%	0.0%	115	131	-16	21,197	29,385	72.1%	52.6	60.1	-7.5
	3月	24	24	100.0%	100.0%	0.0%	116	131	-15	20,607	28,682	71.8%	48.0	57.2	-9.2
	2019年4月	111	111	100.0%	100.0%	0.0%	615	550	65	126,712	130,491	97.1%	67.9	71.2	-3.3
	5月	112	112	100.0%	100.0%	0.0%	615	557	58	120,795	136,435	88.5%	65.2	72.3	-7.1
	6月	111	111	100.0%	100.0%	0.0%	616	609	7	121,997	133,950	91.1%	65.8	63.8	2.0
	7月	110	110	100.0%	100.0%	0.0%	613	552	61	123,537	122,778	100.6%	63.3	65.7	-2.4
東	8月	110	110	100.0%	100.0%	0.0%	606	573	33	101,592	106,576	95.3%	59.3	58.8	0.5
	9月	111	111	100.0%	100.0%	0.0%	610	570	40	119,738	121,712	98.4%	67.2	69.3	-2.1
	10 月	111	111	100.0%	100.0%	0.0%	602	582	20	121,812	140,463	86.7%	64.1	72.5	-8.4
北	11 月	112	112	100.0%	100.0%	0.0%	631	571	60	125,216	129,317	96.8%	67.1	69.0	-1.9
-10	12 月	110	110	100.0%	100.0%	0.0%	618	585	33	104,246	114,288	91.2%	57.6	68.6	-11.0
	2020年1月	110	110	100.0%	100.0%	0.0%	610	594	16	111,320	118,944	93.6%	62.2	67.8	-5.6
	2月	110	110	100.0%	100.0%	0.0%	600	593	7	108,415	122,688	88.4%	64.5	69.7	-5.2
	3月	109	109	100.0%	100.0%	0.0%	606	622	-16	109,950	128,627	85.5%	59.1	68.6	-9.5
	2019年4月	10	10	100.0%	90.9%	9.1%	65	58	7	28,662	40,128	71.4%	153.3	221.7	-68.4
}	5月	10	10	100.0%	90.9%	9.1%	65	67	-2	29,730	32,905	90.4%	171.8	182.8	-11.0
	6月	10	10	100.0%	100.0%	0.0%	65	72	-7	33,719	38,493	87.6%	186.3	191.5	-5.2
	7月	10	10	100.0%	100.0%	0.0%	60	71	-11	27,289	37,361	73.0%	154.2	113.2	41.0
東	8月	10	10	100.0%	100.0%	0.0%	59	69	-11	27,228	33,542	81.2%	175.7	179.4	-3.7
}	9月	10	10	100.0%	100.0%	0.0%	58	70	-10	28,022	34,664	80.8%	183.2	200.4	-17.2
	10月	10	10			0.0%	64	73	-12	-			152.5	173.8	
		10		100.0%	100.0%		64	69		28,513	37,021	77.0%			-21.3
京	11月		10	100.0%	100.0%	0.0%			-5	29,695	34,160	86.9%	168.7	189.8	-21.1
	12月	10	10	100.0%	100.0%	0.0%	63	70	-7	28,290	31,752	89.1%	167.4	183.5	-16.1
	2020年1月	10	10	100.0%	100.0%	0.0%	64	71	-7	25,612	28,870	88.7%	157.1	169.8	-12.7
	2月	10	10	100.0%	100.0%	0.0%	63	70	-7	25,663	29,597	86.7%	153.7	171.1	-17.4
	3月	10	10	100.0%	100.0%	0.0%	63	68	-5	26,245	32,703	80.3%	145.0	177.7	-32.7
	2019年4月	39	30	76.9%	94.9%	-18.0%	168	268	-100	20,600	42,369	48.6%	42.1	64.3	-22.2
	5月	39	29	74.4%	94.9%	-20.5%	170	275	-105	20,791	40,440	51.4%	46.1	61.6	-15.5
	6月	39	30	76.9%	89.7%	-12.8%	175	252	-77	22,359	39,570	56.5%	46.3	67.9	-21.6
	7月	37	32	86.5%	92.3%	-5.8%	196	242	-46	25,807	31,521	81.9%	48.1	51.6	-3.5
南	8月	37	32	97.4%	91.5%	5.9%	195	270	-75	21,254	34,596	61.4%	44.2	54.0	-9.8
関	9月	37	31	83.8%	97.4%	-13.6%	178	269	-91	21,733	33,849	64.2%	49.2	57.3	-8.1
	10 月	37	31	83.8%	94.9%	-11.1%	156	253	-97	26,167	36,360	72.0%	53.0	56.2	-3.2
東	11 月	37	32	86.5%	94.9%	-8.4%	177	247	-70	22,088	32,756	67.4%	44.5	51.3	-6.8
	12 月	37	32	86.5%	89.7%	-3.3%	216	234	-18	25,297	27,356	92.5%	53.6	50.2	3.4
	2020年1月	37	30	81.1%	84.6%	-3.5%	194	196	-2	25,213	23,210	108.6%	56.7	47.5	9.2
	2月	37	31	83.8%	94.9%	-11.1%	187	244	-57	23,452	29,213	80.3%	54.0	50.6	3.4
	3月	37	29	78.4%	92.3%	-13.9%	146	214	-68	19,271	28,502	67.6%	41.1	48.6	-7.5
	2019年4月	30	28	93.3%	93.8%	-0.5%	210	193	17	32,860	35,361	92.9%	69.0	68.7	0.3
	5月	30	29	96.7%	93.8%	2.9%	217	198	19	29,907	35,952	83.2%	62.2	69.5	-7.3
	6月	29	25	86.2%	87.5%	-1.3%	173	191	-18	21,048	35,864	58.7%	54.4	70.7	-16.3
	7月	29	27	93.1%	90.6%	2.5%	194	198	-4	23,278	33,833	68.8%	50.1	66.0	-15.9
ء الـ	8月	29	28	96.6%	83.9%	12.7%	196	170	26	25,847	30,268	85.4%	63.0	68.8	-5.8
北	9月	29	28	96.6%	81.3%	15.3%	198	176	22	27,043	26,897	100.5%	61.7	68.6	-6.9
関	10月	29	27	93.1%	93.3%	-0.2%	175	198	-23	28,185	37,453	75.3%	64.3	74.3	-10.0
東	11月	29	27	93.1%	93.3%	-0.2%	176	195	-19	26,250	36,681	71.6%	61.5	73.2	-10.0
	12月	29	27	93.1%	93.3%	-0.2%	177	195	-13	23,897	28,350	84.3%	59.2	64.1	-4.9
	2020年1月	28	27	96.4%	96.7%	-0.2%	177	199	-21	22,862	29,603	77.2%	57.9	66.4	-4.9
	2月	28	27		96.7%	-0.2%	177	203	-21	21,929	34,859	62.9%	57.9	75.1	-8.3
			27	96.4%					-26						
	3月	28	21	96.4%	93.3%	3.1%	177	201	-24	22,176	32,001	69.3%	51.8	66.9	-15.1

■ 2019年度 支社別「障がい者のクロネコDM便配達実績」時系列集計表

	+0.4-4-0	事業参入	月次報告入	入力率		クロネコ DM 便配達従事者人数			クロネコ DM 便配達冊数			1 施設 1 日当り配達冊数			
	報告年月	施設数	力済施設数	実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
	2019年4月	10	10	100.0%	100.0%	0.0%	42	32	10	16,808	19,574	85.9%	96.0	107.5	-11.5
	5月	10	10	100.0%	100.0%	0.0%	43	35	8	14,714	19,365	76.0%	82.2	105.8	-23.6
	6月	10	9	90.0%	90.0%	0.0%	34	30	4	14,884	17,576	84.7%	89.7	104.6	-14.9
北	7月	10	8	80.0%	90.0%	-10.0%	30	31	-1	13,341	14,879	89.7%	87.8	88.6	-0.8
	8月	10	8	80.0%	70.0%	10.0%	29	25	4	11,846	14,431	82.1%	92.5	108.5	-16.0
信	9月	10	9	90.0%	80.0%	10.0%	37	27	10	13,195	14,184	93.0%	84.0	102.8	-18.8
10	10 月	10	7	70.0%	80.0%	-10.0%	31	27	4	14,104	17,433	80.9%	115.6	114.7	0.9
	11 月	10	9	90.0%	80.0%	10.0%	34	28	6	15,001	15,831	94.8%	99.3	104.8	-5.5
越	12 月	10	9	90.0%	80.0%	10.0%	35	28	7	12,759	12,625	101.1%	85.6	94.2	-8.6
	2020年1月	10	9	90.0%	80.0%	10.0%	34	28	6	13,363	14,620	91.4%	86.2	108.3	-22.1
	2月	10	9	90.0%	90.0%	0.0%	35	31	4	13,298	15,670	84.9%	86.9	103.1	-16.2
	3月	10	9	90.0%	100.0%	-10.0%	30	42	-12	11,868	17,320	68.5%	69.8	95.2	-25.4
	2019年4月	21	16	76.2%	77.8%	-1.6%	84	87	-3	16,514	15,712	105.1%	63.0	62.8	0.2
	5月	21	15	71.4%	77.8%	-6.3%	81	85	-4	14,402	15,172	94.9%	65.5	57.0	8.5
	6月	20	14	70.0%	77.8%	-7.8%	81	84	-3	15,341	16,181	94.8%	66.1	57.6	8.5
中	7月	20	16	80.0%	77.8%	2.2%	87	83	4	15,956	14,616	109.2%	59.3	54.1	5.2
+	8月	23	18	78.3%	75.0%	3.3%	93	74	19	14,397	12,784	112.6%	56.5	53.0	3.5
	9月	23	17	73.9%	75.0%	-1.1%	93	84	9	15,426	14,621	105.5%	60.5	63.0	-2.5
	10 月	23	17	73.9%	70.0%	3.9%	95	81	14	16,237	16,363	99.2%	60.8	69.9	-9.1
部	11月	23	18	78.3%	71.4%	6.8%	95	82	13	16,638	14,425	115.3%	59.2	59.9	-0.7
	12月	23	16	69.6%	76.2%	-6.6%	82	86	-4	13,688	13,728	99.7%	53.5	58.9	-5.4
	2020年1月	23	17	73.9%	76.2%	-2.3%	87	88	-1	13,571	13,930	97.4%	55.4	57.6	-2.2
	2月	23	16	69.6%	77.8%	-8.2%	85	82	3	13,879	12,375	112.2%	57.8	53.8	4.0
	3月	22	16	72.7%	75.0%	-2.3%	65	91	-26	8,668	17,057	50.8%	35.4	60.3	-24.9
	2019年4月	36	27	75.0%	77.1%	-2.1%	162	174	-12	27,000	38,243	70.6%	59.9	78.4	-18.5
	5月	36	27	75.0%	74.3%	0.7%	173	152	21	23,057	35,315	65.3%	51.7	73.1	-21.4
	6月	36	28	77.8%	71.4%	6.3%	189	136	53	27,202	36,622	74.3%	58.0	80.8	-22.8
関	7月8月	36	26 26	72.2% 72.2%	71.4% 65.7%	0.8%	182 189	124 123	58	25,860 22,605	31,520	82.0%	55.5	74.0	-18.5
	9月	36	25	69.4%	74.3%	6.5% -4.8%	162	157	66 5	20,854	27,080	83.5% 75.5%	59.5 53.1	75.6	-11.0 -22.5
	10月	36	27	75.0%	74.3%	0.7%	174	151	23	26,137	33,832	77.3%	58.2	73.9	-22.3
-	11月	36	24	66.7%	80.6%	-13.9%	174	160	11	22,257	39,028	57.0%	58.0	78.1	-20.1
西	12月	36	25	69.4%	77.8%	-8.3%	171	169	2	21,048	27,881	75.5%	51.0	64.1	-13.1
	2020年1月	36	25	69.4%	77.8%	-8.3%	181	169	12	22,508	32,614	69.0%	54.8	75.3	-20.5
	2月	36	25	69.4%	75.0%	-5.6%	182	160	22	20,444	26,342	77.6%	50.4	63.5	-13.1
	3月	36	24	66.7%	80.6%	-13.9%	149	155	-6	20,209	37.076	54.5%	45.4	75.7	-30.3
	2019年4月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	52	73	-21	26,497	29,322	90.4%	135.9	130.9	5.0
	5月	12	12	100.0%	92.3%	7.7%	54	56	-2	22,218	26,878	82.7%	120.8	133.1	-12.3
	6月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	52	67	-15	23,042	30,678	75.1%	120.6	131.1	-10.5
	7月	12	12	100.0%	92.3%	7.7%	51	65	-14	23,059	23,879	96.6%	118.3	125.7	-7.4
中	8月	12	12	100.0%	92.3%	7.7%	51	69	-18	18,899	20,347	92.9%	107.4	105.4	2.0
	9月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	50	66	-16	22,759	24,413	93.2%	123.7	125.8	-2.1
	10 月	12	12	100.0%	92.3%	7.7%	49	59	-10	22,131	28,022	79.0%	116.5	129.7	-13.2
国	11 月	12	12	100.0%	91.7%	8.3%	48	49	-1	23,275	26,637	87.4%	127.9	154.0	-26.1
_	12 月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	50	68	-18	20,381	24,206	84.2%	117.1	132.3	-15.2
	2020年1月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	48	68	-20	21,939	25,303	86.7%	122.6	129.1	-6.5
	2月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	51	67	-16	19,571	25,321	77.3%	117.2	138.4	-21.2
	3月	12	12	100.0%	100.0%	0.0%	53	55	-2	18,817	23,709	79.4%	105.1	137.0	-31.9
	2019年4月	6	3	50.0%	66.7%	-16.7%	5	7	-2	2,909	4,060	71.7%	54.9	51.4	3.5
	5 月	6	4	66.7%	66.7%	0.0%	7	7	0	3,017	3,426	88.1%	43.1	43.9	-0.8
	6月	6	4	66.7%	66.7%	0.0%	7	6	1	3,574	4,693	76.2%	45.8	54.6	-8.8
m	7月	6	3	50.0%	66.7%	-16.7%	5	7	-2	3,074	3,293	93.3%	54.9	43.3	11.6
四	8月	6	2	33.3%	66.7%	-33.3%	4	7	-3	692	2,993	23.1%	22.3	38.9	-16.6
	9月	6	2	33.3%	66.7%	-33.3%	4	7	-3	609	3,088	19.7%	19.6	40.1	-20.5
	10 月	6	2	33.3%	66.7%	-33.3%	4	7	-3	654	3,913	16.7%	19.2	44.5	-25.3
国	11月	6	3	50.0%	66.7%	-16.7%	4	7	-3	2,803	3,701	75.7%	52.9	45.7	7.2
	12月	6	2	33.3%	66.7%	-33.3%	3	7	-4	597	2,955	20.2%	18.7	38.9	-20.2
	2020年1月	6	2	33.3%	66.7%	-33.3%	4	7	-3	601	2,606	23.1%	18.8	36.2	-17.4
	2月	6	2	33.3%	66.7%	-33.3%	3	6	-3	671	2,821	23.8%	20.3	35.7	-15.4
	3月	6	2	33.3%	66.7%	-33.3%	3	7	-4	626	2,760	22.7%	19.0	34.9	-15.9

■ 2019年度 支社別「障がい者のクロネコDM便配達実績」時系列集計表

	却先左口	事業参入 施設数	月次報告入 力済施設数	入力率			クロネコ DM 便配達従事者人数			クロネコ DM 便配達冊数			1 施設 1 日当り配		尼達冊数
	報告年月			実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
九州	2019年4月	15	15	100.0%	100.0%	0.0%	87	92	-5	29,169	39,172	74.5%	92.3	109.1	-16.8
	5月	15	15	100.0%	93.8%	6.3%	85	86	-1	26,852	34,703	77.4%	86.6	103.0	-16.4
	6月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	84	88	-4	30,452	40,143	75.9%	102.5	109.4	-6.9
	7月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	84	87	-3	25,358	30,043	84.4%	82.9	84.4	-1.5
	8月	14	14	100.0%	93.8%	6.3%	84	80	4	24,200	27,594	87.7%	87.4	87.6	-0.2
	9月	14	14	100.0%	93.8%	6.3%	82	81	1	27,050	32,721	82.7%	93.9	110.5	-16.6
	10 月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	84	87	-3	26,336	45,569	57.8%	87.8	130.9	-43.1
	11 月	14	13	92.9%	100.0%	-7.1%	80	88	-8	24,237	35,184	68.9%	89.8	105.7	-15.9
	12 月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	83	90	-7	26,840	32,714	82.0%	93.8	103.9	-10.1
	2020年1月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	84	90	-6	25,347	30,279	83.7%	89.6	98.3	-8.7
	2月	14	14	100.0%	81.3%	18.8%	84	78	6	23,361	26,330	88.7%	83.4	97.9	-14.5
	3 月	14	14	100.0%	100.0%	0.0%	86	87	-1	23,874	31,701	75.3%	79.8	95.8	-16.0
	2019年4月	1	0	0.0%	100.0%	-100.0%	0	2	-2	0	72	0.0%		8.0	
	5月	1	0	0.0%	100.0%	-100.0%	0	2	-2	0	118	0.0%		7.9	
	6 月	1	0	100.0%	100.0%	0.0%	0	2	-2	0	126	0.0%		7.9	
沖	7月	1	0	100.0%	0.0%	100.0%	0	0	0	0	0				
	8月	1	0	100.0%	0.0%	100.0%	0	0	0	0	0				
	9月	1	0	100.0%	0.0%	100.0%	0	0	0	0	0				
	10 月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
縄	11 月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	12 月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	2020年1月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	2月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	3月	1	0	0.0%	100.0%	-100.0%	0	2	-2	0	135	0.0%		8.4	
	2019年4月	317	288	90.9%	94.0%	-3.2%	1,605	1,694	-89	355,658	430,502	82.6%	71.8	81.0	-9.2
	5月	318	289	90.9%	93.1%	-2.2%	1,631	1,687	-56	330,478	413,784	79.9%	68.6	77.1	-8.5
	6月	315	284	90.2%	92.2%	-2.0%	1,600	1,689	-89	341,775	430,207	79.4%	71.1	77.2	-6.1
全国	7月	312	285	91.3%	92.2%	-0.9%	1,619	1,609	10	333,080	373,242	89.2%	65.8	69.5	-3.7
	8月	315	287	91.1%	90.4%	0.7%	1,625	1,653	-28	290,060	337,761	85.9%	65.1	67.9	-2.8
	9月	316	286	90.5%	91.7%	-1.2%	1,591	1,688	-97	321,180	361,832	88.8%	70.2	77.2	-7.0
	10月	315	284	90.2%	92.2%	-2.0%	1,547	1,687	-140	333,976	430,432	77.6%	68.9	79.9	-11.0
	11月	316	286	90.5%	92.8%	-2.3%	1,595	1,646	-51	332,586	400,531	83.0%	70.3	76.8	-6.5
	12月	314	283	90.1%	93.1%	-3.0%	1,608	1,662	-54	298,941	342,607	87.3%	65.1	73.3	-8.2
	2020年1月	313	282	90.1%	92.2%	-2.1%	1,616	1,638	-22	303,098	347,687	87.2%	67.2	73.7	-6.5
	2月	311	280	90.0%	92.2%	-2.2%	1,582	1,665	-83	291,880	354,601	82.3%	67.1	74.0	-6.9
	3 月	309	276	89.3%	94.0%	-4.7%	1,494	1,675	-181	282,311	380,273	74.2%	59.6	73.4	-13.8

2. 2019 年度収支決算報告書

貸借対照表

2020年3月31日現在 (令和元年度)

科目	当年度	前年度	増 減
Ⅰ 資産の部			
1流動資産			
現金預金	51,204,643	68,621,012	-17,416,369
現金	193,182	435,482	-242,300
普通預金	51,011,461	68,185,530	-17,174,069
未収金	94,400	0	94,400
立替金	116,250	0	116,250
流動資産合計	51,415,293	68,621,012	-17,205,719
2 固定資産			
基本財産			
投資有価証券(指定)	5,430,400,000	9,148,800,000	-3,718,400,000
投資有価証券(一般)	601,586,500	1,013,515,500	-411,929,000
a +	6,031,986,500	10,162,315,500	-4,130,329,000
基本財産合計	6,031,986,500	10,162,315,500	-4,130,329,000
固定資産合計	6,031,986,500	10,162,315,500	-4,130,329,000
資産合計	6,083,401,793	10,230,936,512	-4,147,534,719
Ⅱ 負債の部			
1流動負債			
未払金	6,295,837	953,011	5,342,826
預り金	11,370	19,329	-7,959
流動負債合計	6,307,207	972,340	5,334,867
負債合計	6,307,207	972,340	5,334,867
Ⅲ正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	5,430,400,000	9,148,800,000	-3,718,400,000
(うち基本財産への充当額)	(5,430,400,000)	(9,148,800,000)	-3,718,400,000
(うち特定財産への充当額)	()	()	()
2一般正味財産			
一般正味財産合計	646,694,586	1,081,164,172	-434,469,586
(うち基本財産への充当額)	(601,586,500)	(1,013,515,500)	-411,929,000
(うち特定財産への充当額)	()	()	()
正味財産合計	6,077,094,586	10,229,964,172	-4,152,869,586
負債及び正味財産合計	6,083,401,793	10,230,936,512	-4,147,534,719

2019 年度正味財産増減計算書

2019年4月1日~2020年3月31日

科目	当年度	前年度	増 減
Ⅱ 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	103,080,500	99,526,000	3,554,500
基本財産株式配当	103,080,500	99,526,000	3,554,500
受取会費	102,579,000	100,778,500	1,800,500
賛助会費収入	102,579,000	100,778,500	1,800,500
受取寄付金	67,662,304	64,236,492	3,425,812
寄付金収入	67,662,304	64,236,492	3,425,812
指定寄付金収入	0	0	0
雑収益	0	5,779	△ 5,779
雑収入	0	5,779	△ 5,779
経常収益計	273,321,804	264,546,771	8,775,033
(2)経常費用			
事業費	278,038,087	255,843,723	22,194,364
給料手当	15,509,167	12,737,745	2,771,422
旅費交通費	17,990,736	11,898,574	6,092,162
通信運搬費	15,249,663	30,593,762	△ 15,344,099
備品消耗品費	694,933	427,019	267,914
図書印刷費	14,979,883	4,877,979	10,101,904
事務室維持費	5,273,486	5,446,672	△ 173,186
会議費	1,921,587	1,797,234	124,353
支払手数料	410,198	350,852	59,346
維費	15,482	769,933	△ 754,451
奨学金支給	22,500,000	23,700,000	△ 1,200,000
助成金支給	80,744,871	79,426,640	1,318,231
震災支援費	7,199,211	8,973,200	
会場費	7,920,941	13,950,309	
運営費	3,555,029	3,932,636	
講師諸費	3,941,288	3,367,454	573,834
ビデオ・パンフ作成費	7,397,199	9,721,759	
システム費用	8,621,062	5,678,365	2,942,697
就労支援費	4,000,000	4,560,000	△ 560,000
委託費	36,388,957	18,466,683	17,922,274
ホームページ運営費	2,740,180	1,570,320	1,169,860
贈呈費	19,551,562	12,296,587	7,254,975
共済分担金	1,432,652	1,300,000	132,652

科目		当年度	前年度		増 減
管理費		17,824,303	11,952,127		5,872,176
給料手当		6,040,513	2,478,135		3,562,378
福利厚生費		307,581	227,985		79,596
会議費		879,825	1,147,704	Δ	267,879
旅費交通費		736,347	447,283		289,064
通信運搬費		1,798,778	2,352,127	Δ	553,349
消耗什器備品費		650,487	178,975		471,512
図書印刷費		3,303,834	2,964,351		339,483
事務室維持費		2,261,214	993,122		1,268,092
事務機器賃借料		923,751	501,630		422,121
賦課金		550,000	72,000		478,000
支払手数料		263,973	179,968		84,005
雑費		108,000	408,847	Δ	300,847
経常費用計		295,862,390	267,795,850		28,066,540
評価損益等調整前当期経常増減額	\triangle	22,540,586	△ 3,249,079	Δ	19,291,507
基本財産評価損益等	\triangle	411,929,000	67,532,250	Δ	479,461,250
特定資産評価損益等		0	0		0
投資有価証券評価損益等		0	0		0
評価損益等計		411,929,000	67,532,250	Δ	479,461,250
当期経常増減額	\triangle	434,469,586	64,283,171	Δ	498,752,757
2. 経常外増減の部					
(1)経常外収益					
前期経費振替		0	0		0
経常外収益計		0	0		0
(2)経常外費用					
有価証券償還差損		0	0		0
什器備品除却損		0	0		0
経常外費用計		0	0		0
当期経常外増減額		0	0		0
他会計振替額		0	0		0
当期一般正味財産増減額		434,469,586	64,283,171	Δ	498,752,757
一般正味財産期首残高		1,081,164,172	1,016,881,001		64,283,171
一般正味財産期末残高		646,694,586	1,081,164,172	Δ	434,469,586
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
基本財産評価損益等		3,718,400,000	609,600,000	Δ	4,328,000,000
特定資産評価損益等		0	0		0
投資有価証券評価損益等		0	0		0
評価損益等計		3,718,400,000	609,600,000	Δ	4,328,000,000
当期指定正味財産増減額		3,718,400,000	609,600,000	\triangle	4,328,000,000
指定正味財産期首残高		9,148,800,000	8,539,200,000		609,600,000
指定正味財産期末残高		5,430,400,000	9,148,800,000	Δ	3,718,400,000
Ⅲ 正味財産期末残高		6,077,094,586	10,229,964,172	\triangle	4,152,869,586

正味財産増減計算書 内訳表

2019年4月1日~2020年3月31日

	公益目的事業会計								
科目	公1	公2	公3	公4	公5	44. /3	.l. ±l.	法人会計	合計
	助成事業	研修・育成	表彰事業	広報啓発等	震災助成	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1)経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	82,464,400	82,464,400	20,616,100	103,080,500
基本財産株式配当	0	0	0	0	0	82,464,400	82,464,400	20,616,100	103,080,500
基本財産債券利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	82,063,200	82,063,200	20,515,800	102,579,000
賛助会費収入	0	0	0	0	0	82,063,200	82,063,200	20,515,800	102,579,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	54,129,843	54,129,843	13,532,461	67,662,304
寄付金収入	0	0	0	0	0	54,129,843	54,129,843	13,532,461	67,662,304
指定寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	0	0	0	0	0	218,657,443	218,657,443	54,664,361	273,321,804
(2)経常費用									
事業費	109,908,407	62,951,276	11,611,914	75,455,966	7,598,580	10,511,944	278,038,087		278,038,087
給料手当	4,106,769	6,895,234	2,174,274	2,332,890	0	0	15,509,167		15,509,167
旅費交通費	808,927	10,560,225	2,025,424	4,203,698	392,462	0	17,990,736		17,990,736
通信運搬費	66,094	2,427,680	42,320	12,712,024	1,545	0	15,249,663		15,249,663
備品消耗品費	907	359,502	59,337	275,187	0	0	694,933		694,933
図書印刷費	316,440	3,139,721	532,335	10,991,387	0	0	14,979,883		14,979,883
事務室維持費	0	0	0	0	0	5,273,486	5,273,486		5,273,486
会議費	198,594	909,726	172,371	640,896	0	0	1,921,587		1,921,587
支払手数料	137,966	111,988	9,098	145,784	5,362	0	410,198		410,198
雑費 料学へ士が	0	10,314	0	5,168	0	0	15,482		15,482
奨学金支給 BLE A + 4A	22,500,000	0	0	0	0	0	22,500,000		22,500,000
助成金支給	80,744,871	0	0	0	7 100 211	0	80,744,871		80,744,871
震災支援費	107.725	F 700 774	1.050.440	0	7,199,211	0	7,199,211		7,199,211
会場費 運営費	187,725 0	5,780,774	1,952,442	ľ	0	0	7,920,941		7,920,941 3,555,029
理呂貝 講師諸費	383,162	2,346,189	775,140 0	433,700	0		3,555,029 3,941,288		3,941,288
開卵 間貝 ビデオ/パンフ作成費			•	0	0	0			7,397,199
システム費用	378,972 64,180	6,779,067 3,272,504	239,160	45,920	0	5,238,458	7,397,199 8,621,062		8,621,062
就労支援費	04,100	4,000,000	n	45,520 N	0	0,230,430	4,000,000		4,000,000
委託費	n	1,470,118	630,013	34,288,826	0	0	36,388,957		36,388,957
女	10,800		030,013		0	0	2,740,180		2,740,180
贈呈費	10,000	11,330,108	3,000,000	5,221,454	0	0	19,551,562		19,551,562
共済分担金	3,000	0	3,000,000	1,429,652	0	0	1,432,652		1,432,652
管理費	0,000			-, -20,000	Ů	Ů	-,-55,005	17,824,303	17,824,303
給料手当								6,040,513	6,040,513
福利厚生費								307,581	307,581
会議費								879,825	879,825
旅費交通費								736,347	736,347
通信運搬費								1,798,778	1,798,778
賦課金								550,000	550,000
消耗什器備品費								650,487	650,487
図書印刷費								3,303,834	3,303,834
事務室維持費								2,261,214	2,261,214
事務機器賃借料								923,751	923,751
支払手数料								263,973	263,973
雑費								108,000	108,000
経常費用計	109,908,407	62,951,276	11,611,914	75,455,966	7,598,580	10,511,944	278,038,087	17,824,303	295,862,390

		公益目的事業会計							
科目	公1	公2	公3	公4	公5	共通	小計	法人会計	合計
	助成事業	研修・育成	表彰事業	広報啓発等	震災助成	共理	7年		
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 109,908,407	△ 62,951,276	△ 11,611,914	△ 75,455,966	△ 7,598,580	208,145,499	△ 59,380,644	36,840,058	△ 22,540,586
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	△ 329,543,200	△ 329,543,200	△ 82,385,800	△ 411,929,000
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	△ 329,543,200	△ 329,543,200	△ 82,385,800	△ 411,929,000
当期経常増減額	△ 109,908,407	△ 62,951,276	△ 11,611,914	△ 75,455,966	△ 7,598,580	△ 121,397,701	△ 388,923,844	△ 45,545,742	△ 434,469,586
2. 経常外増減の部									
(1)経常外収益									
前期経費振替	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用									
有価証券償還差損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 109,908,407	△ 62,951,276	\triangle 11,611,914	△ 75,455,966	\triangle 7,598,580	△ 121,397,701	△ 388,923,844	△ 45,545,742	△ 434,469,586
一般正味財産期首残高						864,931,337	864,931,337	216,232,835	1,081,164,172
一般正味財産期末残高	△ 109,908,407	△ 62,951,276	△ 11,611,914	△ 75,455,966	△ 7,598,580	743,533,636	476,007,493	170,687,093	646,694,586
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	△ 2,974,720,000	△ 2,974,720,000	△ 743,680,000	△ 3,718,400,000
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	△ 2,974,720,000	\triangle 2,974,720,000	△ 743,680,000	△ 3,718,400,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	△ 2,974,720,000	△ 2,974,720,000	△ 743,680,000	△ 3,718,400,000
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	7,319,040,000	7,319,040,000	1,829,760,000	9,148,800,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	4,344,320,000	4,344,320,000	1,086,080,000	5,430,400,000
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 109,908,407	△ 62,951,276	△ 11,611,914	△ 75,455,966	△ 7,598,580	5,087,853,636	4,820,327,493	1,256,767,093	6,077,094,586

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1)計算書類は公益法人会計基準(平成 20 年 4 月 11 日、改正平成 21 年 10 月 16 日 改正平成 30 年 6 月 15 日 内閣府公益認定等委員会)を適用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券……償却原価法(定額法)

その他の有価証券

時価のあるもの……決算日の市場価格等に基づく時価法

時価のないもの……移動平均法による原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……定率法

(4)消費税の会計処理

税込み方式

2. 会計方針の変更 該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券(指定)	9,148,800,000	0	3,718,400,000	5,430,400,000
投資有価証券(一般)	1,013,515,500	0	411,929,000	601,586,500
小 計	10,162,315,500	0	4,130,329,000	6,031,986,500
特定資産	_		_	
小 計	_			
合 計	10,162,315,500	0	4,130,329,000	6,031,986,500

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財) 産からの充当額	(うち一般正味財) 産からの充当額	(うち負債に対応) する額
基本財産				
投資有価証券(指定)	5,430,400,000	5,430,400,000	0	0
投資有価証券(一般)	601,586,500	0	601,586,500	0
小 計	6,031,986,500	5,430,400,000	601,586,500	0
特定資産	_	_	_	_
小計	_	_	_	_
合 計	6,031,986,500	5,430,400,000	601,586,500	0

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

重要性が希薄なため経費処理

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

7. 担保に供している資産該当なし8. 保証債務等の偶発債務該当なし9. 関連当事者との取引の内容該当なし10. 重要な後発事象該当なし

財 産 目 録

2020年3月31日 現在 (令和元年度)

科目	金 額	使用目的等
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	51,204,643	
現金	193,182	運転資金
普通預金	51,011,461	
みずほ銀行銀座中央支店1	21,011,461	運転資金
みずほ銀行銀座中央支店2	30,000,000	運転資金
未収金	94,400	旅費キャンセル分
立替金	116,250	YHD 音宅会場予約
流動資産合計	51,415,293	
2 固定資産		
(1) 基本財産		
投資有価証券 3,554,500 株	6,031,986,500	共有財産であり
ヤマトホールディングス株式会社(株式)		うち 80%を公益保有財産として運用
株数 取得価額		益を公益目的事業に使用し、20%を
3,200,000 株 5,568,000,000 円	5,430,400,000	管理業務のための財産として運用益
354,500 株 776,195,475 円	601,586,500	を法人会計に使用している。
固定資産合計	6,031,986,500	
資 産 合 計	6,083,401,793	
Ⅱ負債の部		
1 流動負債		
未払金	6,295,837	3月経費等未払分
預り金	11,370	謝礼金に対する源泉所得税
流動負債合計	6,307,207	
負 債 合 計	6,307,207	
正味財産	6,077,094,586	

附属明細書

- 1. 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。
- 2. 引当金の明細 該当なし

以上

2020年5月 公益財団法人ヤマト福祉財団

2019 年度事業報告 附属明細書

2019年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2020年5月 公益財団法人ヤマト福祉財団

2019 年度収支決算書

(2019年4月1日~2020年3月31日)

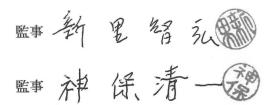
科 目		予算額		決算額	差額	
村 日	事業費会計	法人会計	総合計	伏昇似	左似	
I 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
(1) 基本財産運用収入	79,600,000	19,900,000	99,500,000	103,080,500	-3,580,500	
①基本財産株式配当	79,600,000	19,900,000	99,500,000	103,080,500	-3,580,500	
(2) 寄付金収入	51,200,000	12,800,000	64,000,000	67,662,304	-3,662,304	
①運用財産	51,200,000	12,800,000	64,000,000	67,662,304	-3,662,30	
(3)賛助会費収入	83,200,000	20,800,000	104,000,000	102,579,000	1,421,000	
事業活動収入計	214,000,000	53,500,000	267,500,000	273,321,804	-5,821,80	
2. 事業活動支出						
事業費支出	256,500,000	_	256,500,000	278,038,087	-21,538,08	
(公1)助成事業	112,000,000	_	112,000,000	109,908,407	2,091,593	
①奨学金支給	24,000,000	_	24,000,000	22,500,000	1,500,000	
②助成金	85,000,000	_	85,000,000	80,744,871	4,255,129	
i 福祉助成金	10,000,000	_	10,000,000	8,677,671	1,322,329	
ii 給料増額支援助成金	75,000,000	_	75,000,000	72,067,200	2,932,800	
③諸経費	3,000,000	_	3,000,000	6,663,536	-3,663,53	
(公2) 研修・育成事業	62,700,000	_	62,700,000	62,951,276	-251,27	
①セミナー事業	28,000,000	_	28,000,000	28,964,555	-964,55	
i 会場費	6,000,000	_	6,000,000	4,597,930	1,402,070	
ii 運営費	10,000,000	_	10,000,000	10,276,316	-276,31	
iiiビデオ作成費	2,500,000	_	2,500,000	2,422,267	77,73	
iv諸経費	9,500,000	_	9,500,000	11,668,042	-2,168,04	
②雇用促進事業	7,000,000	_	7,000,000	7,172,160	-172,16	
i システム費	500,000	_	500,000	563,060	-63,06	
ii 就労支援費	4,500,000	_	4,500,000	4,570,000	-70,000	
iii諸経費	2,000,000	_	2,000,000	2,039,100	-39,10	
③育成プロジェクト	27,700,000	_	27,700,000	26,814,561	885,439	
i 会場費	3,000,000	_	3,000,000	1,182,844	1,817,15	
ii 講師諸費	1,000,000	_	1,000,000	1,468,207	-468,20	
iii事業改革モデル化資金	6,000,000	_	6,000,000	1,807,542	4,192,45	
iv管理会計ソフト運用費	3,000,000	_	3,000,000	2,709,444	290,55	
v 諸経費	4,700,000	_	4,700,000	9,486,798	-4,786,79	
vi自然栽培パーティ支援	10,000,000	_	10,000,000	10,159,726	-159,72	
(公3)表彰事業	10,000,000	_	10,000,000	11,611,914	-1,611,91	
①贈呈費	3,000,000	_	3,000,000	3,000,000	(
②会場費	2,000,000	_	2,000,000	1,952,442	47,55	
③経費	5,000,000	_	5,000,000	6,659,472	-1,659,472	

Al. 5		予算額		N. India dore) 6 der
科 目	事業費会計	法人会計	総合計	決算額	差額
(公4) 広報・啓発等事業	56,800,000	_	56,800,000	75,455,966	-18,655,966
①広報事業	46,000,000	_	46,000,000	53,709,444	-7,709,444
i ホームページ運営費	2,000,000	_	2,000,000	2,729,380	-729,380
ii 委託費	10,000,000	_	10,000,000	23,928,387	-13,928,387
iii諸経費	34,000,000	_	34,000,000	27,051,677	6,948,323
②啓発事業	800,000	_	800,000	1,409,316	-609,316
i 会場費	400,000	_	400,000	0	400,000
ii 運営費	200,000	_	200,000	759,124	-559,124
iii諸経費	200,000	_	200,000	650,192	-450,192
③その他事業	10,000,000	_	10,000,000	20,337,206	-10,337,206
i 全Aネット調査費用	3,000,000	_	3,000,000	3,676,217	-676,217
ii JDFほか	1,000,000	_	1,000,000	1,470,709	-470,709
iii ネパール小児白内障	治療 P J 3,000,000	_	3,000,000	11,357,872	-8,357,872
ivパラリンピック関連	3,000,000	_	3,000,000	2,758,174	241,826
vその他		_	0	1,074,234	-1,074,234
(公5)復興・再生支援事業	10,000,000	_	10,000,000	7,598,580	2,401,420
①震災支援費	9,000,000	_	9,000,000	7,199,211	1,800,789
②諸経費	1,000,000	_	1,000,000	399,369	600,631
共通	5,000,000	_	5,000,000	10,511,944	-5,511,944
①諸経費	5,000,000	_	5,000,000	10,511,944	-5,511,944
管理費支出	_	11,000,000	11,000,000	17,824,303	-6,824,303
①人件費	_	2,000,000	2,000,000	6,040,513	-4,040,513
②福利厚生費	_	250,000	250,000	307,581	-57,581
③旅費	_	1,000,000	1,000,000	736,347	263,653
④通信運搬費	_	1,500,000	1,500,000	1,798,778	-298,778
⑤備品消耗品費	_	300,000	300,000	650,487	-350,487
⑥図書印刷費	_	3,000,000	3,000,000	3,303,834	-303,834
⑦事務室維持費	_	1,000,000	1,000,000	2,261,214	-1,261,214
⑧事務機器賃借料	_	400,000	400,000	923,751	-523,751
⑨会議費	_	800,000	800,000	879,825	-79,825
⑩賦課金	_	200,000	200,000	550,000	-350,000
⑪支払手数料	_	100,000	100,000	263,973	-163,973
⑫雑費	_	450,000	450,000	108,000	342,000
事業活動支出	計 256,500,000	11,000,000	267,500,000	295,862,390	-28,362,390
I 事業活動収支の部	-42,500,000	42,500,000	0	-22,540,586	22,540,586
Ⅱ 投資活動収支の部	(0	0	0	0
Ⅲ 財務活動収支の部	(0	0	0	0
IV 予備費支出	(0	0	0	0
当期収支差額	-42,500,000	42,500,000	0	-22,540,586	22,540,586

監査報告書

公益財団法人 ヤマト福祉財団 理事長 山内 雅喜 殿

2020年 6月 3日



私たち監事は、公益財団法人 ヤマト福祉財団(以下財団)の2019年4月1日から2020年3月31日までの2019年度事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

理事、職員と意思の疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類 (貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその付属明細書並びに財産目録について検 討いたしました。

2 監査意見

す。

- (1) 事業報告等の監査結果
 - 事業報告は、法令及び定款に従い財団の状況を正しく示している ものと認めます。
 - 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違 反する重大な事実は認められません。
- (2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、財団の財産及び損 益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めま

以上

- 4. 役員名簿

- 84 -	
--------	--

寄付金寄贈者名簿

(敬称略:順不同)

寄付者名	寄付者名	寄付者名
町 田 武	ヤマトホールディングス(株)	(株) ポ ピ ン ズ
(社福)すずらんの会	広島ケナフの会	

夏季カンパ

寄 付 者 名	
ヤマトグループ企業労働組合連合会	

賛助会員数一覧

2020年3月31日現在

会社名	会員数
ヤマトホールディングス株式会社	207
ヤマト運輸株式会社	63,389
沖縄ヤマト運輸株式会社	455
ヤマトグローバルエキスプレス株式会社	1,049
エキスプレスネットワーク株式会社	8
ヤマトダイアログ&メディア株式会社	11
ヤマトコンタクトサービス株式会社	227
ヤマト・スタッフ・サプライ株式会社	665
ヤマトロジスティクス株式会社	1,062
ヤマトグローバルロジスティクスジャパン	734
ヤマトパッキングサービス株式会社	71
ヤマト包装技術研究所株式会社	34
湖南工業株式会社	315
ヤマトホームコンビニエンス株式会社	1,460
ヤマトシステム開発株式会社	1,524
ヤマト Web ソリューションズ株式会社	13

会社名	会員数
ヤマトフィナンシャル株式会社	322
ヤマトリース株式会社	91
ヤマトクレジットファイナンス株式会社	103
ヤマトオートワークス株式会社	1,483
ヤマトオートワークス北信越株式会社	10
ヤマトオートワークス岩手株式会社	25
ヤマトオートワークス沖縄株式会社	2
ボックスチャーター株式会社	22
ヤマトボックスチャーター株式会社	1,205
ヤマトマネージメントサービス株式会社	144
ヤマトマルチチャーター株式会社	366
神戸ヤマト運輸株式会社	71
株式会社スワン	11
ヤマトグループ健康保険組合	23
社会福祉法人ヤマト自立センター	11
ヤマト運輸労働組合	45
合 計	75,158

役員名簿

理事 2020年3月31日現在

NO	役職名	氏	名	役 職
1	理事長	山内	雅喜	ヤマトホールディングス株式会社取締役会長
2	理事	渡辺	修	元環境事務次官
3	同	町田	武	元三郷市教育委員会 教育委員長
4	同	西堀	利	みずほフィナンシャルグループ 名誉顧問
5	同	藤掛	稔子	
6	同	森下	明利	ヤマト運輸労働組合 中央執行委員長
7	同	日浦美	美智江	社会福祉法人訪問の家 顧問
8	同	柴崎	憲二	元ヤマト運輸株式会社 監査役
9	同	早川	雅人	ヤマト福祉財団常務理事

監事

NO	役職名	氏	名	役 職
1	監事	神保	清一	元ヤマト運輸株式会社代表取締役専務執行役員
2	同	新里	智弘	公認会計士

評議員

NO	役職名	氏 名	役 職		
1	評議員	今野 由梨	ダイヤル・サービス株式会社 代表取締役社長		
2	同	藤井 克徳	きょうされん 専務理事		
3	闰	内田 五郎	元ヤマトシステム開発株式会社 代表取締役社長		
4	同	吉井 毅	元新日本製鉄(現日本製鉄)株式会社 代表取締役副社長		
5	同	小野﨑貴志	﨑貴志 ヤマト運輸労働組合 副中央執行委員長		
6	同	川田 博	元ヤマトホールディングス株式会社 監査役		
7	同	上林 孝典	元伊藤忠商事取締役副社長		
8	同	玉川 雅浩	元ヤマトシステム開発株式会社 代表取締役常務執行役員		

2020年3月31日現在

福祉助成金選考委員

NO	役職名	氏 名	役 職		
1	選考委員	朝日雅也	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 社会福祉学科 教授		
2	同	小野﨑貴志	ヤマト運輸労働組合 副中央執行委員長		
3	闰	柴崎 憲二	元ヤマト運輸株式会社 監査役		
4	同	大谷 友樹	ヤマトホールディングス株式会社 執行役員		
5	同	山内 雅喜	ヤマトホールディングス株式会社取締役会長		

ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員

2020年3月31日現在

NO	役職名	氏	名	役 職
1	選考委員	藤井	克徳	きょうされん 専務理事
2	同	渡辺	修	元環境事務次官
3	同	今野	由梨	ダイヤル・サービス株式会社 代表取締役社長
4	同	森下	明利	ヤマト運輸労働組合 中央執行委員長
5	同	山内	雅喜	ヤマトホールディングス株式会社取締役会長

- 88	_
------	---

5.2020年度事業計画書同 収支予算書資金調達及び設備投資の見込みについて



2020年度 事業計画書

(自・2020年4月1日~至・2021年3月31日)

はじめに

ヤマト福祉財団は、2012年より「経済的自立力を備えた新しい福祉」を掲げて活動してきました。この間、障がい者施設の増加を背景に障がいのある人の経済的な自立についても広く認知されるようになり、経済的な側面に限らず、質的な改善も求められるようになりました。そこで本年より「人は自立することで幸せを感じられる」を大切に活動いたします。

ヤマト福祉財団では、これまで障がい者の働く場のロールモデルの育成と水平展開に注力してまいりました。本年度より寄付者の期待に更に応えるべく、ロールモデルに続く方々をより幅広く支援することを念頭にパワーアップフォーラムの開催、実践塾の実施、給料増額助成金の贈呈を行うことといたします。また、奨学金などの重度障がい者に対する助成活動を引き続き行い、社会参加につながるようにいたします。

昨年も台風による大きな災害が発生し、障がい者施設にも被害が発生しました。本年も大規模災害等で被 災した障がい者施設の再生支援を行います。

(公1)助成事業

(103,400千円)

① 奨学金 (24,000千円) 40名の障がいのある大学生に対して奨学金を給付します。

② 助成金 (75,000千円)

· 給料増額支援助成金

障がい者の給料増額につながる設備・備品購入として、障がい者施設を対象に助成します。

(65,000千円)

・ 障がい者福祉助成金

障がい者の福祉に資する活動(講演会・研修・文化・スポーツ等)について、障がい者団体を対象に 助成します。

(10,000千円)

③ 諸経費(調査費·贈呈式他費用)

(4,400千円)

(**公2**) 研修·育成事業 (67,000千円)

① セミナー事業

(28,000千円)

「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」を福岡、東京、大阪、沖縄の4箇所で開催します。沖縄県限定とした地域密着型パワーアップフォーラムは3カ年の最終となり、地元実行委員を中心とした3つの分科会の活動報告をします。

② 雇用促進事業 (7,000千円)

DM便配達施設の事例報告やヤマト自立センターの支援など、障がい者就労の拡大を図ります。

③ 育成プロジェクト (32,000千円)

より高い工賃を達成することに特に強い意欲のある施設職員を集め、ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者による実践塾を開講します。開講にあたっては、塾の成果を報告する「ステップアップセミナー」を開催し、実践塾参加へ促します。

また、修了した塾生に対してフォローアップ研修を行って実践継続を促し、先行的・先駆的な取り組みを支援しモデル化するための資金を塾参加施設の申請に応じて提供します。

休耕田・耕作放棄地を利用した無農薬・無肥料による自然栽培を推進する「自然栽培パーティ」の活動も支援します。

実践塾費用(8,000千円)事業改革モデル化資金(6,000千円)管理会計システム運用・改善費(3,000千円)諸経費(交通費等)(5,000千円)「自然栽培パーティ」プロジェクト(10,000千円)

(**公3**) 表彰事業 (11,000千円)

① ヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈

(11.000千円)

障がい者就労施設や一般企業等にあって、障がい者の就労支援、職業指導、処遇改善などの面で功労 著しく、広く敬愛の的となっている個人を対象に本年も「ヤマト福祉財団小倉昌男賞」を贈呈します。

(公4) 広報・啓発等事業 (100,900千円)

① 広報事業 (60,000千円)

財団ニュースを年4回発行し、ヤマトグループ賛助会員の家庭に直接送付することで活動の浸透を図ります。また、インターネット等を通じて広く一般に啓発広報を行ないます。

② 啓発事業 (900千円)

障がい者本人によるクロネコDM便配達報告会の開催や障がい者団体の主催する大会の共催・後援等によって、障がい者の能力の浸透啓発を図ります。

③ その他事業 (40,000千円)

i 他団体等への活動支援

(8,000千円)

イ)全Aネットによる良質なA型事業所認定事業

(5,000千円)

前年度までは全Aネットが行なった全国A型事業所の実態調査と、この結果をもとに好事例集の作成やA型事業所認定制度事業の立ち上げに対して支援をして来ました。今年度よりA型事業所認定制度を活用し初年度20事業所、3年間で100事業所を認定する、また毎年3か所就労支援セミナーを開催するという全Aネット新3カ年計画「良きA型事業所拡大支援事業」を継続して支援します。

- 口)日本障害フォーラムによる「障害者の権利条約」に関する事業 (1,000千円) 「障害者の権利条約」について国連障害者権利委員会に提出するNGOパラレルレポートの準備活動と国内啓発活動に対し公益財団法人助成財団センターを窓口として、他の福祉系財団とともに共同助成を行いサポートします。
- ハ)きょうされん英語版「えほん障害者権利条約」出版事業支援 (1,000千円) きょうされんが出版した日本の障がい者事情を絵本でまとめた日本語版「えほん障害者権利条約」 の英語版を新たに出版し、国連等ほかに配布する事業に支援します。
- 二)全日本ろうあ連盟制作映画試写会および写真展協力 (1,000千円) 全日本ろうあ連盟が創立70周年記念に制作した記念映画「咲く」の上映会および写真展開催を サポートします。
- ii オリンピック・パラリンピック関連事業

(15,000千円)

本年度はオリンピック・パラリンピック開催年度のため、財団が支援している障がい者奨学生や自然 栽培パーティ参加施設の障がい者を中心にパラリンピックの陸上決勝および車いすバスケットボール男 女競技に招待します。

iii ネパール小児白内障眼科医療に対する協力事業

(5.000千円)

第17回ヤマト福祉財団小倉昌男賞を受賞した竹内昌彦氏が立ち上げたヒカリカナタ基金と共同で立ち上げたネパールで貧困のため治療を諦めている小児白内障患者の医療事業について本年度は、ネパール西部地区の小学校女性教員のネットワークを通じて、要治療者の情報を収集し、カトマンズにて治療を行う体制とします。

iv その他 (12,000千円)

ヤマトグループ創業100周年記念配当1株10円を原資とした事業を実施します。

イ) 自然栽培パーティ販売促進支援

(10,000千円)

自然栽培雄パーティ参加施設が生産した無肥料・無農薬の農作物及び加工品を一般消費者が認知 し販売先を確保する仕組みづくり及び販売活動を支援します。

口)医療ケア児者と家族を支える助成事業の調査・準備 (2,000千円) 医療的ケア児者本人とその家族の医療、教育、福祉の各場面を支える団体に対する助成の事業化 のための調査と準備を行います。

(公5) 復興・再生支援事業 (5,000千円)

① 復興·再生支援事業

(5,000千円)

大規模災害等で被災した障がい者就労施設の再生支援を行います。また、障がい者の防災についても 引き続き調査と支援を行います。

以上

2020 年度収支予算書

(2020年4月1日~2021年3月31日)

科目	事業費会計	法人会計	総合計	前年計画
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	119,431	29,858	149,289	99,500
①基本財産株式配当	119,431	29,858	149,289	99,500
(2)寄付金収入	52,800	13,200	66,000	64,000
①運用財産	52,800	13,200	66,000	64,000
②基本財産指定・(繰入増加)	0	0	0	0
(3)賛助会費収入	76,009	19,002	95,011	104,000
(4) 雑収入	0	0	0	0
①受取利息	0	0	0	0
②雑収入	0	0	0	0
事 業 活 動 収 入 計	248,240	62,060	310,300	267,500
2. 事業活動支出				
事業費支出	292,300	_	292,300	256,500
(公 1)助成事業	103,400	_	103,400	112,000
①奨学金支給	24,000	_	24,000	24,000
②助成金	75,000	_	75,000	85,000
i 福祉助成金	10,000	_	10,000	10,000
ii 給料増額支援助成金	65,000	_	65,000	75,000
③諸経費	4,400	_	4,400	3,000
(公2) 研修・育成事業	67,000	_	67,000	62,700
①セミナー事業	28,000	_	28,000	28,000
i 会場費	6,000	_	6,000	6,000
ii 運営費	10,000	_	10,000	10,000
iii ビデオ作成費	2,500	_	2,500	2,500
iv諸経費	9,500	_	9,500	9,500
②雇用促進事業	7,000	_	7,000	7,000
i システム費	500	_	500	500
ii 就労支援費	4,500	_	4,500	4,500
iii諸経費	2,000	_	2,000	2,000
③育成プロジェクト	32,000	_	32,000	27,700
i 会場費	5,000	_	5,000	3,000
ii講師諸費	3,000	_	3,000	1,000
iii事業改革モデル化資金	6,000	_	6,000	6,000
iv管理会計ソフト運用・改善費	3,000	_	3,000	3,000
v諸経費	5,000	_	5,000	4,700
vi自然栽培パーティプロジェクト	10,000	_	10,000	10,000
(公3)表彰事業	11,000	_	11,000	10,000
①贈呈費	3,000	_	3,000	3,000
②会場費	2,000	_	2,000	2,000
③経費	6,000	_	6,000	5,000

科目	事業費会計	法人会計	総合計	前年計画
(公4) 広報・啓発等事業	100,900	_	100,900	56,800
①広報事業	60,000	_	60,000	46,000
i ホームページ運営費	9,000	_	9,000	2,000
ii委託費	15,000	_	15,000	10,000
iii諸経費	36,000	_	36,000	34,000
②啓発事業	900	_	900	800
i 会場費	400	_	400	400
ii 運営費	300	_	300	200
iii経費	200	_	200	200
③その他事業	40,000	_	40,000	10,000
i 他団体等の事業支援	8,000	_	8,000	4,000
ii パラリンピック関連	15,000	_	15,000	3,000
iiiネパール小児白内障治療 P J	5,000	_	5,000	3,000
ivその他	12,000	_	12,000	0
(公5)復興・再生支援事業	5,000	_	5,000	10,000
①震災支援費	4,000	_	4,000	9,000
②諸経費	1,000	_	1,000	1,000
共通	5,000	_	5,000	5,000
①諸経費	5,000	_	5,000	5,000
管理費支出	_	18,000	18,000	11,000
①人件費	_	7,000	7,000	2,000
②福利厚生費	_	300	300	250
③旅費	_	900	900	1,000
④通信運搬費	_	1,600	1,600	1,500
⑤備品消耗品費	_	300	300	300
⑥図書印刷費	_	3,500	3,500	3,000
⑦事務室維持費	_	2,000	2,000	1,000
⑧事務機器賃借料	_	800	800	400
⑨会議費	_	900	900	800
⑩賦課金	_	200	200	200
⑪支払手数料	_	100	100	100
⑫雑費	_	400	400	450
事業活動支出計	292,300	18,000	310,300	267,500
I 事業活動収支の部	-44,060	44,060	0	0
Ⅱ 投資活動収支の部	0	0	0	0
Ⅲ 財務活動収支の部	0	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0	0
当期収支差額	-44,060	44,060	0	0

[※]やむを得ぬ場合は、理事長は科目間の流用を行うことができる。

資金調達及び設備投資の見込みについて

(2020年4月1日から2021年3月31日まで)

- (1) 資金調達の見込みについて 当期中における借入れの予定はありません。
- (2) 設備投資の見込みについて 当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定はありません。

以上